取扱説明書

保証書付

ステレオデジタルサウンドレコーダー

品番　ICR-PS1000M

micro SD カードは別売です

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。

- この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

ニッケル水素電池はリサイクルへ

INDEX

本機だけで操作する項目です。

パソコンを使用する項目です。

本機、パソコン共通の項目です。

目次

本機だけで操作する項目です。
パソコンを使用する項目です。
本機、パソコン共通の項目です。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

⚠「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

⚠警告

■ 分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

⚠警告

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

安全上のご注意

電池について

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）	電池の種類と危険の度合い	
	エネループ（ニッケル水素電池）	アルカリ電池
禁止 ■ **充電池はエネループ以外を使用しない** エネループ以外は使用しないでください。安全のため、模造品は使用しないでください。エネループ以外を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。	⚠危険	―
注意 ■ **液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける** ● 異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。 ● 液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。	⚠危険	
分解禁止 ■ **変形・分解・改造しない** 変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。	⚠危険	⚠警告
禁止 ■ **プラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない** ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。	⚠危険	⚠警告
禁止 ■ **火中に投入したり、加熱しない** 絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因となります。	⚠危険	⚠警告

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）	電池の種類と危険の度合い	
	エネループ（ニッケル水素電池）	アルカリ電池
禁止 ■ **本機、または指定された充電器以外では充電しない** 他の充電器で充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	ー
禁止 ■ **外装をはがしたり、傷つけたりしない** 外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告
注意 ■ **指示通りに入れる** ● 極性（プラスとマイナス）に注意し、表示通りに入れてください。 ● 万一極性を逆に入れた場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりして、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	⚠警告
禁止 ■ **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める** そのままつづけて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。	⚠危険	ー
注意 ■ **充電して使う** ● エネループが消耗したときは、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。 ● 乾電池は充電しないでください。 ● 本機以外で充電するときは、エネループ対応の充電器を使用し、充電器の「取扱説明書」に従って正しく充電してください。	⚠注意	ー
禁止 ■ **使用しているときに電池を抜かない** 本機を使用しているときには電池を抜かないでください。データが壊れたり、故障の原因となります。	⚠警告	

安全上のご注意

<table>
<tr><th rowspan="2" colspan="2">安全上のご注意
（下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）</th><th colspan="2">電池の種類と危険の度合い</th></tr>
<tr><th>エネループ（ニッケル水素電池）</th><th>アルカリ電池</th></tr>
<tr><td>⚠ 注意</td><td>■ 録音や、録音内容を消去するときは、残量を確認する
● 録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、充電または新しい電池に交換してください。
● 消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。</td><td colspan="2">⚠注意</td></tr>
<tr><td>⊘ 禁止</td><td>■ 長時間入れたままにしない
● 本機を長時間（1 週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。</td><td colspan="2">⚠警告</td></tr>
</table>

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

充電式電池の廃棄について

エネループ（ニッケル水素電池）はリサイクルシステムが整備されています。寿命がきたり不要になった充電池は、（＋）（－）端子部にテープなどを貼って、リサイクルマークのある協力店や特定の回収窓口にある回収 BOX へお入れください。
充電式電池の回収やリサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRC のホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html をご参照ください。

充電式電池回収 BOX

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. **録音前には必ず試し録音をしてください。**
2. **録音データを他の機器にバックアップしてください。**
3. **電池の残量が充分にある電池をお使いください。**

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

商標および登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Windows® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

お使いになる前に

本書の見方

- 本書の中では、「microSD™ メモリーカード（別売）」、「microSDHC™ メモリーカード（別売）」を総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本機は、各操作（一部を除く）を音声でご案内する「音声ガイド機能」を搭載しています。（ ☞183 ページ）
- 本書の表記中の録音残時間や各種設定の表示は、挿入している microSD カードの容量や録音状態によって異なることがあります。

操作手順

操作、設定の方法を順番に説明しています。
[　]は、本機のボタンやスイッチを表します。
【　】は、画面内のメニューを表します。
操作手順内の「基本画面」とは、停止画面を表します。

画面表示

操作中や、操作後に画面に表示される内容です。
※この取扱説明書の画面表示は、操作説明のため実際の表示とは異なる場合があります。

補足事項

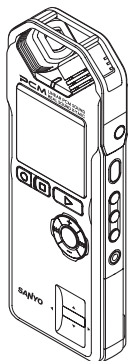
操作や設定の際に、知っておくと便利な内容です。

注意事項

操作や設定の際に、遵守していただきたい内容です。注意事項を守らないと、正しく操作や設定がされなかったり、本機の故障やデータの損失につながったりするおそれがあります。

付属品を確認する

箱から出して以下の付属品がそろっているかご確認ください。

●ステレオデジタルサウンドレコーダー本体……………………………… 1

●単 3 形エネループ充電池　…………………………………………………… 1

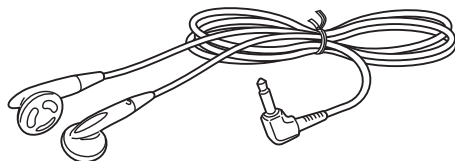
●本書（保証書付）…………………………………………………………… 1

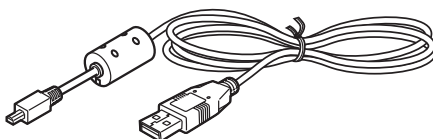
●かんたん操作ガイド………………………………………………………… 1

●キャリングポーチ…………………………………………………………… 1

●ウインドスクリーン（風防）……………………………………………… 1

※ウインドスクリーンは消耗品です。新たにお買い求めの場合は、お近くの三洋電機サービス（株）にて、商品コード〔671 000 6424〕でご購入ください。

●インナーイヤー型ステレオヘッドホン……………………………………… 1

本機ではリモコン付きなどの４極プラグ端子ステレオヘッドホンはご使用いただけません。

●専用 USB 接続ケーブル ……………………………………………………… 1

関連商品について

デジタルボイスレコーダーをより便利にご使用いただくための別売品のご紹介です。

●デジタルワイヤレスマイクシステム
HM-W300

「飛距離」「音質」「サイズ」すべてが新次元！世界最小・最軽量 高音質デジタルワイヤレスマイク。

●ステレオ３WAYマイク
HM-250

電話録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能３WAYマイク。

●タイピン式ステレオマイク

胸ポケットに入れたまま録音でき、鞄に入れてマイク部だけ出して録音するときなどに効果を発揮します。

●電話録音キット
KA-TA-400

一般の家庭用固定電話に対応した電話録音キット。

●USB対応ACアダプター
D-5V-USB2

安全保護回路搭載で簡単充電。

別売品の詳細は、下記URLにてご確認ください。
http://www.sanyo-audio.com/icr/common/accesory.html

ICR-PS1000M でできること

microSDカード対応

本機はこのクラスのサウンドレコーダーとしては初めて microSD カード、microSDHC カードに対応いたしました（2008 年 3 月現在）。録音データの外部利用など従来より広範囲でのご利用が可能です。
☞ 37 ページ

ごみ箱機能

ごみ箱機能設定を「オン」にしておくと、消去したファイルがごみ箱に移動します。ごみ箱を空にするか、またはごみ箱に入っているファイルを元のフォルダに戻すまで、ファイルが残っているので、間違って消去した時でも安心です。
☞ 135 ページ

録音機能

リニア PCM※1 録音 /MP3 録音

リニア PCM 録音に対応し、CD と同じ録音形式で録音できます。
☞ 78 ページ

リニア PCM※1 録音とは

アナログ信号である音声を一定の周期でサンプリングし、デジタル信号として保存することを言います。
音楽 CD（CD-DA：CD Digital Audio）は、PCM（サンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビット、ビットレート 1411kbps、周波数特性 20 ～ 20000Hz）で録音されています。PCM 録音は、デジタルデータで記録された音声に何の加工も加えないため、音質が最も優れています。
PCM 録音されたデータをパソコンで取り込む形式を「WAVE」（「ウェブ」「ワブ」）などと呼びます。データ拡張子は「.WAV」です。Windows 標準の音声ファイル形式で、Windows Media Player での再生が可能です。MP3、WMA などの形式は、このリニア PCM を圧縮したものです。

※ 1 リニア（非圧縮）PCM：
Pulse Code　Modulation

超高性能X-Yマイクを搭載

超高性能な X-Y 方式マイクを搭載。音の立体感だけでなく、その場の空気感までリアルに録音できます。
☞ 21 ページ

ALC（オートレベルコントロール）切換機能

録音のレベル調整は、マイク ALC オン（自動）とマイク ALC オフ（マニュアル）に切換可能。会議や商談、講演やインタビューの録音時など、音量を一定に近づけて録音したい時はマイク ALC をオンに、楽器演奏録音など音の大小をありのまま録音したい時にはマイク ALC をオフに設定することにより、録音対象に応じた最適な録音レベルを調整できます。
☞ 56 ページ

録音レベルメーター表示機能

マイク ALC をオフに設定した場合は液晶画面に録音レベルメーターを表示します。録音スタンバイ状態、または録音中にレベルメーターを見ながら、お好みのレベル調整（60 段階）が可能です。

☞ 66 ページ

録音ピークリミッター

突然の過大入力を自動で調整し、音の歪みを抑えて録音することができます。

☞ 82 ページ

Low Cut（ローカット）フィルタ

録音時に低周波数部分を自動で低減。エアコンやプロジェクターのファンノイズ、野外での風切音などを抑えてクリアに録音できます。

☞ 84 ページ

VAS録音

録音状態で音声を感知した時に自動的に録音を開始し、音声のない部分で録音を一時停止する VAS（音声起動録音）機能を搭載しています。

☞ 94 ページ

ダイレクト（ライン入力）録音

コンポやラジカセ、MD プレーヤーなどの外部機器と接続して、高音質 (MP3：192kbps 固定) ダビングができます。

☞ 76 ページ

セルフタイマー録音

カメラのセルフタイマーのようにセルフタイマー（5 秒、10 秒、30 秒）を設定して、録音をスタートすることが出来ます。楽器の演奏時など準備を必要とする録音の際も無駄なく録音することができます。

☞ 91 ページ

再生機能

多彩な再生機能

再生速度の調整、タイムスキップ、AB リピート、センテンス再生など、語学学習に便利な機能を多数搭載しています。

☞ 119, 121, 123 ページ

音楽ファイル再生機能

パソコンから MP3、WMA 形式の音楽ファイルを本機に転送することにより、本機をミュージック プレーヤーとして使用することができます。

☞ 224 ページ

セキュリティ機能

暗証番号と指紋認証の２つのセキュリティ

音声やデータを守るセキュリティ機能を搭載。他人に知られたくない音声やデータは、セキュリティ登録により暗証番号や指紋認証でロックすることができるので、情報漏えい防止に役立ちます。

☞ 155 ページ

ポインティング機能

本機の指紋センサー部をポインティングデバイスとして使用することができます。指を指紋センサー部に当てて上下左右に動かしたり、タッチ単押し / 長押しで本機を操作することができます。
☞ 175 ページ

データ転送機能

高速データ転送機能

本機とパソコンを USB2.0 接続することにより、高速データ転送が可能です。
☞ 194、205 ページ

USBフラッシュメモリー機能

パソコンの外部メモリーとしてパソコン上のビジネス文書やプレゼン資料を本機に保存することができます。
☞ 244 ページ

付属品について

エネループ

環境に優しい単 3 形エネループ充電池 1 本が標準で付属しています。エネループ使用時は、約 40 時間のステレオ録音、単 3 アルカリ電池使用時は約 50 時間のステレオ録音が可能です。（MP3 64kbps、ALC オン、録音 / 再生 LED・バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、microSD カード使用時）
エネループについての詳細は当社ホームページをご覧ください。
http://www.sanyo.co.jp/eneloop/
☞ 28 ページ

固定用三脚穴搭載

固定用三脚穴を本体に搭載。本体に三脚を直接取り付けてご使用いただけます。
☞ 60 ページ

各部のなまえとはたらき

■本体

① 内蔵ステレオマイク

ワイドで自然な収音が可能なX-Yステレオ方式を採用。臨場感あふれる録音ができます。

☞楽器演奏や自然の音などを録音する（66ページ）

② LEDランプ

点灯・点滅することで本機の状況をお知らせします。録音中または再生中である事をお知らせする「録音/再生LED」、録音入力レベルが大きすぎる場合にお知らせする「PEAKインジゲーター」、充電中である事をお知らせする「充電LED」などの機能として働きます。

☞録音/再生LEDについて（93ページ）
☞楽器演奏や自然の音などを録音する（66ページ）
☞エネループを充電する（197ページ）
☞セルフタイマーで録音する（91ページ）

③ 再生/スピード切換ボタン

ファイルの再生を開始します。また、再生中に押すことで再生スピードを段階的にに切り換える「再生スピードの切り換え」ができます。

☞画面と基本操作（24ページ）
☞再生スピードを切り換える（117ページ）

④ 外部入力端子

マイク/ライン入力兼用の外部入力端子です。外部マイクを接続する時にはマイク入力に、外部機器からのダイレクト録音を行う時にはライン入力に設定します。マイク/ライン入力の切換はメニュー画面から行うことができます。

☞外部録音（入力端子）設定について（59ページ）
☞外部機器から録音する（76ページ）

⑤ 電源ボタン
電源をオン/オフします。電源オンのときは短押し、電源オフのときは長押しします。
☞電源を入れる/切る（31ページ）

⑥ フォルダ/ABリピートボタン
フォルダの切り換えや、ABリピート、クリアボイス機能を使うときに使用します。
☞ファイル/フォルダについて（44ページ）
☞A-Bリピート（部分リピート）再生のしかた（121ページ）
☞クリアボイス再生（126ページ）

⑦ リスト/インデックスボタン
停止中に押すと、選択されているフォルダ内のファイル一覧を表示します。
録音中や再生中に押すとインデックス（再生頭出し）マークをつけることができます。
☞インデックスを付ける/消去する（106ページ）

⑧ 編集/センテンス再生ボタン
ファイル編集を行うときに使用します。ファイル編集メニューでは本機で録音したファイルの分割、フェードイン・フェードアウトを行うことができます。また、センテンス再生（設定した秒数だけ戻して再生する）をするときに使用します。
☞ファイルを分割する（97ページ）
☞フェードイン/フェードアウト（100ページ）
☞センテンス再生を行う（123ページ）

⑨ 消去ボタン
ファイル、フォルダ、インデックスの消去操作を行います。また、ごみ箱フォルダ選択中には、ごみ箱メニューを呼び出します。
☞消去する（135ページ）
☞ごみ箱機能について（135ページ）

⑩ microSDカードスロット
microSDカードをここに差し込みます。
☞microSDカードについて（37ページ）

⑪ USB端子
本機を付属の専用USB接続ケーブルを使ってパソコンと接続するときに使用します。
☞パソコンに接続する/取り外す（194ページ）

⑫ 液晶パネル
ICR-PS1000Mの様々な情報を表示します。
☞液晶パネル（25ページ）

⑬ 録音/一時停止ボタン
録音開始、録音一時停止を行います。
☞ICR-PS1000Mの基本操作（26ページ）

⑭ 停止/戻るボタン
録音や再生を停止します。
メニュー操作中は、1つ前の操作に戻ります。
☞ICR-PS1000Mの基本操作（26ページ）

⑮ 音量ボタン（＋）
再生中や録音モニタ中の音量を上げるときに使用します。
また、メニュー操作やファイルを選ぶときにはカーソルを上方向に移動させるときに使用します。
☞ICR-PS1000Mの基本操作（26ページ）
☞録音内容をモニターする（62ページ）
☞ファイルを再生する（109ページ）

⑯ ⏮ボタン
早戻し操作のときに使用します。
また、メニュー操作やリスト表示で前の操作に戻るときや、左方向にカーソルを移動させるときに使用します。
☞ICR-PS1000Mの基本操作（26ページ）

⑰ メニュー /決定ボタン
長押しでメニューを表示します。
また、選択項目や操作を決定します。
☞ICR-PS1000Mの基本操作(26ページ)

⑱ 音量ボタン(－)
再生中や録音モニタ中の音量を下げるときに使用します。
また、メニュー操作やファイルを選ぶときにはカーソルを下方向に移動させるときに使用します。
☞ICR-PS1000Mの基本操作(26ページ)
☞録音内容をモニターする(62ページ)
☞ファイルを再生する(109ページ)

⑲ ▶▶|ボタン
早送り操作に使用します。
また、メニュー操作やリスト表示で次の操作に進む時や右方向にカーソルを移動させるときに使用します。
☞ICR-PS1000Mの基本操作(26ページ)

⑳ 指紋センサー
指紋認証を行うときや、ポインティング操作を行うときに使用します。
☞セキュリティを設定する(157ページ)
☞指紋センサーをポインティングデバイスとしてつかう(175ページ)

㉑ I/O端子
外部機器に接続するときに使用します。

㉒ ホールドスイッチ
ホールド(誤動作防止装置)がはたらき各ボタンが機能しなくなります。
USB接続後にスイッチを切り換えると、エネループの充電を開始します。
☞誤動作を防止する(ホールド機能)(41ページ)

㉓ ヘッドホン端子
ヘッドホンで音を聴くときにヘッドホンを接続します。
☞ステレオヘッドホン(付属)を使用する(113ページ)

㉔ マイクALC設定スイッチ
録音状況に応じて録音レベルを調節し、音量を一定に近づけて録音するときに使用します。
☞ALC(オートレベルコントロール)について(56ページ)

㉕ マイク感度スイッチ
使用する目的に合わせて、マイク感度を切り換えるときに使用します。
☞マイク感度について(58ページ)

㉖ スピーカー
再生中の音が出力されます。ヘッドホン接続中はスピーカーからは音が出ません。

㉗ 電池ぶた
電池を交換するときには電池ぶたを開けてください。
☞電池を入れる(28ページ)

㉘ 固定用三脚穴
三脚を取り付けるときに使用します。
☞三脚(市販品)を使う(60ページ)

画面と基本操作

ICR-PS1000M の画面

電源をオンにすると【基本画面】が表示されます。　基本画面から【メニュー画面】と【リスト表示画面】を開くことができます。

長押し：「ギューッ」と 2 秒以上押し続けてください。特に指定のない場合は「ポン」と 1 回押してください。

液晶パネル

基本画面に表示される情報について説明します。
すべての画面を一度に表示することはできません。

■コントラストの調整

液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。(☞ 187 ページ)

ICR-PS1000M の基本操作

■ 録音の操作

■ 再生の操作

■ メニューの選択と設定の操作

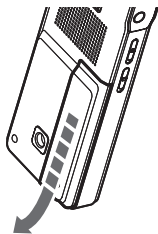
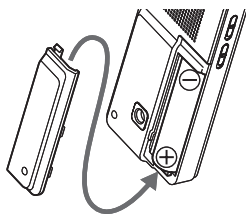
■ 停止中の操作

■ 再生中の操作

電池を入れる

パワフルで繰り返し使うことのできるエネループ充電池と手軽なアルカリ乾電池の両方をご使用いただけます。

故障やデータ破壊のおそれがありますので、電池を交換するときは電源を必ず切ってください。
また、挿入した電池の種類を本機のメニューで設定する必要があります。(☞ 30 ページ)

本機に電池を入れる

電池ぶたをあける

2 エネループ充電池(付属)またはアルカリ乾電池を入れ、電池ぶたを閉める

- ⊕、⊖の向きを間違わないでください。
- 市販のアルカリ乾電池をご使用の際は充電はしないでください。

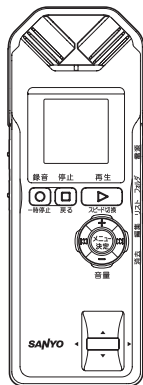
- 電池は、温度が 5 ℃～ 35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使い切った電池は各地方自治体の指示(条例)に従って処分してください。
  充電式電池の廃棄について
  (☞10 ページ)

電池の残量を確認する

1 **基本画面で【 】が表示された場合、充電するか新しい電池に交換する**

- 電池が切れると“電池切れです”表示後、画面が消灯します。
- BEEP 音設定によっては、電池切れの際に「BEEP 音」または「音声ガイド」でお知らせします。
  ☞音声ガイドを設定する
  (183 ページ)
- ☞エネルーブを充電する
  (197 ページ)

周囲の温度や使用状態などにより、電池残量の表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

使用する電池の種類を設定する

1. 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2. [音量+/−]を押して【共通設定】を選び[メニュー /決定]を押す

3. [音量+/−]を押して【電池切換】を選び[メニュー /決定]を押す

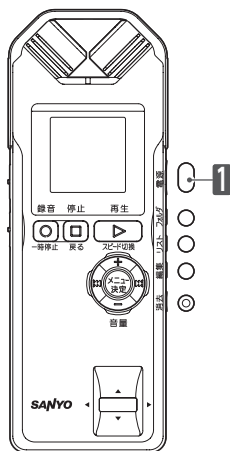
4. [音量+/−]を押して使用している電池の種類を選び、[メニュー /決定]を押す

【エネループ】：エネループ充電池（付属品）

【アルカリ電池】：アルカリ乾電池

設定した種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが、正しく表示されません。

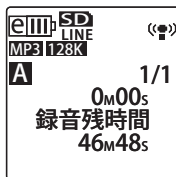
電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 ［電源］を押す

電源が入り、“HELLO!” 表示後、基本画面が表示されます。また、レジューム機能により、前回電源を切る前に選ばれていたファイルが表示されます。

- 購入後、初めて電源を入れた場合はカレンダー設定を行ってください。
  (☞ 42 ページ)

HELLO!

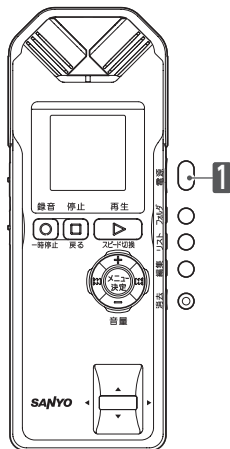
SD LINE
MP3 128K
A 1/1
0M00S
録音残時間
46M48S

■レジューム機能について

電源が切れる前のファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。

メモ

以下のような場合には、レジューム機能がはたらきません。

- パソコンに接続したとき
- 電源オフ操作を行わずに、電池または microSD カードを抜いたとき
- 電源オン後に microSD カードを挿入したとき
- AC 動作モードで電源オフ操作を行わずに、本機と外部電源の接続をはずしたとき

電源を切る

1 ［電源］を長押しする

“SEE YOU” 表示後、電源が切れます。

メモ

- 電源が入った状態で約 15 分間放置すると自動的に電源が切れます（オートパワーオフを「ON」に設定時）。（☞ 185 ページ）
- 録音一時停止中に、約 15 分間放置すると録音中のファイルを保存した後、電源が切れます。ただし、ALC オフで録音スタンバイ時は電源は切れません。
- お買い上げ時はオートパワーオフ機能は「ON」に設定されています。
- 本機が何も操作しない停止状態であっても、電源が「オン」になっていると電池を消耗します。電源の切り忘れを防ぐには、オートパワーオフ機能を「ON」に設定されることをおすすめします。
- AC 動作モードのときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。

■電池持続時間について

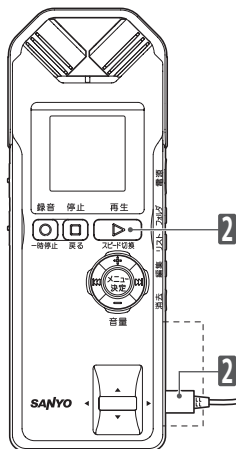
録音時間	［MP3］64kbps	約 50 時間（アルカリ乾電池）
		約 40 時間（エネループ充電池）
	［PCM］44.1kHz 16bit	約 22 時間 30 分（アルカリ乾電池）
		約 22 時間（エネループ充電池）
	録音環境： 録音 / 再生 LED OFF、バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、録音モニターなし、ALC ON 時	
再生時間（ヘッドホン）	［MP3］	約 54 時間（アルカリ乾電池）
		約 45 時間（エネループ充電池）
	［PCM］	約 24 時間 30 分（アルカリ乾電池）
		約 23 時間（エネループ充電池）
	再生環境： 録音 / 再生 LED OFF、バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、サウンド EQ FLAT 時	
再生時間（スピーカー）	［MP3］	約 38 時間（アルカリ乾電池）
		約 32 時間（エネループ充電池）
	［PCM］	約 19 時間 30 分（アルカリ乾電池）
		約 19 時間 30 分（エネループ充電池）
	再生環境： 録音 / 再生 LED OFF、バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、サウンド EQ FLAT 時	

※ 電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ乾電池、もしくは当社製充電池（エネループ充電池）以外での動作保証はいたしません。

- 本機の電源は当社の単 3 形エネループ充電池（付属）、または市販の単 3 形アルカリ乾電池を推奨します。
- オキシライド電池の使用も可能ですが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。
- マンガン、ニカド電池は使用可能時間が著しく短くなったり録音途中に電池切れになった場合、録音中のデータを正常に保存できないことがありますので使用しないでください。

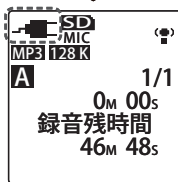
AC 動作モード（外部電源）で使用する

本機は電池のほか AC 動作モード（外部電源）でもご利用いただけます。外部電源として、パソコンの USB 端子からの電源供給または USB AC アダプター（別売）が利用可能です。

パソコンで使用する場合

1 専用USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する

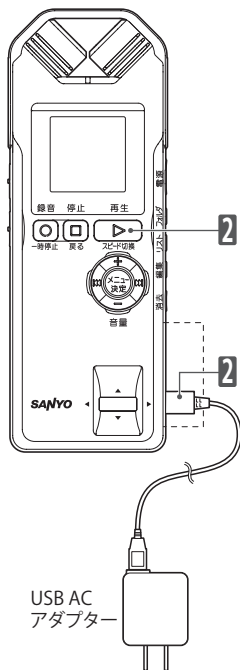
2 電源オフの状態で[再生/スピード切換]を押しながら、専用USB接続ケーブルのもう一方を本機に接続する

“HELLO！” と表示され、電源が入ります。

- AC 動作モード時は、電池切換の表示が-■にに変わります。
- **電源をオフにするときは［電源］を長押ししてください。**
- もう一度電源をオンにするときは、一度本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外し、再度2の手順で電源をオンにしてください。

AC 動作モードで使用時、microSD カードにアクセス中は専用 USB 接続ケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。ファイルが壊れることがあります。

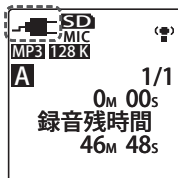
メモ

- **パソコンから電源を供給して使用する場合の連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 6 時間です。**
  PCM モードで録音した場合、1 回（1 ファイル）に録音できる最大録音容量は 2GB です。
- 録音可能時間が 6 時間未満の場合は録音可能時間終了時に自動で録音が終了します。
- 電源オンの状態で [再生 / スピード切換] を押しながら接続した場合、AC 動作モードになりません。

USB AC アダプター（別売）で使用する場合

1 **専用USB接続ケーブルとUSB ACアダプター(別売)を接続した状態で、USB ACアダプターをコンセントに差し込む**

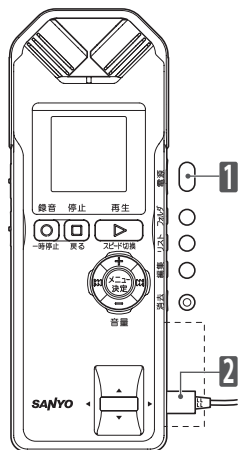
2 **電源オフの状態で[再生/スピード切換]を押しながら、専用USBケーブルを本機に接続する**

“HELLO！” と表示され、電源が入ります。

- AC 動作モードのときは、電池切換の表示がに変わります。
- **電源オフにするときは [電源] を長押ししてください。**
- もう一度電源をオンにするときは、一度本機を専用 USB 接続ケーブルから取り外し、再度 2 の手順で電源をオンにしてください。

AC 動作モードで使用時、microSD カードにアクセス中は専用 USB 接続ケーブルを抜いたり、USB AC アダプターをコンセントから抜いたりたりしないでください。ファイルが壊れることがあります。

メモ

- **USB AC アダプター使用時の連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 6 時間です。**
  PCM モードで録音した場合、1 回（1 ファイル）に録音できる最大録音容量は 2GB です。
- 録音可能時間が 6 時間未満の場合は録音可能時間終了時に自動で録音が終了します。
- 電源オンの状態で [再生 / スピード切換] を押しながら接続した場合、AC 動作モードになりません。

本機をパソコンや USB AC アダプターから取り外す

1 [電源]を長押しして電源を切り、AC動作モードを解除する

2 専用USB接続ケーブルを本機から取り外す

- **本機を USB AC アダプターやパソコンから取り外す際は、必ず AC 動作モードを解除し、液晶パネルの表示が消えていることを確認してください。** microSD カードにアクセス中（再生中、録音中、ファイル消去中、フォーマット中、フェードイン / フェードアウト中など）に本機を取り外すと、接続している microSD カードが壊れるおそれがあります。
- 本機の使用中及び、不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益、または修理でのデータ消去に伴う事項が発生しても、補償に関しては当社では一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

microSD カードについて

本機は、録音 / 再生用メモリーとして microSD カードを使用します。
本機で microSD カードを使うときは、microSD カードをフォーマットしてください。

- **フォーマットは必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットした microSD カードは、使用できないことがあります。**

microSD カードの取扱いについて

■本機で使用可能な microSD カード

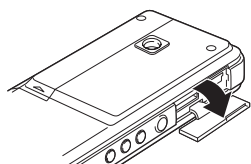
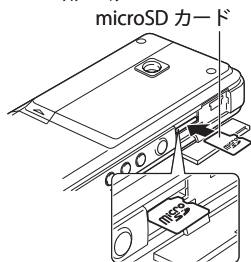
本機は 512MB ～ 2GB の microSD カード、および 4GB の microSDHC カードに対応しております。（2008 年 3 月現在）
microSD カード、microSDHC カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
当社基準において動作確認済の microSD カードは以下の通りです。その他の microSD カードの動作確認については、各 microSD カードの販売元へお問い合わせください。

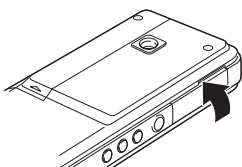
microSD カードメーカー	microSD カード品番	容量
東芝	SD-MC512MA	512MB
	SD-MC001GA	1GB
	SD-MC002GA	2GB
	SD-MH004GA	4GB
Panasonic	RP-SM512BJ1K	512MB
	RP-SM01GBJ1K	1GB
	RP-SM02GBJ1K	2GB
	RP-SM04GBJ1K	4GB
SanDisk	SDSDQ-512-J3K	512MB
	SDSDQ-1024-J3K	1GB
	SDSDQ-2048-J3K	2GB
	SDSDQ-4096-J60M	4GB
ハギワラシスコム	HNT-MR512T	512MB
	HNT-MR1GT	1GB
	HNT-MR2GT	2GB
	HNT-MRH4GTA	4GB

＊上記の表はすべて、弊社が動作確認を行った microSD カードメーカーを紹介するものであり、弊社がお客様に microSD カードの動作保障をするものではありません。各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承下さい。

- ご利用の際は、必ず microSD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読み下さい。
- 256MB 以下の microSD カードは利用できません。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。
- 全ての microSD カードの動作を保障するものではありません。

- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機での録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードをご使用ください。動作確認済以外の microSD カードを使用すると、データの消失や故障の原因となるおそれがあります。
- 本体の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと奥まで挿入できません。
- micro SD カードは、サイズが小さいため抜き差し時の取り扱いには、充分ご注意ください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データ消失の原因となります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがあるので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。

microSD カードの取り付け

1 **microSDカードスロットのカバーを開ける**

2 **microSDカードスロットに、図の向きにまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む**

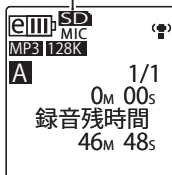
- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してください。microSD カードはまっすぐ差し込み、差込口上部のすきまに入れないように注意してください。

3 **microSDカードスロットのカバーを閉じる**

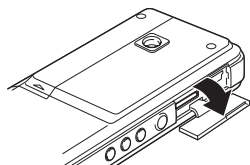
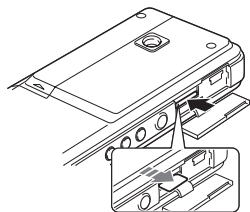
- microSD カードが入っていない状態で録音、再生などの操作を行おうとすると「SD カードを挿入して下さい」と表示されます。

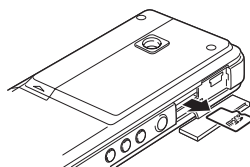
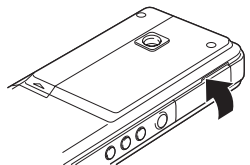
4 **電源をオンにする**

画面に SD が表示されます。

- microSD カードを取り付けても認識しない場合は、いったん microSD カードどを抜き、再度挿入し直してください。

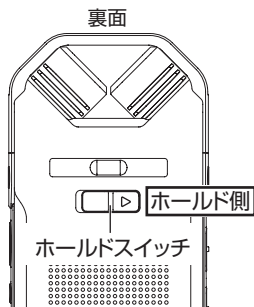
microSD カード表示

microSD カードの取り外し

必ず本機の電源をオフにしてから、microSD カードを取り外してください。

1 **microSDカードスロットのカバーを開ける**

2 **microSDカードを軽く押し込む**

microSD カードが少し飛び出します。

3 **microSDカードをゆっくりと引き抜く**

4 **microSDカードスロットのカバーを閉じる**

誤動作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンやポケットに入れたときなどに、物と接触しておこるボタンやスイッチなどの誤動作や、誤動作による電池の消耗を防ぎます。

ホールド機能を設定 / 解除する

1 ホールドスイッチをホールド側にする

" ホールド設定 " と表示され、各ボタンが機能しなくなります。

SD
MIC
MP3 128 K
ホールド設定

2 ホールドスイッチを戻す

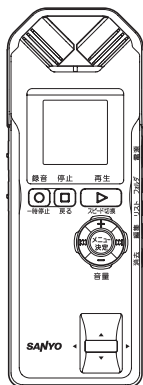
" ホールド解除 " と表示され、ホールド機能が解除されます。

メモ

- 本機をカバンやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド設定をすることをおすすめします。
- マイク感度スイッチは、ホールド設定時も切り換えできます。

カレンダー（日時）を設定する

日付と時刻を設定しておくと、″録音した年月日と時間″の情報が、ファイルごとに自動で記録されます（タイムスタンプ機能）。録音したファイルの管理が容易になります。

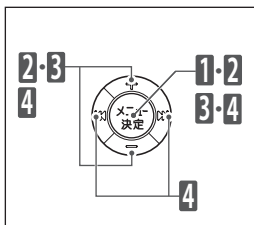
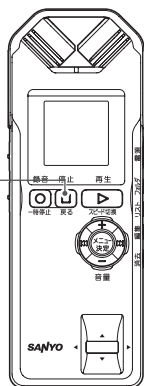
カレンダー（日時）を設定する

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び[メニュー /決定]を押す

3 [音量+/−]を押して【カレンダー設定】を選び[メニュー /決定]を押す

【カレンダー設定】画面が表示され、西暦表示が反転します。

4 [音量+/−]で西暦を選び[▶▶|]を押す

西暦が確定し、月表示が反転します。

5 同様に月、日、24/12時間表示切換(24H/AM・PM(12H))、時、分を選んで設定する

【カレンダー設定】
2008年 4月 1日
24H 0時 0分

6 [メニュー /決定]を押す

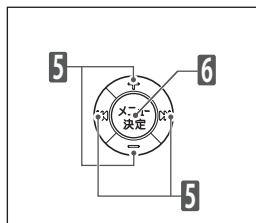
カレンダーが設定され、前画面に戻ります。

【共通設定】
BEEP音設定
録音/ 再生 LED
カレンダー設定
タイマー設定
ポインティング

7 [停止/戻る]を2回押す

設定時間が更新され、基本画面に戻ります。

MP3 128 K
A 1/1
0M00S
録音残時間
46M48S

メモ

- 設定途中で間違えた場合は、[停止 / 戻る] を押すと手順 3に戻ります。最初から設定し直してください。
- 購入後、初めて電源を入れた際はカレンダーを設定をしてください。
- 電池を抜いた状態が約 5 分以上続くと、カレンダー設定が保持されない場合があります。電池を入れた後に再度カレンダーを設定してください。
- 長い期間使用していると、時刻表示がずれることがあります。その場合は、再設定してください。

ファイル / フォルダについて

本機では、１回の録音単位を「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。「ファイル」は「フォルダ」に収容され、本機に挿入されている microSD カードに保存されます。

ファイルとは

１回の録音操作（録音ボタンを押してから停止ボタンを押すまで）を行うごとに、１つの録音データが作成されます。この録音１回分のデータを「ファイル」と呼びます。本機で録音したファイルには自動的に任意の名前（ファイル名）がつき、１０回の録音を行うと１０個の名前の違うファイルが作成されることになります。

■ファイル名について

本機で録音したファイルには、以下のような構成で自動的に名前がつきます。

IC_A_001.MP3
　①　②　③

①：フォルダ名（録音したフォルダによって変わります）

②：ファイル番号（録音するごとに、001、002、003…と順次ファイルが作成されていきます）

③：拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

また、ごみ箱機能を使ってごみ箱に移動したファイルは、以下のようなファイル名に変更されます。

001_IC_A_001.MP3
①　②　③　④

①：ごみ箱内のファイル番号（001、002、003…というように、ごみ箱に移動された順番でつけられます）

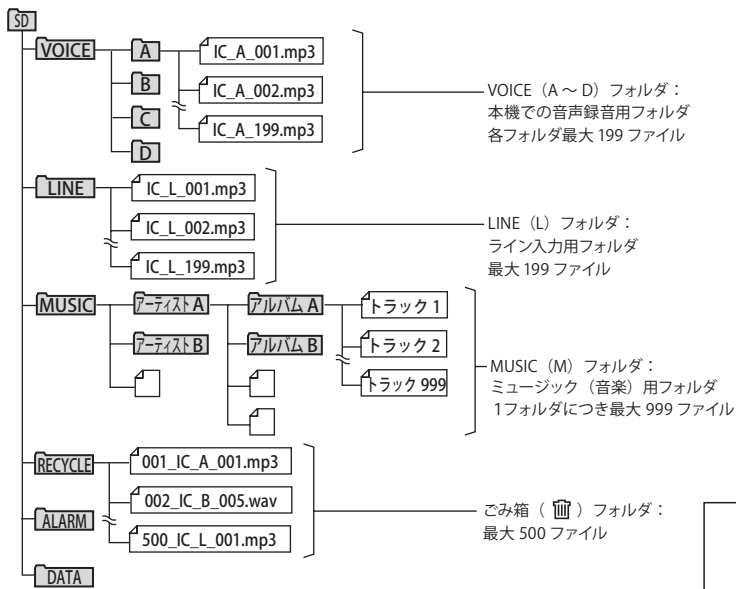
②：フォルダ名（ごみ箱に移動する前のフォルダ名です）

③：ファイル番号（ごみ箱に移動する前のファイル番号です）

④：拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

フォルダとは

たくさんの録音を行うとファイルの数が多くなってくるので、あとから目的のファイルを探し出すのが大変です。そこで、録音する内容ごとにファイルを入れておく場所を分ければ、あとから必要なファイルを探し出すのに便利です。この、ファイルを入れておく場所を「フォルダ」と言います。
フォルダは、フォルダの中にさらにフォルダを作成し、細かく分類していくことができます。フォルダの中にフォルダを作ることを「階層」と呼び、階層が深くなっていく度に第1階層、第2階層…と言います。(2階層までフォルダを作成できるのは、MUSIC(M) フォルダのみです)

■本機のフォルダ構成について

本機では、以下のようにあらかじめいくつかのフォルダが用意されています。

● VOICE フォルダ（A ～ D）

マイク録音用フォルダです。会議や講義、楽器演奏など、本機でマイク録音（☞ 63、66 ページ）した音声ファイルはここに保存されます。VOICE フォルダ内には A ～ D の 4 つのフォルダが用意されており、例えば A フォルダは会議録音用、 B フォルダはおけいこ録音用といったように目的に応じて使い分ければ、後から録音したファイルを探すのに便利です。

● LINE フォルダ（L）

外部録音用フォルダです。外部機器からライン録音（☞ 76 ページ）した音声ファイルが保存されます。

● MUSIC フォルダ（M）

パソコンから MP3、WMA 形式および、本機で録音された WAV 形式のファイルを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD や語学 CD をパソコンに取り込み、本機で再生する場合はこのフォルダを利用します（☞ 48、51、114 ページ）。本機の録音操作で、このフォルダに録音することはできません。
また、パソコンを使えば MUSIC フォルダ内にさらに 2 階層まで任意のフォルダを作成することができます。

● RECYCLE フォルダ（🗑）

ごみ箱フォルダです。ごみ箱機能（☞ 137 ページ）がオンの時、本機で消去したファイルが移動されます。ごみ箱フォルダ内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。

● ALARM フォルダ

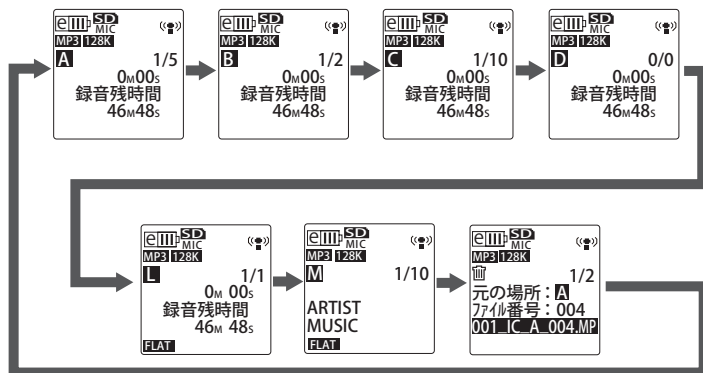
本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。
アラーム設定 (☞ 152 ページ) で「MUSIC」に設定した際、アラーム時に鳴らす MP3 / WMA（著作権なし）ファイルを保存するフォルダです。
再生できるファイルは 1 ファイルのみです。
このフォルダにファイルがない場合は、アラーム設定で「MUSIC」に設定していてもアラーム時に BEEP 音（ピピピピッ）が鳴ります。

● DATA フォルダ

本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。
ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機を USB フラッシュメモリー（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。

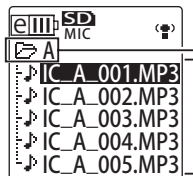
- 録音（録音→停止）するごとに、ファイルが 1.2.3. と順次作成されていきます。何度録音しても、上書きはされず、消去操作をしない限りファイルは消えません。
- 本機で会話や楽器演奏などをマイク録音した場合の音声は「A フォルダ」～「D フォルダ」の指定したフォルダに録音されます。
  A ～ D 以外のフォルダを選択した状態で録音した場合には自動的に A フォルダに保存します（楽器演奏をマイク録音しても M フォルダには録音されません）。A フォルダのファイル数が 199 ファイルの時は録音されません。

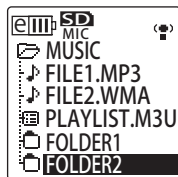
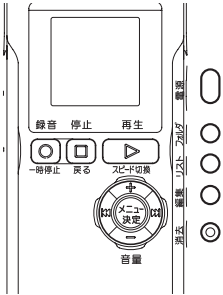
フォルダの切り換え

基本画面で停止中に [フォルダ／ AB リピート] ボタンを押すごとに、下図の様にフォルダが切り換わります。

リスト表示画面の操作

リスト表示画面は、microSD カード内のフォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

リスト表示画面の開き方

基本画面で停止中に［リスト / インデックス］を押すと、1 つ上の階層を一覧表示します。リスト表示画面は、基本画面で選択していたフォルダ内のファイルを最初に表示します。

- 再生中や録音中は、リスト表示画面を表示できません。
- ファイル名が画面に収まらない場合、カーソルを合わせたまま、しばらく待っているとスクロール表示します。
  ☞ファイル名について（44 ページ）
- もう一度［リスト / インデックス］を押すと、基本画面に戻ります。

■リスト表示画面に表示されるアイコンについて

♪ : ファイル

▤ : プレイリストファイル
（プレイリストについて ☞ 115、241 ページ）

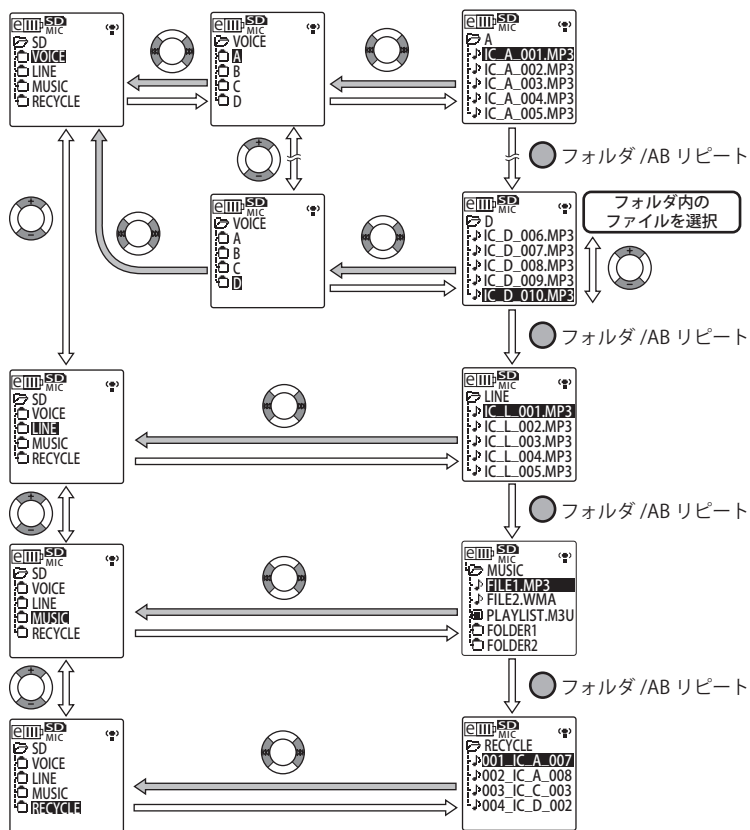
▢ : フォルダ

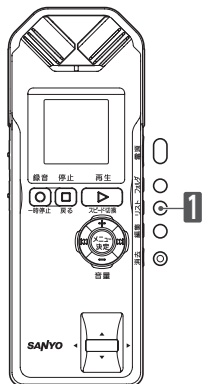
お使いになる前に

リスト表示画面のボタン操作

ファイルとフォルダの切り換え選択は［音量＋/ −］、［ ⏮ ⏭ ］のボタンだけで行うことができます。

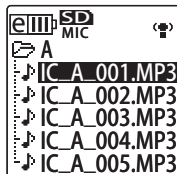
ボタン	機能
＋	カーソルを上方向に移動します。
−	カーソルを下方向に移動します。
⏮	一つ上の階層に戻ります。
⏭	選択中のフォルダを開きます。
メニュー / 決定	選択中のフォルダを開きます。ファイル選択中は基本画面で待機します。
録音	リスト画面を終了して録音を開始します。
停止	リスト画面を終了して基本画面に戻ります。
再生	選択中のフォルダまたはファイルの再生を開始します。 選択したフォルダにファイルがない場合は、「再生するファイルがありません」と表示してから基本画面に戻ります。
電源	長押しすると電源をオフにします。
フォルダ	押 す 度 に A ⇒ B ⇒ C ⇒ D ⇒ LINE ⇒ MUSIC ⇒ RECYCLE の順にリスト表示が切り換わります。
リスト	リスト画面を終了して基本画面に戻ります。
編集	リスト画面では機能しません。
消去	リスト画面では機能しません。

リスト表示画面のボタン操作の流れ

リスト表示画面の操作例

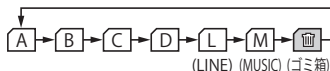
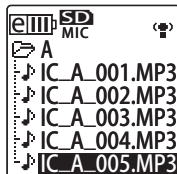
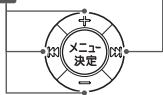
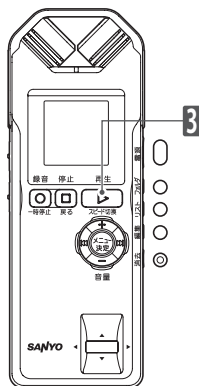
リスト表示画面からファイルを選択して、再生するまでの手順を例に説明します。

1 **基本画面で停止中に[リスト/インデックス]を押す**

リスト画面が表示されます。

- ファイルの録音中、再生中はリスト表示画面は表示されません。

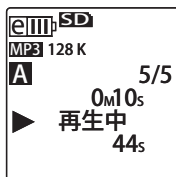
A
IC_A_001.MP3
IC_A_002.MP3
IC_A_003.MP3
IC_A_004.MP3
IC_A_005.MP3

2 **[音量＋/－]を押して再生したいファイル番号を選ぶ**

他のフォルダに移動するときは[⏮][⏭]を押して目的のフォルダを選択してください。

また[フォルダ/ABリピート]を押すごとにフォルダが切り換わり、各フォルダ内のファイルが表示されます。

- フォルダにファイルがないときは、「ファイルがありません」と表示されます。

3 [再生/スピード切換]を押す

▷再生開始

基本画面に戻り、選択したファイルが再生されます。

- フォルダを選んだ状態で［再生 / スピード切換］を押すとフォルダ内のファイルが再生されます。（フォルダ内にファイルがある場合のみ）

4 ［停止/戻る］を押す

▷再生停止

再生を停止し、基本画面に戻ります。

表示情報を切り換える

基本画面において、[停止 / 戻る] を押すごとに、表示画面が以下の順番で切り換わります。（例：A フォルダの場合）

表示順	表示項目	再生対象ファイルがある場合	再生対象ファイルがない場合
1	録音残時間	MP3 320K A 1/1 0M00S 録音残時間 46M48S	MP3 320K A 0/0 0M00S 録音残時間 46M48S
2	現時刻	MP3 320K A 1/1 現時刻 08年2月14日(金) 10時15分30秒	MP3 320K A 0/0 現時刻 08年2月14日(木) 10時15分30秒
3	再生総時間	MP3 320K A 1/1 0M00S 再生総時間 2M41S	表示されません
4.	録音日時	MP3 320K A 1/1 録音日時 08年2月9日(金) 15時47分	表示されません

• MUSIC フォルダは、フォルダ内に再生対象ファイルがあっても「録音日時」は表示されません。

録音する

録音について知っておきたいこと

風切り音について

本機は高性能マイクを搭載しているため、マイクに直接息や風があたるような状況下では、風切り音が録音されます。
そのような場合は、設定メニューで「Low Cut フィルタ」（☞ 84 ページ）を「ON」に設定し、付属のウインドスクリーンを取り付けて録音することをおすすめします。

録音のコツ

録音する対象や内容に応じて、以下を参考に本機の設定を切り換えることで、より最適な録音をすることができます。

	録音モード	ALC	マイク感度	Low Cut フィルタ
楽器演奏、動物の声や環境音などの録音※1	PCM 48 kHz PCM 44.1 kHz MP3 320 kbps MP3 192 kbps	オフ	※ 2	オフ
講義、会議商談、おけいこごとなどの録音	MP3 128 kbps MP3 64 kbps	オン	高	オン
口述録音	MP3 64 kbps MP3 32 kbps	オン	低	

※ 1 原音で録音したいときは PCM を、容量を抑えながら高音質で録音したいときは MP3 モードを選択してください。
※ 2 録音対象に合わせてマイク感度の切換、マイクレベルの調整をしてください。

※　上記はあくまで目安です。実際の録音では録音モニタするなどして確認することを推奨します。
※　録音中は、本体に触ったり動かしたりしないでください。

録音モードについて

本機はハイクオリティでデータ量が少ない MP3 形式と、デジタルオーディオの最高クラスの音質で録音できる PCM（WAV）の録音形式を採用しています。
日常会話はもちろん野外での録音や音楽演奏、MD プレーヤーからの録音、パソコンを使っての CD 制作などにも多彩な用途に対応できるよう高品質でありながら幅広く細かな録音モードを用意しております。

☞録音モード（音質）を変える（78 ページ）

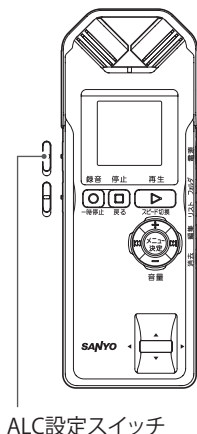
ALC（オートレベルコントロール）について

ALC（オートレベルコントロール）は録音状況に応じて自動的に録音レベルを調整することで、音量を一定に近づけて録音する機能です。大きい音は少し小さく、また小さい音は少し大きく調整して録音します。この機能を使用して録音されたファイルは、音割れや歪みのない、聞きやすい音で再生することができます。

• ALC オン / オフの切り換えは VOICE（A～D）フォルダへのマイク録音時のみ有効となります。

ALC 設定	ALC オン	ALC オフ
特長	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れや歪みを抑え、聞き取りに適した音声録音を行います。	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。
主な使用場面	会議や商談、講演やインタビューなど	楽器演奏など

■ ALC（オートレベルコントロール）オン / オフの切り換え

ALC オン / オフの切り換えはＡ～Ｄフォルダへの音声録音時のみ有効となります。

ALC設定スイッチ

[ALC設定スイッチ]をスライドさせて「オン」側に切り換える

ALC が「オン」に設定されます。

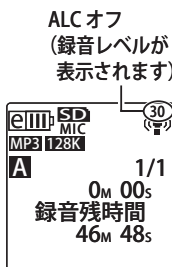
- 録音状況に応じて、最適な録音レベルに自動的に調整されます。

[ALC設定スイッチ]をスライドさせて「オフ」側に切り換える

ALC が「オフ」に設定されます。

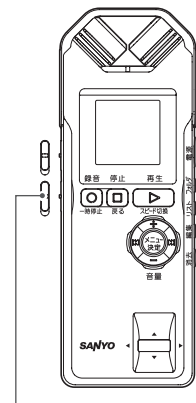
- 録音レベルを段階的に設定することができます。
- ALC が「オフ」のときは、画面に現在の録音レベルが表示されます。

	アイコン
ALC オン時	(•)
ALC オフ時	15 (•)

メモ

ALC オンのときは、マイク感度アイコンの上部には何も表示されません。

マイク感度について

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。
録音した音声が小さい場合や大きすぎる場合は、本機左側面のマイク感度スイッチでマイク感度を切り換えて調整してください。

■マイク感度の切り換え

マイク感度スイッチ

録音レベルが小さい場合
［マイク感度スイッチ］をスライドさせて「高」に切り換えてください。

録音レベルが大きい場合
［マイク感度スイッチ］をスライドさせて「低」に切り換えてください。

	アイコン
録音レベル「高」時	
録音レベル「低」時	

外部録音（入力端子）設定について

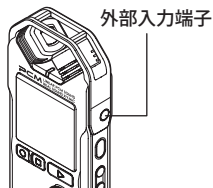
本機の外部入力端子は､メニュー設定で｢マイク入力｣と｢ライン入力｣の切り換えができます。外部マイクを使用する時はマイク入力、他のオーディオ機器とつないで録音する時はライン入力に設定してください。

☞外部録音設定を切り換える（87 ページ）

■外部マイクについて

本機の外部入力端子に別売のステレオマイクを接続して録音することができます。
使用可能な外部マイクは（市販の外部マイクを使用する場合は)、下記仕様のマイクを推奨します。

推奨 :

- 形式：エレクトレットコンデンサー / プラグ イン パワー方式
- インピーダンス：2k Ω
- 電源：1.3V にて動作保証品
- プラグ：ミニプラグ（3.5 φ）

- 推奨品以外の外部マイクを使用された場合、正常に録音できないときがあります。
  使用可能な外部マイクについては、「関連商品について」（☞ 16 ページ）を参照してください。

三脚（市販品）を使う

本機に三脚取付け用の穴を設けていますので、市販のカメラやビデオカメラの三脚を取り付けることができます。
本機を三脚に取付けて、理想的な位置で使えますので、楽器演奏の録音などに大変便利です。

いますぐ録音してみる

基本の録音 / 再生

1 基本画面(☞24ページ)の状態で[録音/一時停止]を押す
▷録音開始

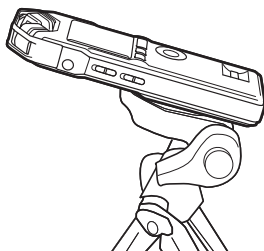
(☞24ページ)

- 録音 / 再生 LED(赤)が点灯します
- ALC オフ時は録音スタンバイ状態になります。録音スタンバイ状態でもう一度[録音 / 一時停止]を押すと録音を開始します。

ALC オフ時

2 録音を止めるとき[停止/戻る]を押す
▷録音停止

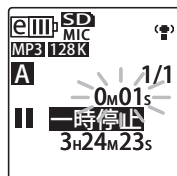
3 [再生/スピード切換]を押す
▷再生開始

- 1 - 2で録音した内容が再生されます。音量や音質を確認してください。
- 録音 / 再生 LED(緑)が点灯します。

4 **再生を止めるとき**
[停止/戻る]を押す
▷再生停止

録音を一時停止する

録音中に[一時停止/録音]を押す

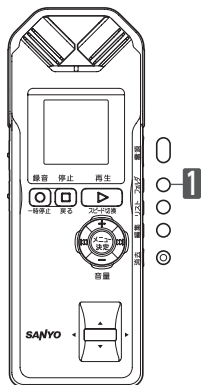
【一時停止】が表示され、録音経過時間が点滅し、一時停止します。

- もう一度 [一時停止 / 録音] を押すと録音が再開します。
- 録音一時停止状態で約 15 分間放置すると、電源が切れます。（オートパワーオフを「オン」に設定時）

録音内容をモニターする

録音中、本機に接続されたヘッドホン（付属）から、録音されている音声をモニターできます。モニター音量は、[音量＋ / −] で調節できます。

会議など人の声を録音する

会議や講義など、人の声を microSD カードにマイク録音します。

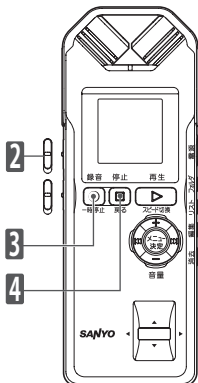
録音する

1 ［フォルダ/ABリピート］を押して録音するフォルダを選択する

［フォルダ /AB リピート］を押す度に本機のフォルダが切り換わります。マイク録音する時はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４つの音声録音用フォルダから選んでください。Ａフォルダは会議用、Ｂフォルダはおけいこ用というように、録音する内容に応じて分けると便利です。

☞フォルダとは（45 ページ）

メモ

- リスト表示画面からフォルダを選択することもできます。

☞リスト表示画面の操作（49 ページ）

2 ALCをオンに切り換える

- ALC 設定を変えると画面に表示されるアイコンが変わります。

	アイコン
ALC オン時	
ALC オフ時	15

（お買い上げ時の設定 :15）

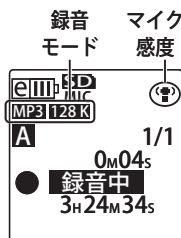
☞ ALC（オートレベルコントロール）について（56 ページ）

3 [録音/一時停止]を押す

録音 / 再生 LED（赤）が点灯し、録音が始まります。

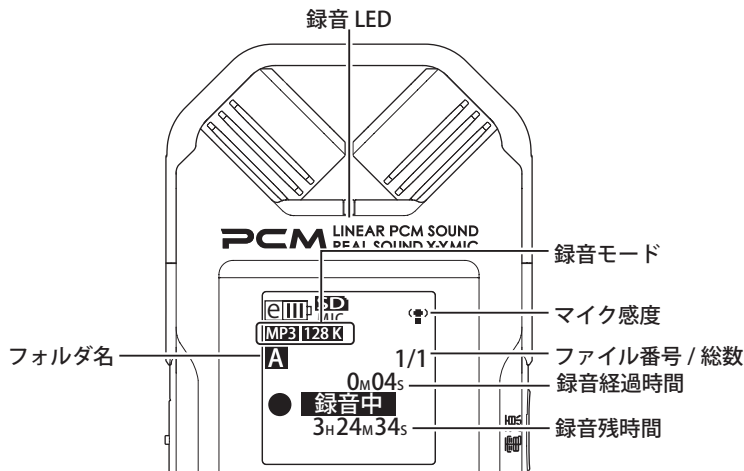
録音モードやマイク録音レベルの設定によって画面に表示される情報が変わります。

- 録音する音の大きさに応じて、マイク感度の「高」「低」を設定してください。

☞マイク感度について（58 ページ）

4 停止ボタンを押して録音を停止する

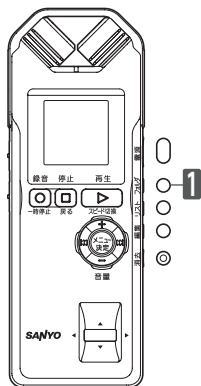
録音 / 再生 LED が消灯し、録音を停止します。画面には録音残時間が表示されます。

録音中の表示（ALC オン時）

録音 LED
LINEAR PCM SOUND
録音モード
マイク感度
フォルダ名
ファイル番号 / 総数
録音経過時間
録音残時間
MP3 128 K
A
1/1
0M04S
録音中
3H24M34S

• ファイルによっては、録音経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。

楽器演奏や自然の音などを録音する

楽器演奏などを、本機の内蔵マイクで microSD カードに録音します。
録音する内容や音の大きさに合わせて手動で録音レベルを調節して録音します。

録音する

1 [フォルダ/ABリピート]を押して録音するフォルダを選択する

［フォルダ /AB リピート］を押す度に本機のフォルダが切り換わります。マイク録音する時はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４つの音声録音用フォルダから選んでください。

☞フォルダとは（45 ページ）

メモ

- リスト表示画面からフォルダを選択することもできます。
  ☞リスト表示画面の操作（49 ページ）

2 ALCをオフに切り換える

マイク ALC 設定を変えると画面に表示されるアイコンが変わります。

	アイコン
ALC オン時	(•)
ALC オフ時	15 (•)

（お買い上げ時の設定 :15）

☞ ALC（オートレベルコントロール）について（56 ページ）

3 [録音/一時停止]を押して録音スタンバイ状態にする

録音ボタンを押すと、録音スタンバイ画面になります。

- レベルメーターが右に振れるほど、大きな音で集音していることを表します。
- この状態ではまだ録音を行っていません。

4 録音レベルを調整する

実際に録音する音の状況（楽器演奏などの場合は録音する音を鳴らしながら）で、[⏮][⏭] を押して録音レベルを調整してください。

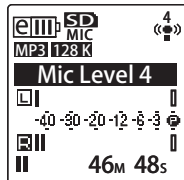
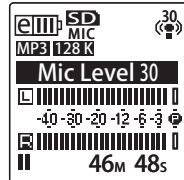
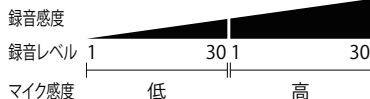
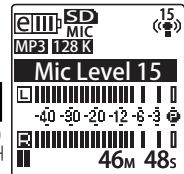
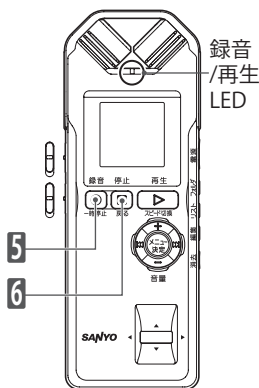
最初はマイク感度を［高］に切り換えて録音することをおすすめします。

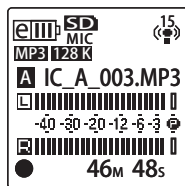
●録音レベルの調整のしかた

マイクに入る音の大きさに応じて、レベルメーターが左右に振れます。できるだけ大きく集音するように [▶▶|] をを押して調整してください。

ただし、「PEAK インジケーター」が点灯すると入力が大きすぎる状態です。この場合は、音が歪んで録音されますので [|◀◀] を押して録音レベルを下げてください。録音レベルを「1」まで下げても「PEAK インジケーター」が点灯する場合は、マイク感度を［低］に切り換えて調整してください。

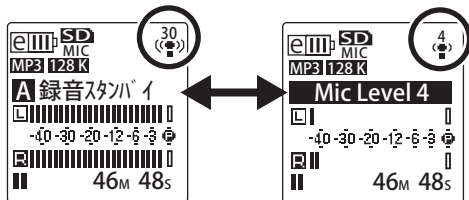
適切な録音レベルは、録音したい音が最も大きくなった場合でも、レベルメーターが右に振り切れることなく「PEAK インジケーター」が点灯しない状態です。

録音レベルが小さすぎる場合

録音レベルが大きすぎる場合

適切な録音レベル

＊録音感度 0 は、マイク感度「高」、「低」ともに無音が録音されます。

5 もう一度[録音/一時停止]を押す

録音 / 再生 LED（赤）が点灯し、録音が始まります。
録音モードやマイク録音レベルの設定によって画面に表示される情報が変わります。

6 停止ボタンを押して録音を停止する

録音 / 再生 LED が消灯し、録音を停止します。画面には録音残時間が表示されます。

メモ

- マイク録音レベル 0 に設定時は無音が録音されます
- マイク録音レベル調整中は、次のように画面の表示が変わります。

- 設定したマイク録音レベルは、次回録音時にも記憶されています。
- 録音中に調整すると雑音の原因となりますので、録音スタンバイ状態で調整することをおすすめします。
- マイク ALC オフ時、録音スタンバイ状態で [メニュー / 決定] を押すと録音 EQ の設定変更ができます。☞録音 EQ を設定する（71 ページ）
- 録音中に ALC オン / オフの切り換えはできません。変更する場合は、一度録音を停止してから、再度設定してください。

録音中の表示（ALC オフ時）

録音 LED

録音モード

録音レベル

フォルダ名

ファイル名

録音レベルメーター

録音中表示

録音経過時間

• ファイルによっては、録音経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。

録音 EQ を設定する

録音 EQ 機能を使用することにより、低音域を強調して録音したり、中音域を強調して録音するなど、お好みの音質で録音することができます。

• 録音 EQ はマイク録音（A ～ D フォルダへの録音）の場合に設定できます。
• 録音 EQ は ALC OFF 時に、録音スタンバイの状態でのみ設定可能です。

☞楽器演奏や自然の音などを録音する（66 ページ）

プリセット録音 EQ について

あらかじめプリセットされている「RECOMMEND」、「FLAT」、「SUPER BASS」、「BASS」、「MIDDLE」、「BASS&TREBLE」、「TREBLE」、「SUPER TREBLE」の 8 種類の録音 EQ と、5 バンドの録音レベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。
プリセット録音 EQ の特徴は、以下のとおりです。

RECOMMEND	FLAT	SUPER BASS	BASS	MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
RECOMMEND	FLAT	SUPER BASS	BASS	MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
内蔵マイクでの推奨設定です。	「録音 EQ」機能を使わず、録音します。	低音域をより強調して録音します。	低音域をやや強調して録音します。	中音域を強調して録音します。	低音域と高音域をやや強調して録音します。	高音域をやや強調して録音します。	高音域をより強調して録音します。

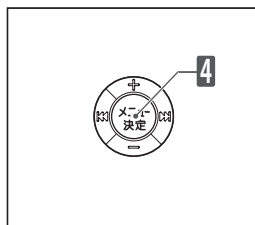
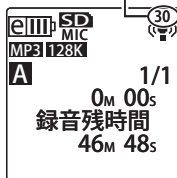
• 「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。
• プリセットされている 8 種類の録音 EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

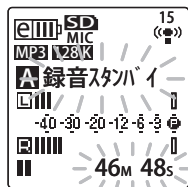
☞「録音 EQ をお好みの音質に設定する」（74 ページ）

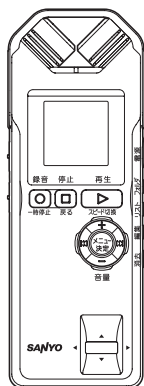
プリセット録音 EQ 設定のしかた

1 ALC設定スイッチを「オフ」に切り換える

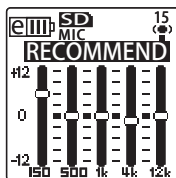
2 [フォルダ/リピート]を押し、録音するフォルダを選択する

A ～ D フォルダを選択してください。

3 [録音/一時停止]を押す

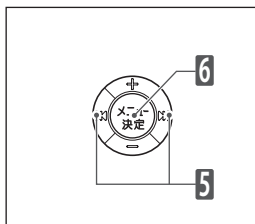
録音スタンバイ画面が表示されます。

4 録音スタンバイ画面で[メニュー / 決定]を長押しする

録音 EQ 画面が表示されます。

5 [⏮] [⏭] を押してお好みのサウンドEQモードを選択します

8 つのプリセット録音 EQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。

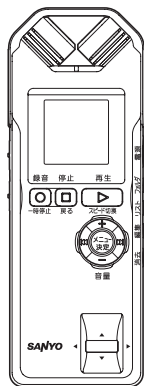
- 「USER」を選択した場合は、「録音 EQ をお好みの音質に設定する」（☞ 74 ページ）を参照の上、設定してください。

6 [メニュー /決定]を押す

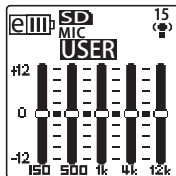
選択した録音 EQ に設定されます。

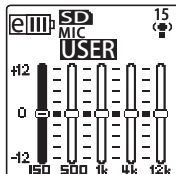
- 録音レベルを調整した後、もう一度［録音 / 一時停止］を押すと、録音が開始されます。
  ☞楽器演奏や自然の音などを録音する（66 ページ）

メモ

- 録音 EQ 設定中にキャンセルして戻るには、［停止 / 戻る］ボタンを押します。
- 録音 EQ の設定は、本機の電源を切ったり、電池交換を行ったりしても保存されます。
  ただし、電源を切らずに電池交換を行った場合は、設定は保存されません。

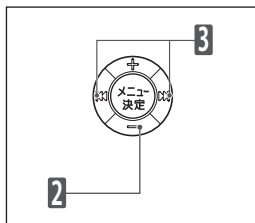
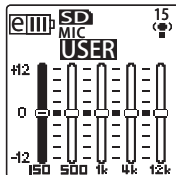
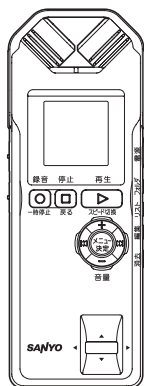
録音 EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

録音 EQ で「USER」を選択している場合、録音 EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 録音EQ設定で「USER」を選択する

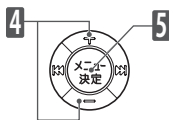
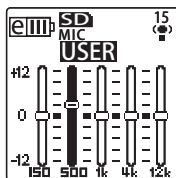
☞「プリセット録音 EQ について」（71 ページ）

2 [音量－]を押す

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 [⏮][⏭]を押して、変更したい周波数帯を選ぶ

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

- 「150Hz」、「500Hz」、「1kHz」、「4kHz」、「12kHz」の周波数帯の調整ができます。

4 [音量+/−]を押して、選択した周波数帯のレベルを調整する

− 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、 1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。

- ［音量＋］を押すとレベルが大きくなります。
- ［音量－］を押すとレベルが小さくなります。
- 他の周波数を変更する場合は手順3と手順4の操作を繰り返してください。
- 途中で設定を中止するときは、［停止 / 戻る］を押してください。手順1の画面に戻ります。

5 [メニュー /決定]を押す。

「USER」の設定を完了し、録音スタンバイ画面に戻ります。

メモ

- 設定途中で [停止 / 戻る] を 2 回押すと録音スタンバイ画面に戻ります。
- 録音 EQ の「USER」設定は本機の電源を切ったり、電池交換を行ったりしても保存されます。
  ただし、電源を切らずに電池交換を行った場合は、設定は保存されません。

外部機器から録音する

コンポやラジカセ、CD・MD プレーヤーなど外部機器と接続して、それらの音楽などを録音することができます。

※ ライン入力による録音は、タイマー予約録音できません。

外部機器からの録音（ライン入力）

1 設定メニューで外部録音を「ライン入力」切り換える

外部入力の切り換えについては「外部録音設定を切り換える」（☞ 87 ページ）参照。

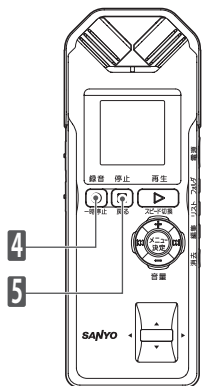
2 本機の外部入力端子と外部機器の音声出力端子をつなぐ

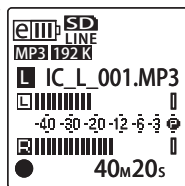
市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：3.5 φ、抵抗なし）を使用してください。

> メモ
>
> 事前にためし録音を行い、**外部機器で音量の調整を行ってください。**
>
> 音量が大きすぎると、音割れの原因になります。

3 [フォルダ]を押してL(LINE) フォルダを選ぶ

他のフォルダを選んでも自動的にＬフォルダに録音されます。

L フォルダ

4 外部音源を再生し、本機の[録音/一時停止]を押して録音を始める

- 自動的に MP3:192kbps モードで録音します。それ以外のモードは選べません。
- L フォルダの最大ファイル数は 199 ファイルです。録音残時間が残っていても、200 以上のファイルを録音することはできません。（" ファイルが一杯です " と表示されます）
- 録音中にオーディオケーブルを抜くと録音を停止します。
- L フォルダ内のファイルにはインデックスがつけられません。
- L フォルダに録音時は、マイク ALC が自動的に「オフ」になります。
- 「ライン入力」が設定されている状態で、外部マイク録音をした場合、無音が録音されます。
- ライン入力で外部機器からの外部録音中は、スピーカーから音は出ません。録音中の音声を聞く場合は、ヘッドホンを使用してください。
  （ ☞113 ページ）

5 [停止/戻る]を押して録音を止める

外部機器の再生を止めてください。

録音の設定を行う

録音モード（音質）を変える

録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質をお選びいただけます。

設定できる録音モード

<table>
<tr><th>録音形式</th><th>表示</th><th>ファイル拡張子</th><th>用　途（例）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">PCM</td><td>48</td><td rowspan="2">.WAV</td><td rowspan="2">原音の録音（スタジオのレコーディングや、オリジナルCD作成用等）</td></tr>
<tr><td>44.1</td></tr>
<tr><td rowspan="5">MP3</td><td>320</td><td rowspan="5">.MP3</td><td rowspan="3">容量を抑えた高音質での録音（楽器の練習や演奏、大事な会議等）</td></tr>
<tr><td>192</td></tr>
<tr><td>128</td></tr>
<tr><td>64</td><td rowspan="2">音質より長時間録音が目的の録音（32はモノラル録音です）</td></tr>
<tr><td>32</td></tr>
</table>

PCMは音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。音質を優先するか、録音時間を優先するかを考え、目的に合った録音モードをお選びください。

録音モードと録音可能時間

録音可能時間とは、micro SD カードに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダの最大合計時間です。

録音可能時間

録音モード	microSDカードのサイズ			
	512 MB	1 GB	2 GB	4 GB
PCM 48kHz	約40分	約1時間20分	約2時間50分	約5時間40分
PCM 44.1kHz	約45分	約1時間30分	約3時間5分	約6時間15分
MP3 320kbps	約3時間30分	約7時間00分	約13時間50分	約27時間50分
MP3 192kbps	約5時間50分	約11時間50分	約23時間10分	約46時間30分
MP3 128kbps	約8時間50分	約17時間50分	約34時間50分	約69時間50分
MP3 64kbps	約17時間40分	約35時間40分	約69時間50分	約139時間40分
MP3 32kbps	約35時間30分	約71時間20分	約139時間40分	約279時間30分

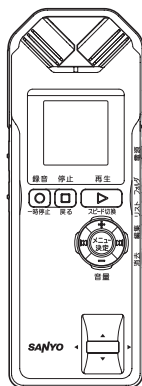
表記の録音時間は目安です。カードのメーカー、仕様により変わることがあります。録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。

※ 1 ファイルあたりの最長録音時間（連続録音時間）は 2GB までです。microSD カードの録音可能時間が余っていても、下表の時間まで録音されると、録音は停止します。

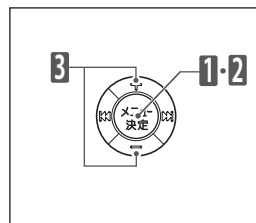
例：録音モードが PCM 48kHz で 4 GB の microSD カードに録音した場合、約 3 時間 5 分で録音が停止します。

録音モード	1ファイルあたりの最長録音時間（電池使用時）（連続録音時間）
PCM 48kHz	約3時間5分
PCM 44.1kHz	約3時間20分
MP3 320kbps	約14時間20分
MP3 192kbps	約24時間50分
MP3 128kbps	電池切れになるまで
MP3 64kbps	電池切れになるまで
MP3 32kbps	電池切れになるまで

※ AC 動作モードで録音した場合の連続録音時間は 6 時間です。320kbps 以下の録音モードでは、microSD カードの録音可能時間が残っていても、1 ファイルあたり 6 時間録音すると録音は停止します。

録音モードを変更する

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しし､【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

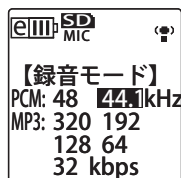
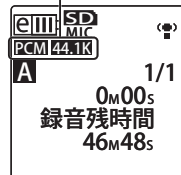
2 【録音モード】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

3 [音量+/−]を押して録音モード選ぶ

PCM	48kHz	高音質録音
	44.1kHz	↑
MP3	320kbps	
	192kbps	
	128kbps	標準音質
	64kbps	↓
	32kbps	長時間録音

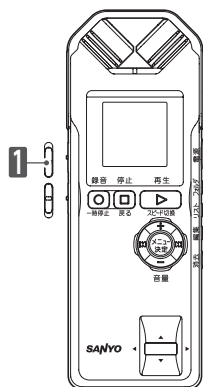
4 [メニュー /決定]を押す

3で選んだ録音モードに変更されます。

5 [停止/戻る]を2回押す

基本画面に戻ります。

選んだ録音モード

録音ピークリミッターを設定する

突然の過大入力を自動で調整し、音の歪みを抑えて録音することができます。
マイク ALC オフ時のみ設定可能です。

録音ピークリミッターの操作

1 マイクALC設定スイッチを「オフ」に切り換える

2 基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

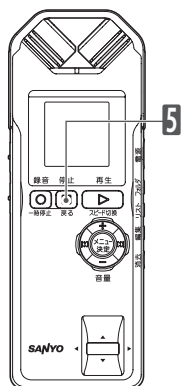
3 [音量+/−]を押して【録音ピークリミッター】を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [音量+/−]を押し、【ON】または【OFF】を選び、[メニュー /決定]を押す

【ON】

・録音ピークリミッターを設定します。

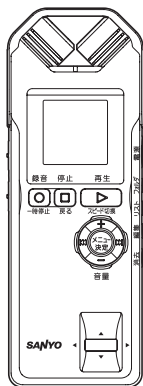
【OFF】

・録音ピークリミッターを解除します。

5 [停止/戻る]を２回押す

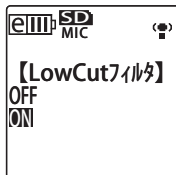
基本画面に戻ります。

Low Cut（ローカット）フィルタ

本機は、録音時に高周波帯域をよく通し、音声をよりクリアに録音できる Low Cut（ローカット）フィルタ機能を搭載しています。周囲の話し声、プロジェクターの作動音、エアコンの作動音、風切音などのノイズを低減できます。

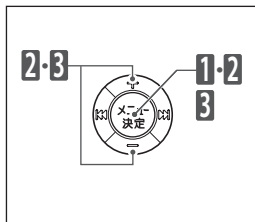
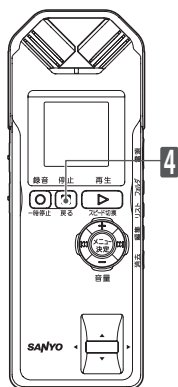
Low Cut フィルタの操作

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

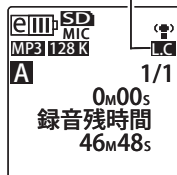
2 [音量 +/−]を押して【Low Cut フィルタ】を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量 +/−]を押し、【ON】または【OFF】を選び、[メニュー /決定]を押す

【ON】

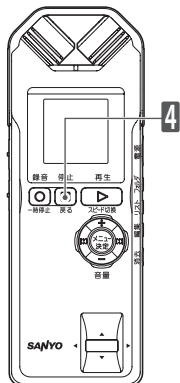
・Low Cut フィルタを設定します。

【OFF】

・Low Cut フィルタを解除します。

4 [停止/戻る]を２回押す

基本画面にL.Cが表示されます

ステレオワイド録音

録音時に、ステレオ感が強調された、より広がりのある録音ができます。

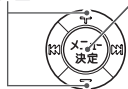
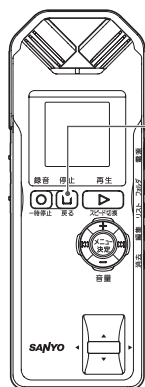
ステレオワイド録音の操作

1 **基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す**

2 **[音量＋/－]を押して【ステレオワイド】を選び、[メニュー /決定]を押す**

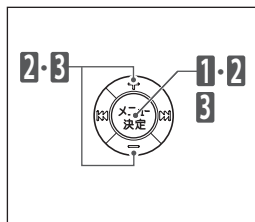
3 **[音量＋/－]を押し、【ON】または【OFF】を選び、[メニュー /決定]を押す**

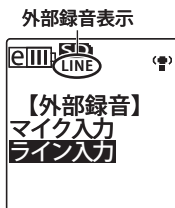
【ON】
ステレオワイドを設定します。
【OFF】
ステレオワイドを解除します。

4 **[停止/戻る]を2回押す**

基本画面に戻ります。

外部録音設定を切り換える

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

2 [音量＋/－]を押して【外部録音】を選び、[メニュー /決定]を押す

【外部録音】画面が表示されます。

3 [音量＋/－]を押して【ライン入力】または【マイク入力】を選び、[メニュー /決定]を押す

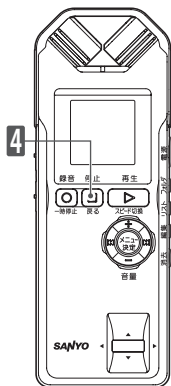
ここでは【ライン入力】を選びます。
外部録音表示が【LINE】に変わります。

【マイク入力】：
外部接続端子に別売のステレオマイクを接続して録音するときの設定です。
☞外部マイクについて（59 ページ）
【ライン入力】：
外部接続端子へコンポやラジカセ、CD・MD プレーヤーなど外部機器を接続して、音楽などを録音するときの設定です。
☞外部機器から録音する（76 ページ）

4 **[停止/戻る]を2回押す。**

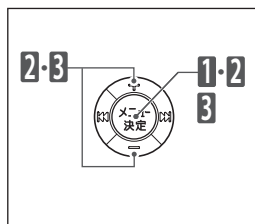
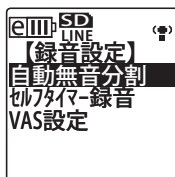
基本画面に戻ります。

自動無音分割を設定する

CD や MD プレーヤーなどからライン入力で音楽を録音するときに自動無音分割を設定すると、2 秒以上の無音部分を感知して、録音を一時停止し、1 曲目をファイル 1、2 曲目をファイル 2 というように自動的にファイルを分割して録音します。

自動無音分割を設定する

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

2 [音量＋/－]を押して【自動無音分割】を選び、[メニュー /決定]を押す

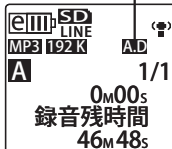
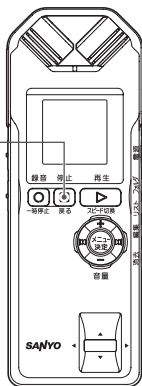
【自動無音分割】画面が表示されます。

3 [音量＋/－]を押して【ON】を選び、[メニュー /決定]を押す

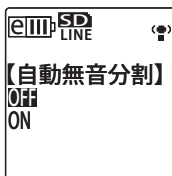
4 [停止/戻る]を2回押す
基本画面に戻り「自動無音分割」(A.D)が表示されます。

自動無音
分割表示

e SD LINE
MP3 192 K A.D
A 1/1
0M00S
録音残時間
46M48S

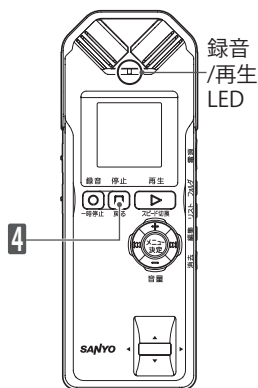
- ラジオやカセットテープ、またライブを収録したCDなど、約2秒間の無音時間が認識されないときは、自動で分割できません。ファイル分割で分割してください。
☞ファイルを分割する(97ページ)
- 約15秒以上無音を感知すると録音を自動的に停止します。

自動無音分割を解除する

1 89ページの手順**3**で【OFF】を選んで、[メニュー/決定]を押す

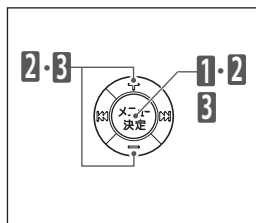
e SD LINE
【自動無音分割】
OFF
ON

2 [停止/戻る]を2回押す
基本画面に戻ります。

セルフタイマーで録音する

録音ボタンを押してから録音を開始するまでの時間をお好みで設定できます。楽器の練習等、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

セルフタイマー録音のしかた

1 基本画面で[メニュー/決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー/決定]を押す

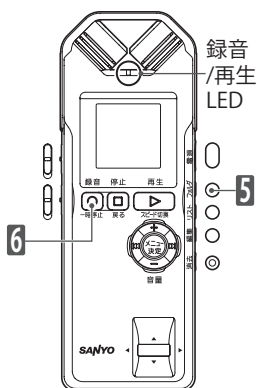
2 [音量+/−]を押して【セルフタイマー録音】を選び、[メニュー/決定]を押す

3 [音量+/−]を押してセルフタイマー時間を選択し、[メニュー/決定]を押す

4 [停止/戻る]を2回押す

基本画面に戻ります。

録音の設定を行う

5 [フォルダ/ABリピート]を押して録音先のフォルダを選択する

フォルダ名
MP3 320 K
A
1/1
0M00S
録音残時間
3H24M20S

6 [録音/一時停止]を押す

セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まります。（録音 / 再生 LED が点滅します）

- ALC スイッチがオフの場合は、「録音スタンバイモード」になります。録音レベルを調整した後、再度 [録音 / 一時停止] を押してください。セルフタイマー待機画面となり、設定時間のカウントダウンが始まります。

MP3 320 K
A
1/1
録音まで
あと 5 秒

3で設定した時間が経過すると、録音を開始します。

- 一度セルフタイマー録音を開始すると、自動的にセルフタイマー録音の設定が「OFF」になります。もう一度、セルフタイマー録音を行うには、再度1～3の手順で設定を行ってください。

カウントダウン中に［停止 / 戻る］を押すと、セルフタイマー録音をキャンセルできます。
キャンセルした場合は、もう一度［録音 / 一時停止］を押すとカウントダウンが始まります。

録音 / 再生 LED について

録音時または再生時、録音 / 再生 LED を点灯および点滅しないように設定することができます。点灯するように設定した場合、録音中は LED が赤色に点灯し、再生中は LED が緑色に点灯します。

録音 / 再生 LED の設定

1 **基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【共通設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す**

2 **[音量 +/−]を押して【録音/再生 LED】を選び、[メニュー /決定]を押す**

3 **[音量 +/−]を押し、【ON】または【OFF】を選び、[メニュー /決定]を押す**

【ON】：

録音 / 再生時、録音 / 再生 LED を点灯します。

【OFF】：

録音 / 再生時、録音 / 再生 LED を点灯しません。

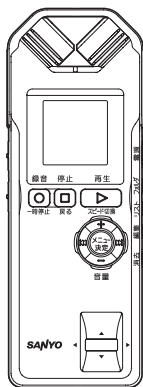
4 **[停止/戻る]を 2 回押す**

基本画面に戻ります。

音声を感知して自動録音する（VAS）

VAS を「ON」に設定すると、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。

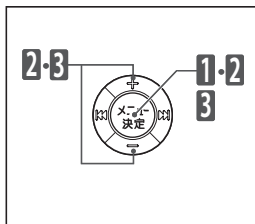
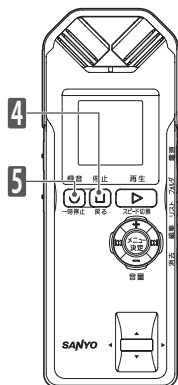
- マイク ALC を「オフ」に切り換えた場合、VAS 録音はできません。
- VAS 設定「ON」で録音中に、一時停止（録音待機）になっても、オートパワーオフ機能は働きません。
- 小さな音の場合は録音しないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を「OFF」に設定してください。

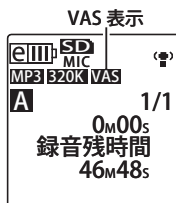
VAS 機能を利用して自動録音する

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しし、【録音設定】が選ばれていることを確認し、[メニュー /決定]を押す

2 [音量＋/－]を押して【VAS設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

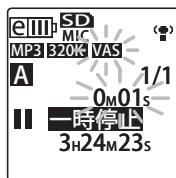
【VAS 設定】画面が表示されます。

3 [音量＋/－]を押して【ON】を選び、[メニュー /決定]を押す

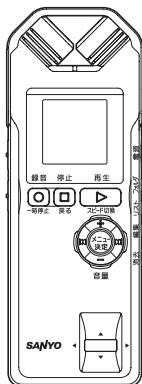
VASが設定されます。

4 [停止/戻る]を2回押す

基本画面にVASが表示されます。

5 [録音/一時停止]を押す
▷録音待機

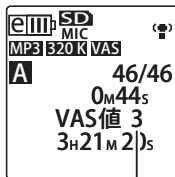
- 音声を感知すると自動的に録音が始まります。音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になります。
- 一時停止（録音待機）中は、経過時間とVASが点滅し、[一時停止]表示に切り換わります。
- [停止/戻る]を押すと録音停止状態になります。
- うまく音声を感知できない場合や、録音が一時停止（録音待機）しない場合は、音声感知レベル（VAS値）の調整をしてください。
  ☞音声感知レベル（VAS値）の設定（96ページ）

メモ

- VAS設定が「オン」に設定されている状態で録音を開始すると、約2秒間は無条件に録音されます。

音声感知レベル（VAS 値）の設定

音声感知レベル（VAS 値）を録音状況に応じて 5 段階（1 〜 5）に調節することができます。数字が大きくなるほど、音声感度は高くなり、小さな音でも録音が始まります。

1 VAS設定「ON」で録音中に[⏮][⏭]を押して音声感知レベルを調節します

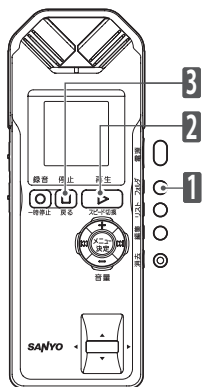
- 1 〜 5 段階に調節できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
- 数値が高くなるほど小さな音がしても録音が始まりますが、雑音の多い場所であれば録音が止まらなくなる場合があります。

メモ

- マイク感度を目的に応じて設定しておくとより効果的です。
（☞58 ページ）
- VAS 録音中に [一時停止 / 録音] を押すと、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフを「ON」に設定時には、約 15 分後に自動的に電源が切れます。）
- Low Cut フィルタを「ON」に設定すると、低域の音をカットするため、録音されない場合があります。そのような場合は、VAS 設定を「OFF」に設定してください。

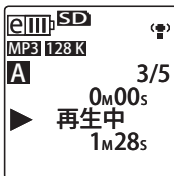
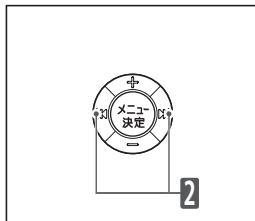
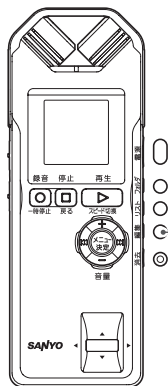
編集する

ファイルを分割する

１つのファイルを２つに分割することができます。本機で録音したVOICE（A～D）またはLINE（L）フォルダのファイルの、不要部分のカットや必要部分の抜き出しができます。
ファイル分割したファイルは、元に戻せません。分割する前に必ずパソコンにバックアップを取ってください。

ファイル分割のしかた

1 基本画面で[フォルダ/ABリピート]を押し、分割したいファイルのあるフォルダを選択する

フォルダ名

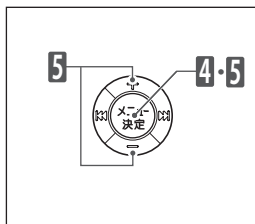
2 [|◀◀][▶▶|]を押して、分割したいファイル番号を選び[再生/スピード切換]を押す
▷再生開始

3 分割したい場所で[停止/戻る]を押す
▷再生停止

4 [編集/センテンス再生]を押し、【ファイル分割】が選ばれていることを確認し、[メニュー/決定]を押す

5 [|◀◀][▶▶|]を押して【実行】を選び、[メニュー/決定]を押す

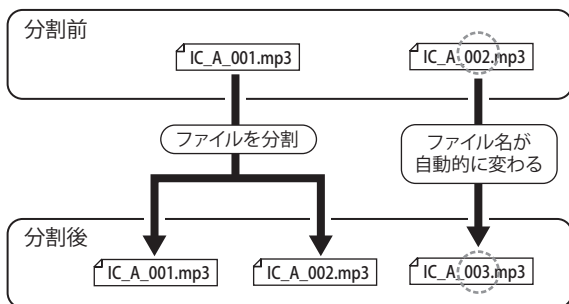
「ファイル分割実行中」→「ファイル分割 完了!」のメッセージが表示され、ファイル分割が完了します。

分割中は、録音 / 再生 LED（緑色）が点滅します。

［取消］を選ぶと、手順 4 に戻ります。

- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルの数が 1 つ増えます。

- ファイル分割可能なファイルは、本機で録音した MP3 ファイル・WAV ファイルです。MUSIC フォルダ内のファイルはファイル分割できません。
- 録音時間の短いファイルや MUSIC フォルダおよびごみ箱フォルダ内のファイルは、ファイル分割できません。（MUSIC フォルダおよびごみ箱フォルダを選択中は、このメニューは表示されません。）
- インデックスをつけたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。ファイルがたくさんある場合、分割に時間のかかる場合があります。

ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：IC_A_001.MP3 ファイルを分割する。

IC_A_001.MP3 のファイルを分割すると、IC_A_002.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル名のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルの名称が変更になります。
例えば、ファイル名 IC_A_001.MP3 を分割すると IC_A_001.MP3 と IC_A_002.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた IC_A_002.MP3 は IC_A_003.MP3 に名称が変更されます。

- 分割した部分が前後のファイルで重複します。
  重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

録音モード		重複する時間	ファイル録音時間
MP3	32kbps	約 8 秒	約 16 秒以上
	64kbps	約 4 秒	約 8 秒以上
	128kbps	約 2 秒	約 4 秒以上
	192kbps	約 1 秒以下	約 2 秒以上
	320kbps		
PCM	44.1kbps		
	48kbps		

- ファイル分割するには microSD カードの空き容量が必要です。

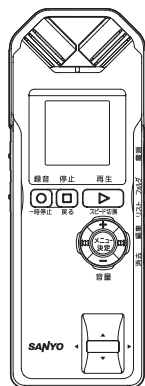
ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。

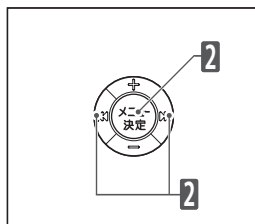
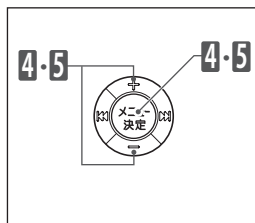
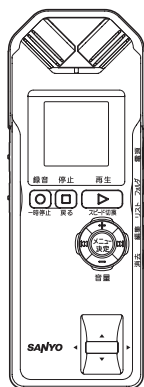
編集する

フェードイン / フェードアウト

本機は、フェードイン、フェードアウト機能を搭載しています。**本機でPCM録音したWAVファイルにフェードイン / フェードアウト効果を追加することができます。**フェードインは、ファイルの先頭4秒間の音量を少しずつ上げていき、フェードインします。フェードアウトは、ファイルの最後4秒間の音量を少しずつ下げていき、フェードアウトします。

フェードイン / フェードアウト効果を追加したファイルは元に戻せません。効果を追加する前に、必ずパソコンにバックアップをとってください。

フェードインさせる

1 [フォルダ/ABリピート]を押してフェードインさせたいファイルのあるフォルダを選択する

2 [|◀◀][▶▶|]を押してフェードインさせたいファイル番号を選ぶ

3 [編集/センテンス再生]を押す

4 [音量＋/－]を押して【フェードイン】を選び、[メニュー /決定]を押す

5 [音量＋/－]を押して【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

「フェードイン実行中」と表示されます。

▷フェードイン完了！

フェードイン完了後、以下の表示に切り換わります。

【試聴】：

作成したファイルの冒頭部分を最長約10 秒間試聴できます。

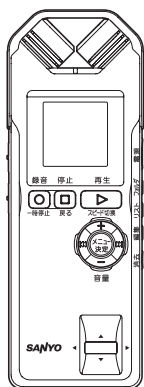
【上書保存】：

フェードイン機能を確定します。確定後はフェードイン前の状態に戻すことはできません。

【取消】：

フェードイン機能を取消します。

- 本機で PCM 録音したファイル以外を選択していた場合、「このファイルはフェードインできません」と表示されます。

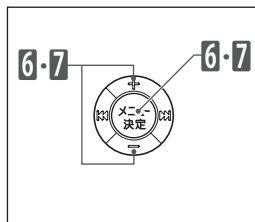
【フェードイン】
取消
実行

フェードイン完了！
試聴
上書保存
取消

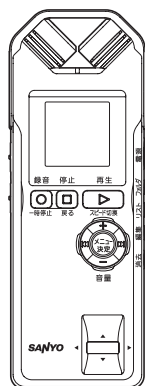
6 ［音量＋/－］を押して【試聴】を選択し、［メニュー /決定］を押す

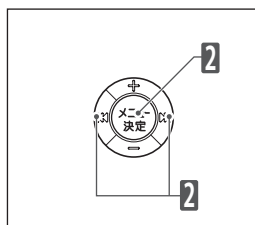
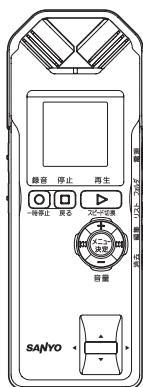
フェードイン効果のついたファイルが再生されます。

7 試聴した内容でOKであれば、［音量＋/－］を押して【上書保存】を選択し、［メニュー /決定］を押す

フェードイン効果のついたファイルが元のファイルに上書き更新されます。

・ 試聴した後、ファイルを上書き保存しない場合は、［音量＋ / －］を押して【取消】を選択し、［メニュー / 決定］を押してください。

- フェードイン機能は、本機で PCM 録音した WAV ファイルのみ使用できます。
- ４秒以下のファイルにはフェードイン機能は使えません。
- microSD カードに空き容量がないとフェードインできません。

フェードアウトさせる

1 [フォルダ/ABリピート]を押してフェードアウトさせたいファイルのあるフォルダを選択する

2 [|◀◀][▶▶|]を押してフェードアウトさせたいファイル番号を選ぶ

3 [編集/センテンス再生]を押す

4 [音量＋/－]を押して【フェードアウト】を選び、[メニュー /決定]を押す

【ﾌｧｲﾙ編集】
ファイル分割
フェードイン
フェードアウト

5 [音量＋/－]を押して【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

「フェードアウト実行中」と表示されます。

【 ﾌｪｰﾄﾞ ｱｳﾄ 】
取消
実行

▷フェードアウト完了！

フェードアウト完了後、以下の表示に切り換わります。

フェードアウト完了！
試聴
上書保存
取消

【試聴】：

作成したファイルの末尾部分を最長約10 秒間試聴できます。

【上書保存】：

フェードアウト機能を確定します。確定後はフェードアウト前の状態に戻すことはできません。

【取消】：

フェードアウト機能を取消します。

- 本機で PCM 録音したファイル以外を選択していた場合、「このファイルはフェードアウトできません」と表示されます。

6 ［音量＋/ー］を押して【試聴】を選択し、［メニュー /決定］を押す

フェードアウト効果のついたファイルが再生されます。

7 試聴した内容でOKであれば、［音量＋/ー］を押して【上書保存】を選択し、［メニュー /決定］を押す

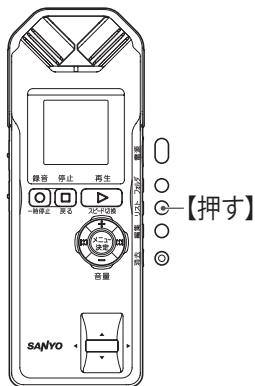
フェードアウト効果のついたファイルが元のファイルに上書き更新されます。

- 試聴した後、ファイルを上書き保存しない場合は、［音量＋ / ー］を押して【取消】を選択し、［メニュー / 決定］を押してください。

- フェードアウト機能は、本機で PCM 録音した WAV ファイルのみ使用できます。
- ４秒以下のファイルにはフェードアウト機能は使えません。
- microSD カードに空き容量がないとフェードアウトできません。

インデックスを付ける / 消去する

インデックスをつけると早送り、早戻し及び再生時に頭出し操作ができます。
聞きたい位置を素早く探すことができます。
インデックスは録音中または再生中につけることができます。

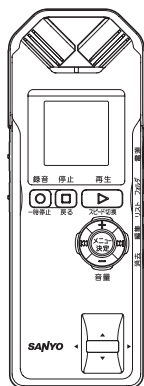
インデックスを付ける

録音中または再生中、インデックスを付けたい位置で[リスト/インデックス]を押す

" インデックス記録中 " と表示され、その箇所にインデックスが付きます。

MIC
A
16/36
インデックス
記録中
1/36

メモ

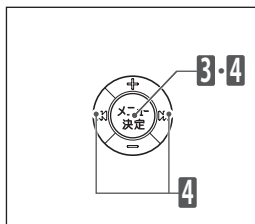
- インデックスを付けた後も、録音または再生は続きますので、同様の操作で、別の箇所にインデックスを付けることができます。
- インデックスは 1 ファイルに最大 36 ヶ所つけることができます。36 ヶ所を超えると " インデックスが一杯です " と表示され、記録されません。
- インデックスをつけたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。
- インデックスをつけることができるのは、VOICE (A ～ D) フォルダのファイルのみです。

インデックスを消去する

1 基本画面で[フォルダ/ABリピート]を押してインデックスを消去したいファイルのあるフォルダを選ぶ

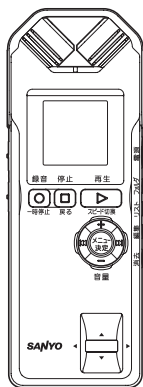
フォルダ名
SD MIC
MP3 320 K
A 1/1
0M00S
録音残時間
3H24M20S

2 [消去]を押す

【消去メニュー】画面になります。

SD MIC
【消去ﾒﾆｭｰ】
ファイル
フォルダ
インデックス

3 [音量+/−]を押して「インデックス」を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [⏮][⏭]を押して、インデックスを消去するファイルを選び、[メニュー /決定]を押す

選択したファイル番号が点滅します

5 [音量＋/－]を押して、【実行】を選択し、[メニュー /決定]を押す

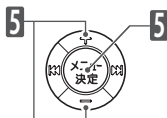
"消去実行中" の表示後、インデックスが消去されます。

- 消去を中止するときは [停止 / 戻る] を数回押します。

B 3/5
【ｲﾝﾃﾞｯｸｽ消去】
取消
実行

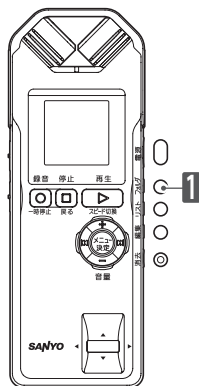
メモ

- インデックスを消去しても音声は消去されません。
- ファイル内の個別のインデックス消去はできません。ファイル内のインデックス全てを消去します。
- インデックス付きのファイルを消去すると、ごみ箱機能が「オン」の場合でもインデックスは消去されてしまうため、元のフォルダに戻したとき、そのファイルのインデックス情報はなくなります。

☞ごみ箱機能について（135 ページ）

再生する

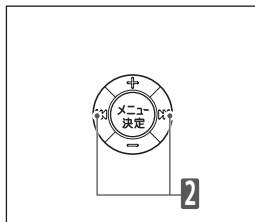
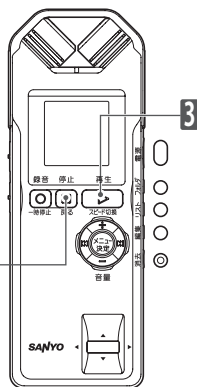
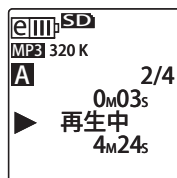
ファイルを再生する

本機では、MP3、WMA および本機で録音した WAV 形式のファイルを再生できます。本機で録音したファイルを再生する場合は VOICE（A ～ D）および LINE（L）フォルダを選択し、パソコンから取り込んだファイルを再生する場合はMUSIC（M）フォルダを選択してください。

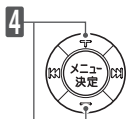
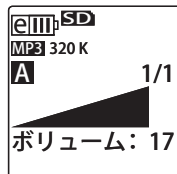
- MUSIC（M）フォルダのファイルを再生する場合は、MP3、WMA および本機で録音した WAV 形式のファイルを事前にパソコンから転送しておく必要があります。

1 **基本画面で[フォルダ/ABリピート]を押して再生するファイルのあるフォルダを選ぶ**

押すごとにフォルダ名が切り換ります。

フォルダ名
SD
MIC
MP3 320 K
A
1/4
0M00S
録音残時間
3H24M20S

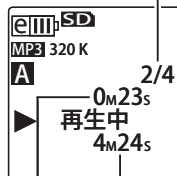
2 **[|◀◀][▶▶|]を押して再生したいファイル番号を選ぶ**

3 [再生/スピード切換]を押す ▷再生開始

4 [音量+/−]を押して聞きやすい音量に調整する

音量は 21 段階（0 〜 20）で表示されます。

5 [停止/戻る]を押して再生を停止する

再生を停止します。

- もう一度 [再生 / スピード切換] を押すと、停止した位置から再生を開始します。（再生レジューム機能）

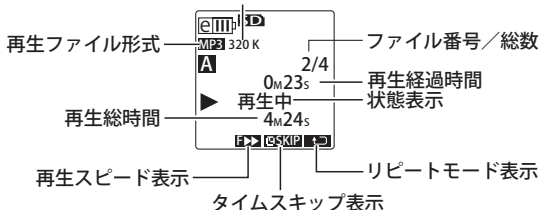
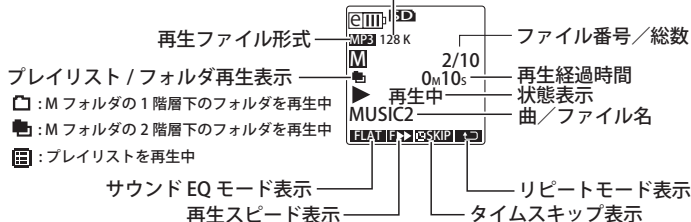
メモ

リスト表示画面から各フォルダのファイルを再生できます。目的のフォルダやファイルが見つけやすくて便利です。

☞リスト表示画面の操作（49 ページ）

ポインティング機能が「ON」のとき、指紋センサーに触れると誤動作する場合がありますので、ご注意ください。☞指紋センサーをポインティングデバイスとして使う（175 ページ）

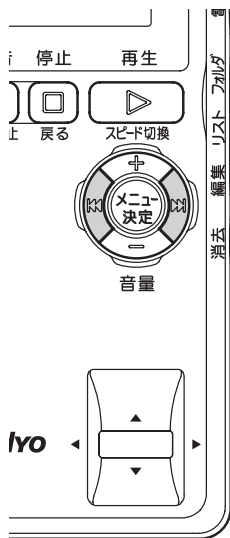
再生中の画面表示

再生中の液晶画面の表示は、再生するフォルダにより異なります。
すべての画面を一度に表示することはできません。

● VOICE（A ～ D）フォルダ、LINE（L）フォルダ

● MUSIC（M）フォルダ

- ファイルによっては、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。
- ファイルによっては登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。

メモ

再生中、長い曲ファイル名はスクロール表示します。

データやファイルを早送り / 早戻しするには

■早送り / 早戻しするには

再生中、［▶▶|］を押し続けると早送りします。［|◀◀］を押し続けると早戻しします。
ボタンを離すとその位置から再生を開始します。

■ファイルの頭出し（ファイル送り / ファイル戻し）をするには

再生中または停止中に［▶▶|］をポンと 1 回押すごとにファイル送りします。
［|◀◀］をポンと 1 回押すごとにファイル戻しします。

■インデックス送り / インデックス戻しするには

インデックスを付けたファイルの再生中に［▶▶|］をポンと 1 回押すごとに次のインデックスに送ります。［|◀◀］をポンと 1 回押すごとに前のインデックスに戻ります。
☞インデックスを付ける / 消去する（106 ページ）

■タイムスキップ（送り / 戻し）するには

タイムスキップ機能を設定した状態で、再生中に［|◀◀］または［▶▶|］をポンと 1 回押すごとに、設定された時間の間隔だけタイムスキップします。
☞タイムスキップ機能を使う（119 ページ）

メモ

・フォルダをまたがっての「早送り / 早戻し」はできません。
・設定したタイムスキップより近い位置に、ファイルの頭出し位置やインデックスマークがある場合は、その位置にタイムスキップします。
・タイムスキップ設定中に、ファイル送り / 戻しするには、一度ファイルの再生を停止してから［|◀◀］または［▶▶|］をポンと一回押します。

ステレオヘッドホン（付属）を使用する

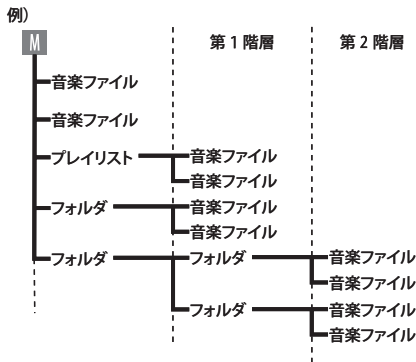
高音質な音楽を「サウンド EQ」（☞ 130 ページ）と併せてお楽しみいただけます。
また、周囲に音を出したくないときや、スピーカーからの再生音が聞き取りにくいときに使用します。

メモ

- ステレオヘッドホンはヘッドホン端子に差し込んでください。ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。
- 「サウンド EQ」はヘッドホンでの再生時のみ有効となります。
- ステレオヘッドホンの抜き差しは停止状態で行ってください。

MUSIC フォルダの再生について

MUSIC（M）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。MUSIC（M）フォルダの中にお好みのフォルダを作成し、その中にファイルを転送して再生することもできます。

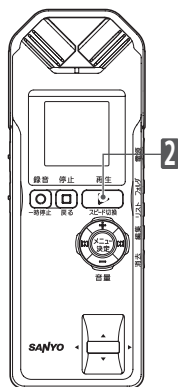
- 再生できるのは MUSIC フォルダの下位 2 階層までとなります。

■基本画面でのフォルダ切り換えについて

- 下位の階層へ進むときは、フォルダやプレイリストを選択した状態で停止中に [メニュー / 決定] を押してください。
- 上位の階層へ戻るときは、停止中に [フォルダ /AB リピート] を押してください。
- 3 階層以上は表示されません。

メモ

- **複数のフォルダ階層がある状態で、再生するファイルを探すときは、リスト表示画面を利用すると便利です。**
  ☞リスト表示画面の操作（49 ページ）

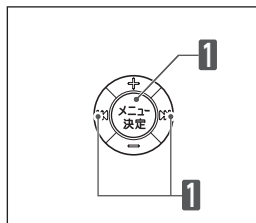
プレイリストを再生する

プレイリストの作成については☞ 241 ページ

1 **[|◀◀][▶▶|]を押して再生したいプレイリストを選び、[メニュー /決定] を押す**

プレイリスト内の 1 曲目が表示されます。

2 **[再生/スピード切換]を押す。**

プレイリストの曲順で再生します。

- プレイリスト再生中はディスプレイに☰が表示されます。
- 通常再生に戻すには、停止中に [フォルダ /AB リピート] を押してください。

プレイリストの内容（ドライブ名、フォルダ名、ファイル名など）に誤りがあったり、入力したファイルがM (MUSIC) フォルダ内にない場合は、時間表示が "-M--S" となり、再生できません。

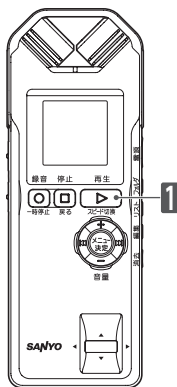
メモ

- 再生中、長い曲ファイル名はスクロール表示します。
- ファイルをリピート（1 曲、フォルダ内全体、フォルダ内ランダム）再生することができます。
  （☞ 127 ページ）
- 容量の大きいファイルやフォルダ内のファイル数が多い場合は、動作が遅くなることがあります。
- サウンド EQ 機能を使ってお好みの音質を選んだり低音を強調したりすることができます。
  （☞ 130 ページ）

再生中の機能と設定

再生スピードを切り換える

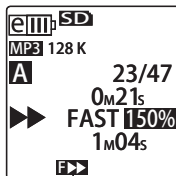
再生スピードを遅くしたり、早くしたりすることができます。語学学習や楽器演奏での聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は早くと必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができて便利です。音声はデジタルで自動調節され、音程が変わることなく聞くことができます。再生スピードの設定は、［再生 / スピード切換］を押して、あらかじめ設定された間隔でスピードを切り換える方法と、指紋センサーを使って細かく設定する方法の 2 つの方法があります。

［再生 / スピード切換］を押して切り換える

1 再生中に[再生/スピード切換]を押す

押すごとに再生スピードが「NORMAL」⇒「SLOW」⇒「FAST」⇒「NORMAL」の順に切り換わり、画面にアイコン表示されます。

再生スピードは、ファイル形式によって以下のように切り換わります。

	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S ▶	F ▶▶
MP3	100%	70%	150%
WMA	100%	70%	120%

- 変更した再生スピードは、再生を停止してもそのまま保持され、次回以降の再生でも変更したスピードで再生されます。**ただし、電源を切ると通常（NORMAL）のスピードに戻ります。**

再生スピード表示（FAST）

- 再生スピードを切り換えることができるのは、MP3とWMA形式のファイルのみです。**WAVファイルは再生スピードを切り換えることはできません。**
- ファイルによっては、再生スピードを切り換えると正常に再生されない場合があります。

指紋センサーを使って切り換える

さらに細かい間隔で再生スピードを切り換えるには

指紋センサーを使うことによって、[再生 / スピード切換] を押して再生スピードを切り換えるよりも細かい間隔で再生スピードを切り換えることができます。

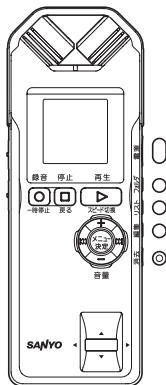
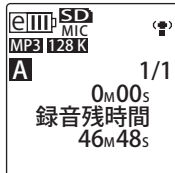
「SLOW」再生は5%ごとに、「FAST」再生は10%ごとに段階的に再生スピードを切り換えることができます。

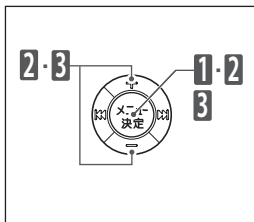
	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S ▶	F ▶▶
MP3	100%	50%から95%まで　5%ごと	110%から200%まで　10%ごと
WMA	100%	50%から95%まで　5%ごと	110%から120%まで　10%ごと

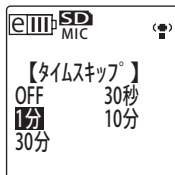
☞指紋センサーをポインティングデバイスとしてつかう（175ページ）

タイムスキップ機能を使う

再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップして再生することができます。
同じ箇所を繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりする時に便利です。

タイムスキップの間隔を設定する

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して【再生設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

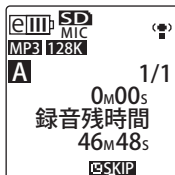
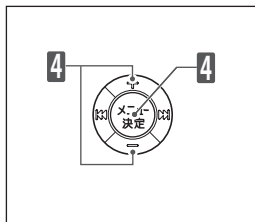
3 [音量+/−]を押して[タイムスキップ]を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [音量+/−]を押してタイムスキップする時間を選び、[メニュー /決定]を押す

【タイムスキップ】
OFF　30秒
1分　10分
30分

5 [停止/戻る]を2回押す

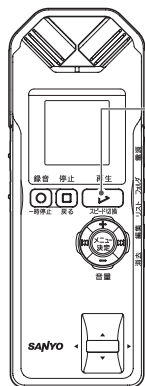
基本画面に戻り「SKIP」が表示されます。

☞タイムスキップ（送り / 戻し）するには（112 ページ）

タイムスキップ表示

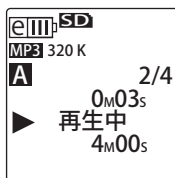
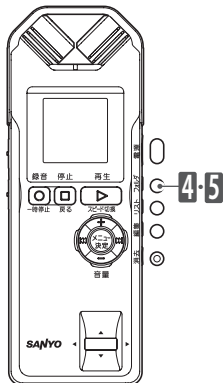
メモ

再生中にもタイムスキップ設定できます。再生中に［メニュー / 決定］を長押しするとメニュー画面を開いてメニュー設定できます。

A-B リピート（部分リピート）再生のしかた

再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

1 **基本画面にて[フォルダ/ABリピート]を押して再生をするファイルのあるフォルダを選ぶ**

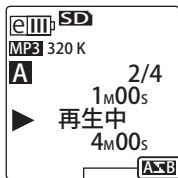
押すごとにフォルダが変わります。

2 **[|◀◀][▶▶|]を押して再生したいファイル番号を選ぶ**

3 **[再生/スピード切替]を押し、再生する**

4 A-Bリピート再生する開始位置(A点)で[フォルダ/ABリピート]を押す

開始位置表示が点灯します

5 A-Bリピート再生の終了位置(B点)で再度[フォルダ/ABリピート]を押す

終了位置が決まり、A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。

A-B リピートは、A-B リピート再生中に次の操作を行うと解除されます。

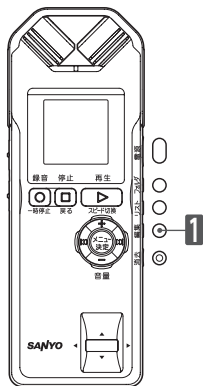
- もう一度［フォルダ /AB リピート］を押した場合
- [停止 / 戻る] を押した場合
- [⏮][⏭] を押した場合

メモ

A-B リピート再生中にも、再生スピードの変更（☞ 117 ページ）をしたり、インデックス（☞ 106 ページ）をつけたり、センテンス再生（☞ 123 ページ）を行ったりすることができます。

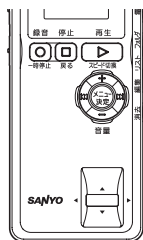
- A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
- A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。

センテンス再生を行う

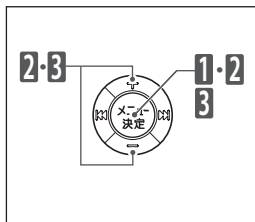
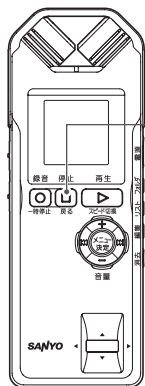
再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

1 再生中に[編集/センテンス再生]を押す

あらかじめ設定した秒数の位置に戻って再生します。

- もう一度戻して聞きたい場合は、再度 [編集 / センテンス再生] を押します。（工場出荷時の設定は 5 秒）
- A-B リピートを行っている場合は A-B リピート設定区間内でセンテンス再生を行います。
- 戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの最初から再生を行います。
- 最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで（1 つ前のファイルに）戻ることはありません。

センテンス再生の時間を変更する

1 基本画面より[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して【再生設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量+/−]を押して【センテンス再生】を選び、[メニュー /決定]を押す

4 ［音量＋/－］を押して、【5 秒】、【10秒】、【15秒】の中より戻して再生したい秒数を選び、[メニュー /決定]を押す

【5 秒】、【10 秒】、【15 秒】それぞれ設定した秒数戻って再生を行います。

MIC

【センテンス再生】

5秒

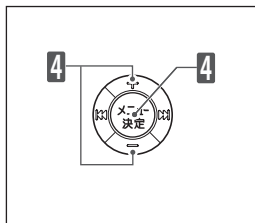
10秒

15秒

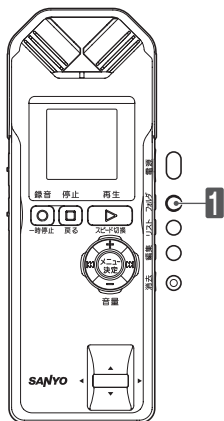
5 ［停止/戻る］を2回押す

基本画面に戻ります。

メモ

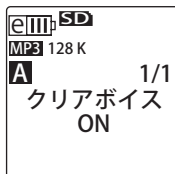
再生中にもセンテンス再生を設定できます。再生中に［メニュー / 決定］を長押しするとメニュー画面を開いてメニュー設定できます。

クリアボイス再生

再生時に雑音やノイズがある場合、クリアボイス機能を使うことで、音声が聞きやすくなります。

- クリアボイスは音声録音用フォルダ VOICE（A ～ D）内のファイルにのみ有効です。LINE（L）、MUSIC（M）およびごみ箱（🗑）フォルダ内のファイルには設定できません

1 再生中に[フォルダ/ABリピート]を長押しする。

クリアボイス機能が働きます。

再度 [フォルダ /AB リピート] を長押しすると再生クリアボイス再生は解除されます。

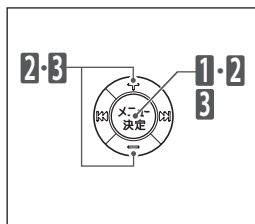
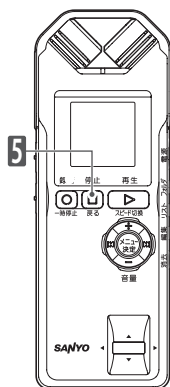
- 再生を停止すると、クリアボイスは解除されます。
- PCM48、PCM44.1、MP3：320、MP3：192、MP3：128 モードで録音した音声の再生時に使うと、より効果的です。
- 録音状況によっては、雑音が軽減しない場合があります。

リピートモードを切り換える

リピートモードを設定する

ファイルをリピート再生（繰り返し再生）することができます。1ファイルを何度も繰り返したり、フォルダ内のファイルを順に再生したり、もしくはランダムに再生したりと、いろいろなリピート再生が選べます。

1 基本画面で[メニュー/決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して【再生設定】を選び、[メニュー/決定]を押す

3 [音量+/−]を押して[リピート設定]を選び、[メニュー/決定]を押す

4 [音量+/−]を押してリピート機能を選び、[メニュー/決定]を押す。

【リピート設定】
OFF
ONE
ALL
RANDOM

【OFF】:

リピート機能を使いません。

【ONE】:

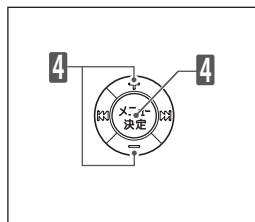
選択中の 1 曲を繰り返し再生します。

【ALL】:

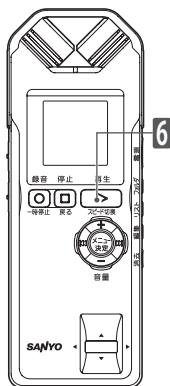
フォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）

【RANDOM】:

フォルダ内のすべての曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）

1⮌	ONE
⮌	ALL
RND	RANDOM

5 [停止/戻る]を2回押す

基本画面に戻り「リピートモード」が表示されます

リピートモード表示

6 ［再生/スピード切換］を押す

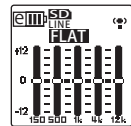
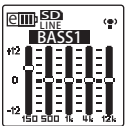
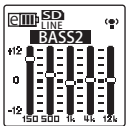
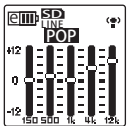
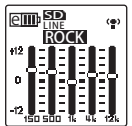
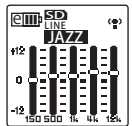
設定されているリピートモードで再生されます。

- リピート再生を中止するときは、リピートモードの設定で「OFF」を選択してください。

メモ

再生中にもリピート設定できます。再生中に［メニュー / 決定］を長押しするとメニュー画面を開いてメニュー設定できます。

サウンドEQをつかう（MUSIC（M）、LINE（L）フォルダのみ）

サウンドEQを設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。

- サウンドEQはステレオヘッドホンでの再生時のみ有効となります。
- MUSIC（M）、LINE（L）フォルダのみ有効となります。

お好みのサウンドEQモードを選択する

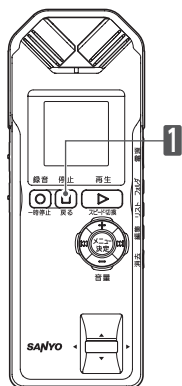
■プリセットサウンドEQモードについて

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「BASS1」、「BASS2」、「POP」、「ROCK」、「JAZZ」の6種類のサウンドEQモードと、5バンドのサウンドレベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。
プリセットサウンドの特徴は、以下のとおりです。

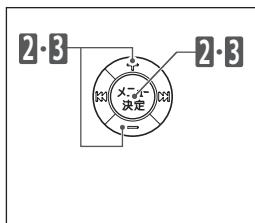
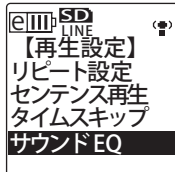
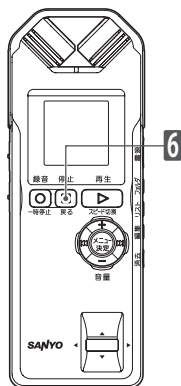
FLAT	BASS1	BASS2	POP	ROCK	JAZZ
「サウンドEQ」機能を使わず、原音のまま再生します。	低音域をやや強調します。	低音域をより強調します。	高音域をより強調します。	低音域と高音域をやや強調します。	中音域を強調します。

- 「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。
- プリセットされている6種類のサウンドEQモードは、設定内容の変更（調整）はできません。細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

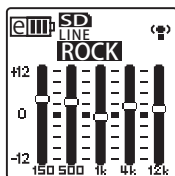
☞サウンドEQをお好みの音質に設定する（133ページ）

■選択のしかた

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して[再生設定]を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量+/−]を押して[サウンドEQ]を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [|◀◀] [▶▶|] を押してお好みのサウンドEQモードを選択します

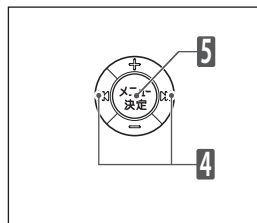
6 つのプリセットサウンド EQ モードと、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。

- 「USER」を選択した場合は、「サウンド EQ をお好みの音質に設定する」（☞ 133 ページ）を参照の上、設定してください。

5 [メニュー /決定]を押す

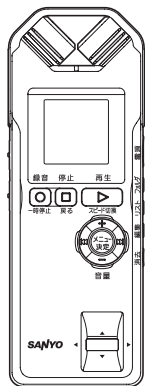
選択したサウンド EQ モードに設定されます。

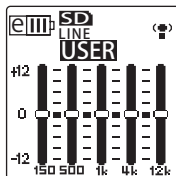
6 [停止/戻る]を2回押す

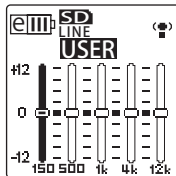
基本画面に戻ります。

メモ

- 再生中にもサウンド EQ の設定ができます。再生中に［メニュー / 決定］を長押しするとメニュー画面を開いてメニュー設定できます。
- VOICE（A ～ D）、およびごみ箱（🗑）フォルダのファイル再生中は設定できません。

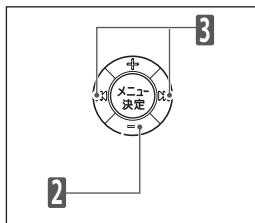
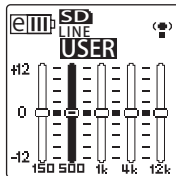
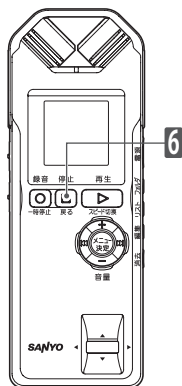
サウンド EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

サウンド EQ で「USER」を選択している場合、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 サウンドEQ設定で「USER」を選択する。

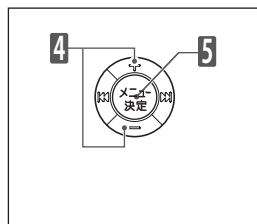
☞お好みのサウンド EQ モードを選択する（130 ページ）

2 [音量－]を押す。

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 [|◀◀][▶▶|]を押して、変更したい周波数帯を選ぶ。

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

・「150Hz」、「500Hz」、「1kHz」、「4kHz」、「12kHz」の周波数帯の調整ができます。

4 [音量+/−]を押して、選択した周波数帯のレベルを調整する。

− 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。

- ［音量＋］を押すとレベルが大きくなります。
- ［音量−］を押すとレベルが小さくなります。
- 他の周波数を変更する場合は手順3と手順4の操作を繰り返してください。
- 途中で設定を中止するときは、［停止 / 戻る］を押してください。手順1の画面に戻ります。

5 [メニュー /決定]を押す。

「USER」の設定を完了し、「再生設定」画面に戻ります。

- サウンド EQ の「USER」設定は本機の電源を切ったり、電池交換を行っても保存されます。

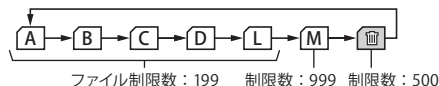
6 [停止/戻る]を2回押す

基本画面に戻ります。

消去する

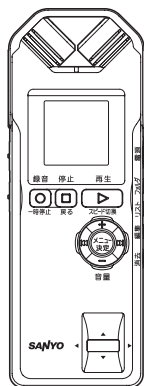
ごみ箱機能について

ごみ箱機能がオンの時、本機で消去したファイルは、ごみ箱（🗑）フォルダに移動されます。ごみ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。
ファイル、フォルダの消去を行なうと、データは消去されて元に戻すことができないので、誤消去防止のために、ごみ箱機能をオンにすることをおすすめします。

- ごみ箱（🗑）フォルダの最大ファイル数は 500 ファイルです。501 以上のファイルは移動できません。移動する場合はごみ箱（🗑）フォルダ内のファイルを元のフォルダ内に戻す（☞ 140 ページ）かごみ箱フォルダを空にしてください。（☞ 142 ページ）

- **ごみ箱（🗑）フォルダに移動するのは、VOICE（A ～ D）および LINE（L）フォルダのファイルです。**
- **M フォルダのファイルは、ごみ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ごみ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。**
- ごみ箱（🗑）フォルダにファイルが多くたまると、動作の低下をまねくおそれがあります。定期的にごみ箱を " 空 " にすることをおすすめします。
- ごみ箱機能が「ON」のときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。
- ごみ箱（🗑）フォルダにファイルを移動すると元のフォルダに作成されたインデックスは自動的に消去されます。
- フォーマットした場合は、ファイルはごみ箱（🗑）フォルダに移動しません。ごみ箱にあるファイルもすべて消去されます。

メモ

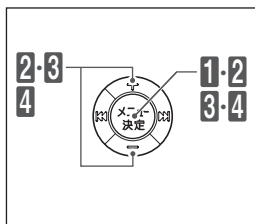
- ごみ箱（🗑）フォルダ選択時に [録音 / 一時停止] を押すと A フォルダへ移動して録音を開始します。また､外部録音が「ライン入力」に設定され､本機に外部機器が接続されている場合は､L フォルダへ移って録音を開始します。（外部機器が接続されていない場合は、 A フォルダに移動して録音を開始します。）
- ごみ箱機能を「OFF」にしても、ごみ箱（🗑）フォルダ内のファイルは消去されません。
- ごみ箱（🗑）フォルダは、リスト表示画面では「RECYCLE」と表示されます。

ごみ箱機能を設定する

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

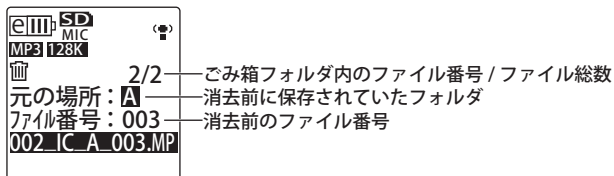
2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

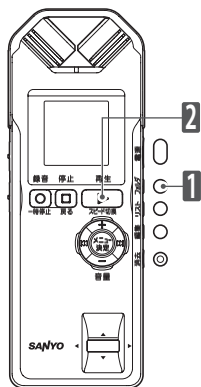
3 [音量+/−]を押して【ごみ箱機能】を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [音量+/−]を押して【ON】を選び、[メニュー /決定]を押す

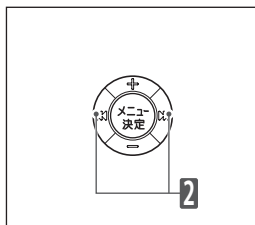
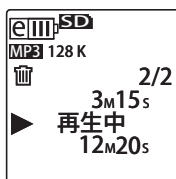
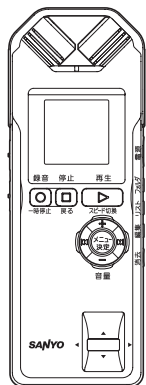
2·3 4
1·2 3·4
メニュー
決定

ごみ箱機能設定時のごみ箱フォルダの表示について

●ファイルがない時

●ファイルがある時

ごみ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます。(☞ 44 ページ)
ごみ箱フォルダ内のファイルは消去順に並んでいます。

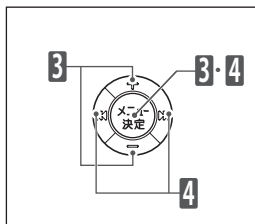
ごみ箱フォルダ内のファイルを再生する

1 基本画面にて[フォルダ/ABリピート]を押して、ごみ箱フォルダを選ぶ

2 [⏮][⏭]を押して、ファイルを選び、[再生/スピード切換]を押す

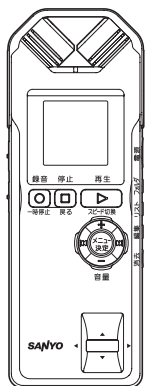
選択したファイルが再生されます。

ごみ箱フォルダ内のファイルを元に戻す

1 基本画面で[フォルダ/ABリピート]を押して、ごみ箱フォルダを選ぶ

ごみ箱フォルダ

SD MIC
P3 128K
2/2
元の場所：A
ファイル番号：003
002_IC_A_003.MP

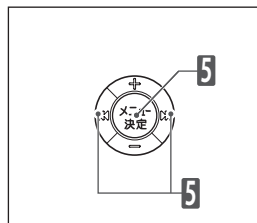
2 [消去]を押す

3 [音量＋/－]を使って、【一件戻す】を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [⏮][⏭]を押して、ファイルを選び、[メニュー /決定]を押す

- 選択したファイル番号が点滅します

5 [音量＋/－]を押して､【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

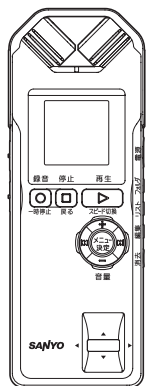
“ ごみ箱からファイルを戻しています ...” と表示された後、“ Aの末尾にファイルを戻しました ” と表示されます（消去前の元の場所が A フォルダの場合)。もう一度 [メニュー / 決定] を押してください。

SD
MIC
Aの末尾に
ファイルを
戻しました
OK

メモ

- **ごみ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダの最後尾に復元されます。**
  （ファイル名について☞ 44 ページ）
- 手順5で “ ＊が一杯です。ファイルを戻せません ” と表示された場合は元のフォルダのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。（＊はフォルダ名が入ります。）

ごみ箱内のファイルを空にする

1 基本画面で[フォルダ/ABリピート]を押して、ごみ箱フォルダを選ぶ

MP3 128K
2/2
元の場所：A
ファイル番号：003
002_IC_A_003.MP

2 [消去]を押す

3 [音量＋/－]を押して、【空にする】を選び[メニュー /決定]を押す

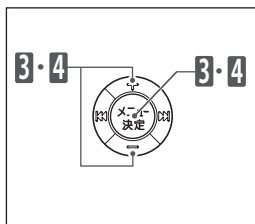
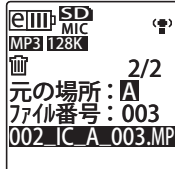
【ごみ箱】
一件戻す
空にする

> メモ
>
> ごみ箱を空にすると、ごみ箱内のファイルは完全にメモリから削除されます。元に戻すことはできませんので、空にする前に、必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。
> （☞ 205、259 ページ）

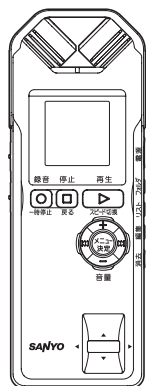
4 [音量＋/－]を押して、「実行」を選び、[メニュー /決定]を押す。

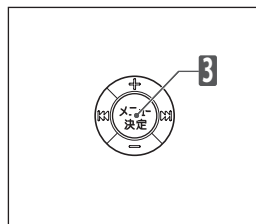
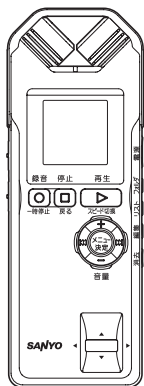
"ごみ箱を空にしています ..." と表示された後、"ごみ箱は空です " と表示されます。

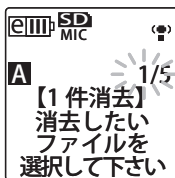
2/2
【空にする】
取消
実行

MP3 128K
0/0
ごみ箱は空です

1件消去する（ファイル消去）

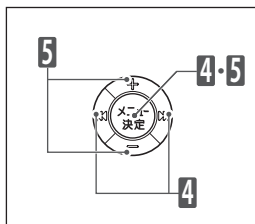
フォルダ内のファイルを1つ選んで消去する操作です。
ごみ箱機能がオフの場合（☞ 135、137ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。
消去前に必ずフォルダ内の録音内容を確認してください。（誤消去の防止）
操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1件消去（ファイル消去）のしかた

1 基本画面で[フォルダ/ABリピート]を押して消去するファイルのあるフォルダを選ぶ

2 [消去]を押す
「消去メニュー」画面になります。

3 【ファイル】が選ばれていることを確認し、[メニュー/決定]を押す。

4 [|◀◀][▶▶|]を押して消去するファイルを選び、[メニュー /決定]を押す

• 選択したファイル番号が点滅します

5 [音量+/−]を押して【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

" 消去実行中 " の表示後、 1 件消去を実行します。

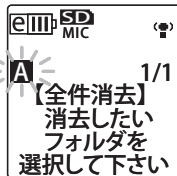
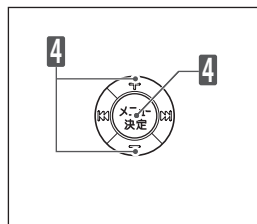
- 消去を実行しないときは【取消】を選択し、[メニュー / 決定] を押します。消去実行中は、取り消しはできません。
- ごみ箱設定「ON」時はファイルはごみ箱へ移動されます。" ゴミ箱に移しました " と表示されますので【OK】を選び [メニュー / 決定] を押してください。
- 手順5で " ごみ箱が一杯です。空にしてください " と表示された場合は、ごみ箱フォルダのファイルが一杯になっています。ごみ箱フォルダを空にした後で、ファイルを消去してください。

全件消去する (フォルダ消去)

フォルダ内の全ファイルを消去する操作です。
ごみ箱機能が「OFF」の場合（☞ 135、137 ページ)、一度消去した音声などは元に戻すことができません。
消去前に必ずフォルダ内の録音内容を確認してください。(誤消去の防止)
操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

全件消去 (フォルダ消去)）のしかた

1 基本画面で[消去]を押す。
「消去メニュー」画面になります。

2 [音量+/−]を押してフォルダを選び、[メニュー /決定]を押す

3 [|◀◀][▶▶|]を使って全件消去したいフォルダを選び、[メニュー /決定]を押す
選択したフォルダが点滅します。

4 [音量＋/－]を使って【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

" 消去実行中 " の表示後、全件消去を実行します。

- 消去を実行しないときは【取消】を選択し、[メニュー / 決定] を押します。消去実行中は、取り消しはできません。
- ごみ箱設定「ON」時はファイルはごみ箱へ移動されます。" ごみ箱に移しました " と表示されますので【OK】を選び [メニュー / 決定] を押してください。
- 手順4で " ごみ箱が一杯です。空にしてください " と表示された場合は、ごみ箱フォルダのファイルが一杯になっています。ごみ箱を空にした後で、ファイルを消去してください。

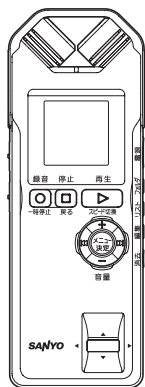
SD MIC
ごみ箱に
移しました
OK

メモ

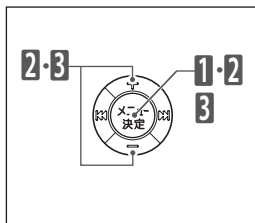
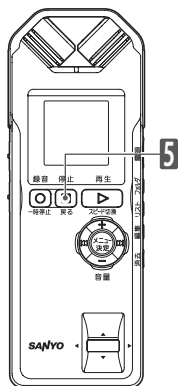
Mフォルダのサブフォルダは消去できません。パソコンに接続してパソコン上で消去してください。

mircoSD カードを消去する（フォーマット）

フォーマットを行うと、ごみ箱機能がオンの場合でも全てのファイルが完全に消去されます（mircoSD カード初期化）。
一度消去したファイルは元に戻すことができません。
消去前に必ず mircoSD カード内の録音内容を確認してください。（誤消去の防止）
全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。
（☞ 205、259 ページ）
全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

mircoSD カード内の全データを消去する（フォーマット）

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量+/−]を押して【フォーマット】を選び、[メニュー /決定]を押す

4 **[音量+/−]を押して【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す**

フォーマット実行中⇒フォーマット完了!と表示し、mircoSD カード内の全データを消去します。

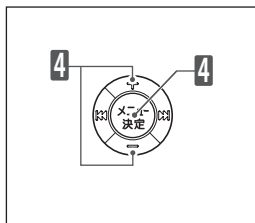
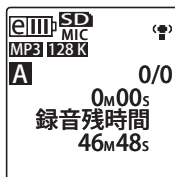
- 消去を実行しないときは【取消】を選択し、[メニュー / 決定] を押します。消去実行中は、取り消しはできません。

SD MIC
【フォーマット】
取消
実行

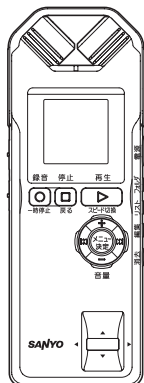
SD MIC
フォーマット
完了!

5 **[停止/戻る]を2回押す**

基本画面に戻ります。

SD MIC
MP3 128 K
A 0/0
0M00S
録音残時間
46M48S

タイマー機能を使う

タイマー予約録音する

あらかじめ設定した時間に録音を行う機能です。
操作前に電池の残量が充分にあることを確認し、カレンダー設定をし直してください。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量+/−]を押して【タイマー設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

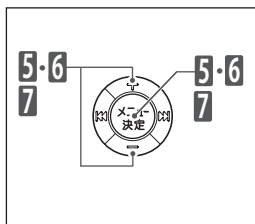
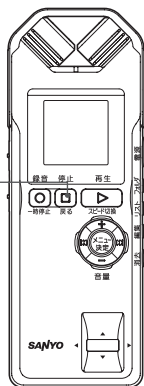
「タイマー設定」画面が表示されます。

4 [音量+/−]を押して【予約録音設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

「録音開始時刻」画面が表示されます。
「タイマー記号」が表示されます。

タイマー記号

SD
MIC
【タイマー設定】
取消
アラーム設定
予約録音設定

5 録音開始時刻を設定する

① [⏮][⏭] を押して、"時"、"分"を選択する。

② [音量＋ / －] を押して、数値を変更する。

③ [メニュー / 決定] を押して確定する。

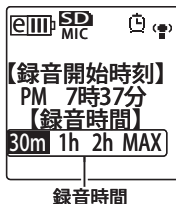
【録音開始時刻】
PM 7時37分
【録音時間】
30m 1h 2h MAX

6 [⏮][⏭]を押して【録音時間】を選び、[メニュー /決定]を押す

30m（30 分）、1h（1 時 間）、2h（2 時間）、MAX（録音残時間がなくなるまで）から選んでください。

「録音フォルダ」設定画面が表示されます。

【録音開始時刻】
PM 7時37分
【録音時間】
30m 1h 2h MAX

録音時間

7 [⏮][⏭]を押して録音するフォルダを選び、[メニュー /決定]を押す

LINE（L）、MUSIC（M）フォルダおよびごみ箱（🗑）フォルダは選択できません。（L、M、ごみ箱フォルダではタイマー予約録音できません。）

予約録音が設定されます。

【フォルダ指定】
A B C D

8 [停止/戻る]を２回押す

基本画面に戻ります。

MIC
MP3 128 K
A 1/1
0M00S
録音残時間
46M48S

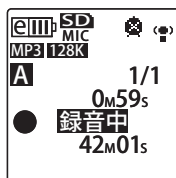
タイマー予約録音を解除するには

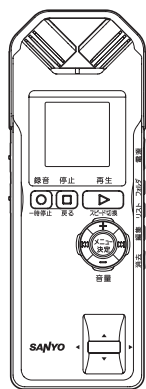
手順4で「取消」を選び、[メニュー / 決定] を押す

「タイマー記号」が消えます。

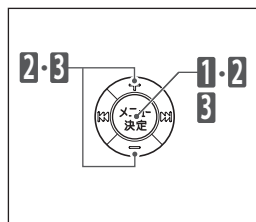
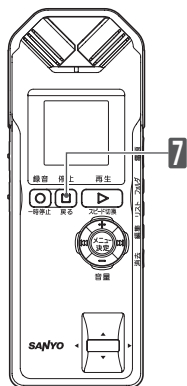
メモ

- 設定時刻になると自動的に録音が始まり、指定したフォルダ内に新しいファイルが作成されます。（予約録音中はが点滅します。）
- 設定時刻に電源が切れている場合、自動的に電源が入って録音を始めます。
- タイマー予約録音を行うには、カレンダー (日時）を設定しておく必要があります。（☞ 42 ページ）
- 設定操作中に設定をキャンセルするには [停止 / 戻る] を押します。
- タイマー予約録音中でも、[録音 / 一時停止] を押すと録音一時停止になります。また [停止 / 戻る] を押すと、タイマー予約録音は停止します。（電源を切った状態からタイマー予約録音が始まった場合、録音が完了すると、自動的に電源切になります。）
- タイマー録音設定し、録音待機中でも通常の録音が可能です。
- 設定時刻は、現在の時刻から 24 時間以内のみ設定できます。
- タイマー予約録音は一度実行すると、設定は解除されます。
- 右図のようにタイマー記号にが表示されると、以下のような理由等により録音されません。
  - 録音残時間がない
  - 指定したフォルダ内のファイルが 199 あるとき
  - 再生中
  - 録音中
  - メニュー設定中

- microSD カードがロックしている場合または、micro SD カードが挿入されていない場合、録音できません。（が表示されます。）
- タイマー録音中に電源オフにするとが表示されます。
- を消すには、タイマー予約録音を解除してください。
- アラーム設定とタイマー予約設定は、同時に設定できません。

指定時刻にアラーム音を鳴らす

あらかじめ設定した時刻にアラーム音を鳴らす機能です、アラーム音の他に、お好みの音楽などを再生することができます。
操作前に電池の残量が充分にあることを確認し、カレンダーを設定しておいてください。
アラーム（ピピピピッ）の代わりにお好みの音楽などを鳴らしたい場合は、パソコンに接続して ALARM フォルダ（☞ 47、203 ページ）に音楽ファイルを 1 つ入れてください。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量＋/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

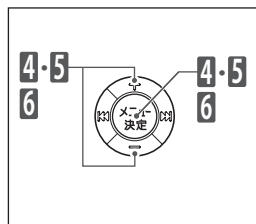
3 [音量＋/−]を押して【タイマー設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

「タイマー設定」画面が表示されます。

4 **[音量＋/−]を押して【アラーム設定】を選び、[メニュー/決定]を押す**

「アラーム設定画面」が表示されます。
アラーム記号が表示されます。

5 **アラーム時刻を設定する**

①[⏮][⏭]を押して、“時”、“分”を選択する。
②[音量＋/−]を押して、数値を変更する。
③[メニュー/決定]を押して確定する。

SD MIC
【アラーム設定】
PM 7時34分

6 **[音量＋/−]を使って鳴らす音を選び、[メニュー/決定]を押す**

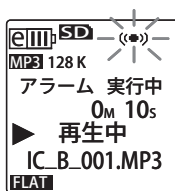
【BEEP】：アラーム（ピピピピッ）
【MUSIC】：ALARMフォルダ内の音楽ファイル再生

SD MIC
【アラーム設定】
BEEP
MUSIC

7 **[停止/戻る]を2回押す**

アラームが設定されます。

- アラーム動作中は((•))が点滅します。
- ［停止/戻る］を押すと、アラーム音が止まります。

SD
MP3 128 K
アラーム 実行中
0M 10S
▶ 再生中
IC_B_001.MP3
FLAT

アラーム設定を解除するには

手順4で「取消」を選び、[メニュー / 決定] を押す

((•)) が消えます

- アラーム設定で MUSIC に設定する場合は、ALARM フォルダに再生するファイルがあることを確認してください。ファイルがないと指定時刻になると、MUSIC の代わりにアラーム音（BEEP）が鳴ります。
- アラーム設定で MUSIC に設定する場合は、本機が適切な音量になっていることを確認してください。“0” になっていると指定時刻になっても音が鳴りませんのでご注意ください。
- 録音中は、アラームは動作しません。録音中にアラーム設定時刻になった場合は、アラームアイコンが点滅するだけで、アラーム音（BEEP、MUSIC）は鳴りません。

メモ

- 設定時刻になると BEEP の場合はピピピピッ音が鳴り（約 10 秒）、MUSIC の場合は ALARM フォルダ内の音楽ファイルが再生されます（一曲終わるまで）。
- アラームの動作中は ((•)) が点滅します。
- アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。（ポインティング操作では止まりません）
- 設定時刻に電源が切れている場合、自動的に電源が入ってアラームが鳴ります。
- アラーム音を鳴らすには、カレンダー（日時）を設定しておく必要があります。（☞ 42 ページ）
- 設定操作中に設定をキャンセルするには [停止 / 戻る] を押します。
- 設定時刻は、現在の時刻から 24 時間以内のみ設定できます。
- アラームは一度実行すると、設定は解除されます。
- アラーム設定とタイマー予約設定は、同時に設定できません。

セキュリティ機能について

本機のセキュリティ機能は、「暗証番号登録」と「指紋認証登録」を行った後、microSD カードのロック（SD ロック）をすることで機能します。また、指紋は登録せずに暗証番号のみでmicroSD カードのロックを行うこともできます。**暗証番号を忘れてしまうと、microSD カード内の全てのファイルを再生、または使用できなくなるため、暗証番号は必ずメモに記録するなどして大切に保管してください。暗証番号の解読や解除などは当社では一切できません。**

本機の盗難、紛失、または詐取等により、個人情報が第三者に漏えいするおそれがあります。第三者に個人情報が漏えいしたために損害が生じた場合、当社はその責任を負いません。また、本機を使用されたこと、あるいは、使用できなかったことによって生じる、いかなる損害に関しても、当社はその責任を負いません。

セキュリティ設定の流れ

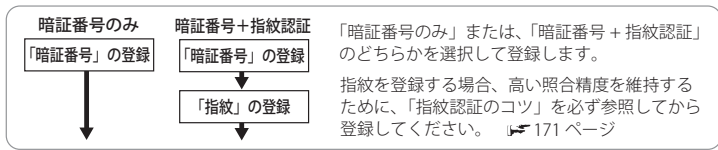
● microSD カード ロックの流れ

STEP1　セキュリティ情報を登録する
☞ 157 ページ

本機にセキュリティ情報を登録します。
※ セキュリティ情報は、microSD カードのロック / ロック解除に必要な情報です。

暗証番号のみ	暗証番号＋指紋認証
「暗証番号」の登録 ↓	「暗証番号」の登録 ↓ 「指紋」の登録 ↓

「暗証番号のみ」または、「暗証番号 + 指紋認証」のどちらかを選択して登録します。

指紋を登録する場合、高い照合精度を維持するために、「指紋認証のコツ」を必ず参照してから登録してください。　☞ 171 ページ

STEP2　microSD カードをロックする（SD ロック）
☞ 161 ページ

microSD カードを、登録したセキュリティ情報でロックします。
※ ロックした microSD カードは、ロックを解除または microSD カードを初期化しない限り、microSD カードの内容を参照できません。（microSD カードを初期化すると、カードの中身は全て消去されます。）

▼

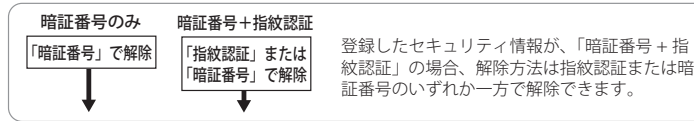
microSD カードのロック完了 !

● microSD カード ロック解除の流れ

STEP3　ロックされた microSD カードのロックを解除する
☞ 163 ページ

ロックされた microSD カードを登録したセキュリティ情報で解除します。
※ ロックされている microSD カードが対象です。

暗証番号のみ	暗証番号＋指紋認証
「暗証番号」で解除 ↓	「指紋認証」または「暗証番号」で解除 ↓

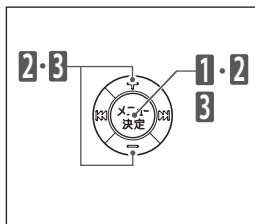
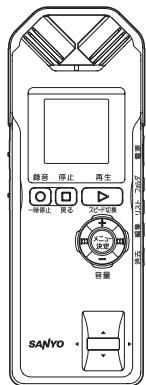
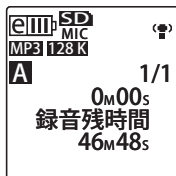
登録したセキュリティ情報が、「暗証番号 + 指紋認証」の場合、解除方法は指紋認証または暗証番号のいずれか一方で解除できます。

microSD カードのロックを解除 !

microSD カードを再度ロックする場合は STEP2 へ

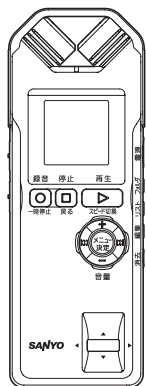
セキュリティを設定する

セキュリティ情報を登録する

本機にセキュリティ情報を登録します。
セキュリティ情報は、microSD カードのロック / ロック解除に必要な情報です。
「暗証番号のみ」または、「暗証番号 + 指紋認証」のどちらかを選択して登録できます。

■暗証番号の登録

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。

2 [音量 +/−]を押して【セキュリティ設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

3 [音量 +/−]を押して【セキュリティ登録】を選び、[メニュー /決定]を押す。

- すでに登録されている場合、手順3で「登録済みです。設定を削除してから登録してください」と表示されます。再登録する場合、一度登録を削除してから設定してください。
- セキュリティ情報の削除のしかたは☞ 166 ページを参照ください。

4 暗証番号を入力する。

① [⏮][⏭] を押して、入力する桁を選択する。

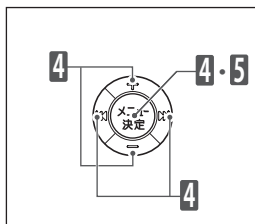
② [音量＋ / －] を押して、数字を変更する。

③ [メニュー / 決定] を押して確定する。

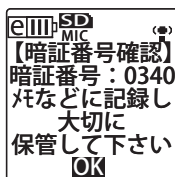
- 設定可能な暗証番号は 4 桁の数字で『0000 ～ 9999』です。
- お買い上げ時の暗証番号は『0000』です。

【暗証番号入力】
0000

例 : 暗証番号「0340」にする場合

【暗証番号入力】
0340

5 暗証番号をメモなどに記録した後、[メニュー /決定]を押す

暗証番号は大切に保管してください。

【暗証番号確認】
暗証番号：0340
メモなどに記録し
大切に
保管して下さい
OK

6 暗証番号のみ登録する場合は、[⏮][⏭]を押して【いいえ】を選ぶ

指紋登録する場合は「指紋の登録」(☞ 159 ページ) の手順へ進んでください。

【指紋認証】
指紋登録します
はい　いいえ

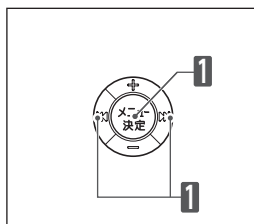
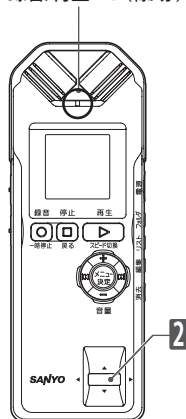
7 [メニュー /決定を押す]

「暗証番号のみ登録しました」と表示されます。

▶本機にセキュリティ情報が登録されました。

■指紋の登録

「暗証番号の登録」(☞157ページ)の手順1～5まで進んでください。

録音/再生LED(緑/赤)

1 **[|◀◀][▶▶|]を押して、【はい】を選び、[メニュー /決定]を押す。**

指紋を登録する場合、高い照合精度を維持するために、「指紋認証のコツ」を必ず参照してください。(☞ 171 ページ)

【指紋認証】
指紋登録します
はい　いいえ

2 **登録したい指を指紋センサーに当てて、3回続けてスライドさせる**

認証できた場合、認証画面が表示され、本体上部の緑色 LED が点滅から点灯に変わります。

- ３回認証が必要なので同じ指を３回続けてスライドさせてください。
- 認証に失敗した場合、認証失敗を画面表示し、赤色の LED が点灯しますので、スライドし直してください。

【指紋登録】
LED 点滅中に
同じ指を３回
上から下へ
読取して下さい
１回目

読取して下さい
２回目

読取して下さい
３回目

右図の画面が表示されるとセキュリティ情報登録は完了です。

【ｾｷｭﾘﾃｨｰ登録】
暗証番号と
指紋認証の
登録をしました

●指紋登録に 3 回続けて失敗した場合

【指紋認証失敗】の画面が表示されます。指紋の登録を中止して暗証番号のみ登録する場合は、[|◀◀][▶▶|] を押して【暗証番号】を選択し、[メニュー / 決定] を押してください。

【指紋認証失敗】
再度指紋登録
するか暗証番号
のみ登録するか
選択して下さい
指紋 暗証番号

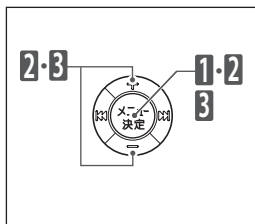
右図の画面が表示され、暗証番号のみで登録を完了します。指紋登録を続ける場合は、【指紋】を選択して、手順 2 の始めからもう一度行ってください。

【セキュリティー登録】
暗証番号のみ
登録しました

microSD カードをロックする（SD ロック）

本機に挿入されている microSD カードを登録されたセキュリティ情報でロック（SD ロック）することができます。
セキュリティ情報が登録されていない場合は、micro SD カードをロックすることはできません。あらかじめセキュリティ情報の登録（☞ 157 ページ）を行ってください。

1 **基本画面で[メニュー /決定]を長押しする**

2 **[音量 +/−]を押して【セキュリティ設定】を選び、[メニュー /決定]を押す**

3 **[音量+/−]を押して、【SD ロック】を選び[メニュー /決定]を押す**

セキュリティ情報が登録されていない場合、「セキュリティ情報が登録されていません」と表示されますので、セキュリティ情報の登録を行ってください。

☞セキュリティ情報を登録する
（157 ページ）

4 [⏮][⏭]を押して、【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

「SD カードをロックしました」と表示され、「セキュリティ設定」画面へ戻ります。

- microSD カードがロックされるとディスプレイに🔒が表示されます。
- microSD カードをセキュリティ情報でロックしない場合は、「取消」を選んで [メニュー / 決定] を押してください。
  microSD カードのロックを中止します。
- ロック済みの場合は「既にロックされた SD カードです」と表示されます。

【SD ロック】
SD カードを
ロックします
取消　実行

5 [停止/戻る]を2回押す

基本画面に戻ります。

- **microSD カードをロックした場合、microSD カードの中身が見えなくなります。パソコンからも見えません。**

SD ロック表示

A　0/0
0M00S
録音残時間
0M00S

- **本機でロックした microSD カードは、本機でロックを解除するまで使用できません。**
- 本機でロックした microSD カードが複数枚になったときなど、暗証番号ごとに microSD カードを正しく管理して、暗証番号の不一致で microSD カードが使用できなくならないように注意してください。
- なるべく本機でロックした microSD カードは、頻繁に入れ換えなどを行わないことをおすすめいたします。

microSD カードのロックを解除する

ロックされた micro SD カードにアクセス（再生、録音、電源オン、消去、編集、リスト表示など）しようとすると、ロック解除の画面が表示されます。暗証番号または指紋認証でロックを解除してください。

- 暗証番号と指紋の両方を登録している場合は、暗証番号、指紋認証のどちらか一方でロックを解除することができます。

■暗証番号でロックを解除する（暗証番号のみ登録している場合）

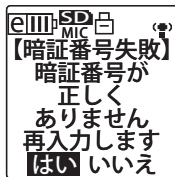
1 **[⏮][⏭]を押して「はい」を選択し[メニュー /決定]を押す。**

【セキュリティ解除】
ロックされた SD カード
を解除します
はい　いいえ

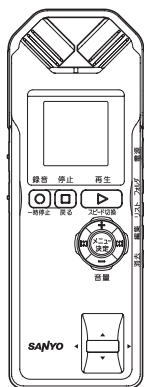
2 **暗証番号を入力する**

「SD のロックを解除しました」と表示され、micro SD カードの SD ロックが解除されます。

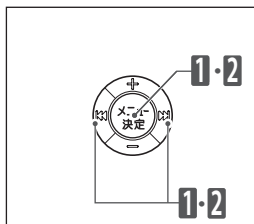
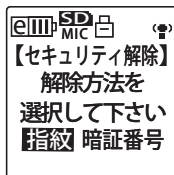
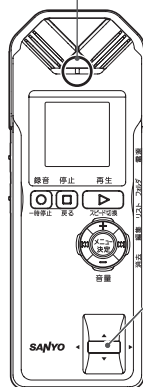
【暗証番号入力】
0340

- 暗証番号が間違っている場合、右図のような画面が表示されますので、[はい] を選んで再度入力してください。
- 暗証番号がわからなくなった場合は、microSD カードを初期化してください。（☞ 168 ページ）

■指紋認証でロックを解除する（暗証番号と指紋を登録している場合）

1 [⏮][⏭]を押して【はい】を選択し[メニュー /決定]を押す。

【セキュリティ解除】
ロックされたSDカード
を解除します
はい　いいえ

2 [⏮][⏭]を押して【指紋】を選択し[メニュー /決定]を押す。

- 【暗証番号】を選択すると、暗証番号入力によるロック解除となります。

【セキュリティ解除】
解除方法を
選択して下さい
指紋　暗証番号

3 録音再生LED（緑色）が点滅中に、指を指紋センサーに当ててスライドさせる

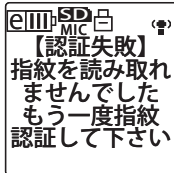
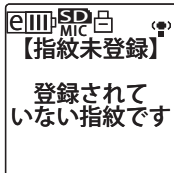
登録されている指紋が認証されると、micro SD カードのロックが解除されます。

- 指紋が読み取りにくい場合は、「指紋認証のコツ」を参照してください。（☞ 171 ページ）
- 次の画面が表示された場合は、認証失敗です。再度、指紋認証を行うか、暗証番号によるロック解除を行ってください。

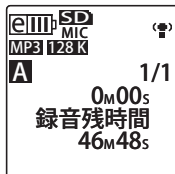
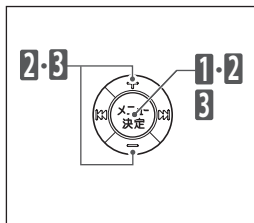
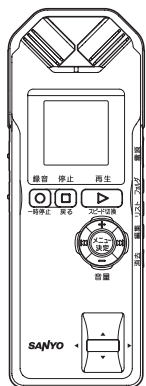
【指紋認証】
LED 点滅中に
登録した指を
上から下へ
読取して下さい

【指紋未登録】

登録されて
いない指紋です

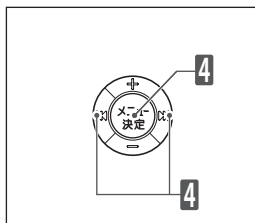
【認証失敗】
指紋を読み取れ
ませんでした
もう一度指紋
認証して下さい

セキュリティ情報の削除

本機に登録されている「暗証番号」と「指紋認証」の情報が同時に削除されます。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量 +/−]を押して【セキュリティ設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量 +/−]を押して【セキュリティ削除】を選び、[メニュー /決定]を押す

4 [|◀◀][▶▶|]を押して【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す

「セキュリティ設定を削除しました」と表示され、本機に登録されたセキュリティ情報が削除されます。暗証番号はお買い上げ時の『0000』に戻ります。

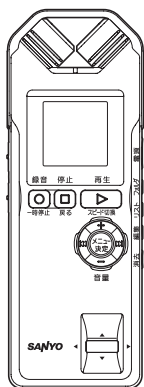
MIC
【セキュリティ削除】
登録した指紋と
暗証番号を
削除します
取消　実行

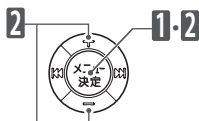
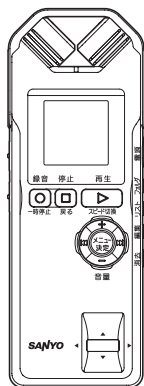
登録されたセキュリティ情報を削除しても、ロックした microSD カードはロックされたままです。この場合、指紋認証ではロック解除できなくなりますので暗証番号で解除してください。
また、新たにセキュリティ情報を登録しても、前回のセキュリティでロックされた microSD カードのロックを解除することはできません。前回のセキュリティ情報の暗証番号で解除してください。
セキュリティ情報を削除する場合は、なるべくロック中の microSD カードを解除するか、暗証番号を管理するようご注意ださい。

ロックされた microSD カードを初期化する

ロック状態の microSD カードを初期化します。microSD カードのロックが解除され、microSD カードの内容が消去されます。

- **暗証番号を忘れてしまったとき（指紋も認証されなかったとき）以外は実行しないでください。**

- **データが入った microSD カードを初期化すると、microSD カード内のデータはすべて消去されます。**
- ロックされていない microSD カードの初期化は、本機でフォーマットを行ってください。（☞ 147 ページ）

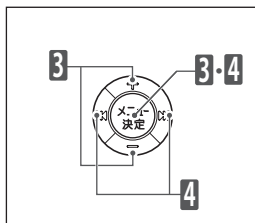
microSD カード初期化のしかた

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする

2 [音量 +/−]を押して【セキュリティ設定】を選び、[メニュー /決定]を押す

3 [音量＋/−]を押して、【SD初期化】を選び[メニュー /決定]を押す

4 [⏮][⏭]を押して、【実行】選び、[メニュー /決定]を押す。

「初期化完了」のメッセージが表示され、microSD カードの初期化が完了します。

- 取消を選ぶと、初期化されません。

【SD 初期化】
ロックされたSDを
初期化します
SDの内容は全て
消去されます
取消　実行

指紋センサーを使う

指紋認証について

本機の指紋認証について

本機は、指紋認証によるセキュリティ機能を搭載しております。
指紋認証を行うには、あらかじめ指紋データと暗証番号の登録が必要です。
指紋登録できるのは 1 指だけです。（人差し指または中指を推奨します）
暗証番号を登録する際に合わせて指紋を登録しておくと、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、暗証番号を入力する操作を省略でき便利です。
☞暗証番号と指紋認証の登録については（157 ページ）

指紋認証技術は完全な本人認証や識別は保証できません。指紋認証を使ったこと、または使えなかったことにより発生した損害および指紋センサーの誤動作によるデータの紛失等については、当社では一切責任は負いかねます。あらかじめご了承ください。

指紋センサーの取扱について

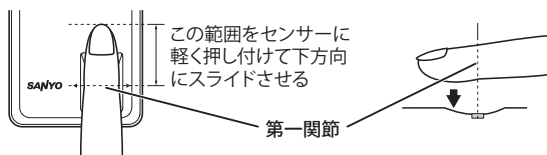
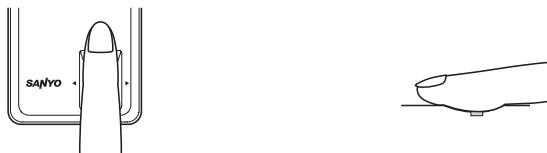
指紋読み取り部分に傷や汚れが付いたりすると、正常に作動しなくなる可能性がありますので、以下の点に注意してください。

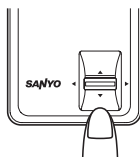
- 指紋センサーを汚れた指で触ったり、使用したりしないでください。
- 指紋センサーの表面に強い衝撃を与えたり、先のとがったもので突いたりしないでください。
- 指紋センサーの表面を爪や硬いもので引っかいたり、強くこすったりしないでください。
- 指紋センサーの表面にシールを貼り付けたり、インクなどを付着させたりしないでください。

指紋認証のコツ

■正しい指の動かし方

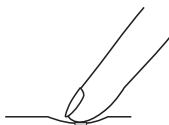
指紋センサーの高い照合精度を維持するために、「正しい指の動かし方」でご使用ください。

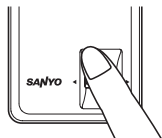
①読み取る指の第一関節のあたりが指紋センサー部分に重なるように指を置きます。

②少し時間をおいてから（約 1 秒程度）指紋センサーに指を軽く押し付けます。
　このとき、指が動かないようにしてください。

③指の第一関節から指先まで、まっすぐゆっくりとスライドさせてください。

④スライドした指を、そのまままっすぐ引き抜いてください。

・ 途中でスライドさせるのを止めたり、スピードを変えたりしないようにしてください。
また、指紋の読み取りが完了するまで、他の操作をおこなわないでください。

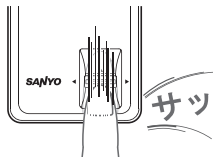
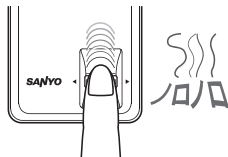
■指紋が読み取れないとき（間違った指紋の読み取り方）

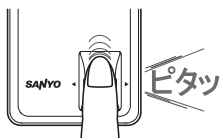
次のような場合は、指紋がうまく読み取れません。

①指紋センサーに指先しか触れていない（第一関節がセンサー面から浮いている）。
⇒指を平らに置いてください

指先しか触れていない

②指をまっすぐスライドさせていない（横や斜めに傾いている）。
⇒指が傾かないようにまっすぐ置いて指紋の渦の中心がセンサー部分を通るようにスライドさせてください。

斜めに傾いている

横に傾いている

③指をスライドさせる速度が速すぎる、または遅すぎる。
⇒スライドするスピードを調整し、一定のスピードでスライドさせてください。

速すぎる　　遅すぎる

④指先まで引かずに、途中で指を止めている。
⇒スライドを途中で止めずに、一定のスピードで第一関節から指先までスライドさせてください。

途中で指を止めている

次のような場合、指紋の登録や指紋認証を行う際に、正しく指紋を読み取れず登録や認証ができないことがあります。

⑤お風呂上りなどで指がふやけていたり、指が乾燥している場合。
⇒適度な湿潤状態にして行ってください。

⑥指が過度に水気をおびている場合。
⇒指やセンサーの水気を充分にとってから行ってください。

次のような場合、指紋の登録や指紋認証を行う際に、正しく指紋を読み取れず登録や認証ができないことがあります。この場合は、暗証番号による認証を行ってください。

・指先が荒れていたり、指に傷やただれなどがある場合
・認証時に、指紋を登録したときと指の表面状態が異なる場合
・指に汗や皮脂が多く指紋の溝が埋まっている場合
・指が泥や油で汚れていたり、汗などで濡れている場合
・指の表面が磨耗し、指紋が薄くなっている場合

- ケガなどにより、指紋認証ができなくなる場合がありますので、暗証番号は、メモなどに記録し、必ず控えておいてください。
- 静電気が原因で、センサーが故障することがあります。認証作業でセンサーを指で触れる前に、あらかじめ静電気を除去（金属に触れるなどして）してください。
- 指紋センサーで指紋認証やポインティング操作を繰り返し行ったり、長時間操作を続けたりすると、指を痛めるおそれがあります。
- 指紋センサー表面は、静電気の起きにくい乾いた柔らかい布で拭くなど、ときどき清掃してください。ほこりや皮脂などの汚れや汗などの水分が付着し、指紋センサーが読み取りにくくなったり、誤作動したりすることがあります。
  また、指紋センサーの表面を清掃する際は、先のとがったものでゴミを取り除いたり、こすったりしないでください。
- 指紋認証は、指紋の特徴を利用して認証を行うため、指紋に特徴がない場合は指紋認証をご利用いただけないことがあります。指紋認証をご利用になれない場合は、暗証番号によるセキュリティ情報の登録のみ行ってください。

指紋センサーをポインティングデバイスとしてつかう

指紋センサー部を使って、本機を操作することができます。

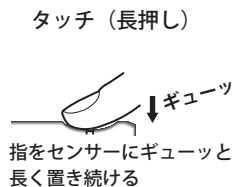
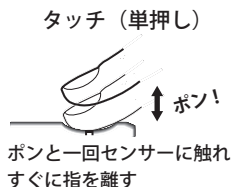
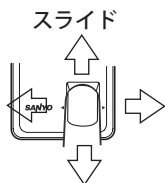
■ポインティング操作の種類（指の動き）

スライド

タッチ（単押し）

ポンと一回センサーに触れ
すぐに指を離す

タッチ（長押し）

指をセンサーにギューッと
長く置き続ける

■ポインティング操作でできること

ポインティング操作では、以下の操作が行えます。それ以外の操作は各操作スイッチで行ってください。

本機の状態	ポインティング操作でできること	ポインティング操作と働き	備考
基本画面又は再生中	再生スピードを 21 段階(MP3 ファイル)、13 段階 WMA ファイル）で調整	⇧再生スピードが上がる ⇩再生スピードが下がる	MP3、WMA ファイルのみ調整できます。微調整は 50%～ 100%間は 5％ごと、100％～ 200％間は 10%ごとに調整できます。ただし、WMA ファイルは 50%～ 120%になります。
	メニュー表示	タッチ長押し（ギュー）	
メニュー画面 （編集 / 消去メニュー含む）	メニューを選択	⇧項目を選択（上方向） ⇩項目を選択（下方向） ⇨決定またはカーソルを右方向に移動 ⇦戻るまたはカーソルを左方向に移動 タッチ単押しで決定（ポン）	
	メニューを閉じる	タッチ長押し（ギュー）	

本機の状態	ポインティング操作でできること	ポインティング操作と働き	備考
リスト表示画面	ファイルやフォルダを選択	⇧ファイル、フォルダを選択（上方向） ⇩ファイル、フォルダを選択（下方向） ⇨選択中のフォルダ、プレイリストを開く ⇦１つ上の階層に戻る タッチ単押しで決定（ポン）	
	リストを閉じる	タッチ長押し（ギュー）	
録音中 （スタンバイ / 一時停止含む）	マイクレベルの調整	⇧マイク感度が上がる ⇩マイク感度が下がる	ALC スイッチが OFF の時のみ調整できます。
サウンド EQ または録音 EQ で USER 選択時	・周波数帯を選択 ・レベルの調整	⇧レベルが上がる ⇩レベルが下がる ⇦⇨周波数帯を選択 タッチ単押しで決定（ポン）	メニュー画面から、EQ の調整まで続けてできます。
録音スタンバイ	録音 EQ の表示	タッチ長押し（ギュー）	

メモ

ポインティング操作は、指紋を登録していなくても使うことができます。

■ポインティング機能を無効にするときは

お買い上げ時はポインティング機能が「ON」に設定されていて、いつでも使うことができます。ポインティング機能を無効にするときは、「共通設定」メニューから「ポインティング」を選び、設定を「OFF」に切り換えてください。

メニューについて

設定操作（メニュー）のあらまし

設定項目（メニュー）は、「録音設定」、「再生設定」、「共通設定」、「セキュリティ設定」の 4 つの大項目に分類されています。

録音設定

［録音モード］録音音質の設定
［録音ピークリミッター］録音ピークリミッターの ON/OFF
［LowCut フィルタ］LowCut フィルタの ON/OFF
［ステレオワイド］ステレオワイド録音の ON/OFF
［外部録音］外部入力端子に入力するソース選択
［自動無音分割］録音中に無音状態が続くと自動的にファイルを分割する設定
［セルフタイマー録音］セルフタイマー時間の設定
［VAS 設定］音声起動録音の ON/OFF

再生設定

［リピート設定］リピートモードの設定
［センテンス設定］センテンス再生時間の設定
［タイムスキップ］タイムスキップ時間の設定
［サウンド EQ］音質の設定

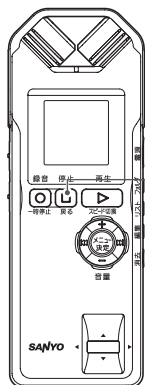
共通設定

［BEEP 音設定］音声ガイドと BEEP 音（ピッ）の ON/OFF
［録音 / 再生 LED］録音 / 再生 LED の ON/OFF
［カレンダー設定］カレンダー（時刻）の設定
［タイマー設定］アラーム、予約録音の設定
［ポインティング］ポインティング機能の ON/OFF
［電池切換］エネループ充電池かアルカリ乾電池かの選択
［オートパワーオフ］オートパワーオフ機能の ON/OFF
［バックライト］画面のバックライトの ON/OFF
［コントラスト］画面のコントラスト調整
［ごみ箱機能］ごみ箱設定の ON/OFF
［フォーマット］microSD カードの全データ消去
［メニュー初期化］メニュー設定の初期化
［バージョン］ファームウェアのバージョン情報

セキュリティ設定

［セキュリティ登録］セキュリティ情報の登録
［セキュリティ削除］セキュリティ情報の削除
［SD ロック］microSD カードのロック
［SD 初期化］microSD カードの初期化

メニュー画面で、本機の設定を変更することができます。

例 : 録音モードを変更する場合

1 設定項目を選択する

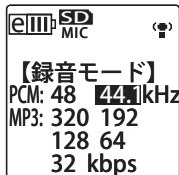
基本画面で [メニュー / 決定] を長押しし、[音量＋ / ー] で設定項目を選び [メニュー / 決定] を押す。
ここでは録音設定を選びます。

2 設定メニューを選択する

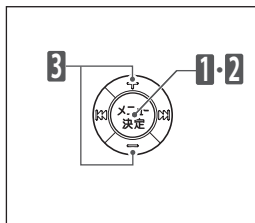
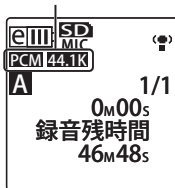
[音量＋ / ー] で [設定メニュー] を選び、[メニュー / 決定] を押す。
ここでは録音モードを選びます。

3 [音量＋/ー]を押して録音モードを選び、[メニュー /決定]を押す

ここでは PCM44.1kHz を選びます。
選んだ録音モードに変更されます。

SD
MIC
【録音モード】
PCM: 48 44.1kHz
MP3: 320 192
128 64
32 kbps

4 [停止/戻る]を2回押す

基本画面に戻ります。

選んだ録音モード

メニュー一覧

■停止中メニュー

基本画面で停止中に［メニュー / 決定］を長押しする

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

※1 お買い上げ時（工場出荷時）は 2008 年 4 月 1 日 24H 0 時 00 分に設定されています。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
共通設定	フォーマット	**取消** / 実行	147 ページ
	メニュー初期化	**取消** / 実行	188 ページ
	バージョン	バージョンの表示	189 ページ
セキュリティ設定	セキュリティ登録	暗証番号[※1] / 指紋認証	157 ページ
	セキュリティ削除	**取消** / 実行	166 ページ
	SD ロック	**取消** / 実行	161 ページ
	SD 初期化	**取消** / 実行	168 ページ

※1 お買い上げ時（工場出荷時）は 0000 に設定されています。

■再生中メニュー

再生中に［メニュー / 決定］を長押し

■録音中メニュー

録音スタンバイ中（ALC オフ）に［メニュー / 決定］を長押し

■編集メニュー

停止中に［編集 / センテンス再生］を押す

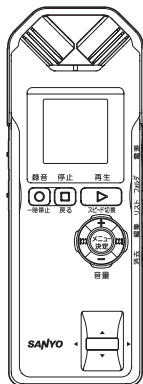
■消去メニュー

停止中に［消去］を押す

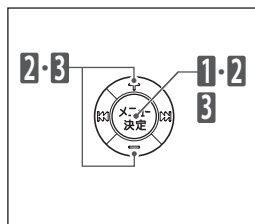
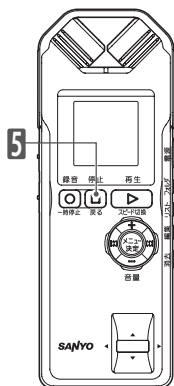
■ごみ箱メニュー

ごみ箱フォルダで［消去］を押す

音声ガイドを設定する

録音データの消去や録音モードの切り換えなどの各種メニューの設定変更を実行した際、音声で操作の完了をお知らせする音声ガイドが使えます。操作ミスを軽減し、メニュー設定を確実に行えます。
また、音声ガイドの他にボタン操作時や誤動作を警告するときなどに、BEEP 音（ビープ : ピピピピッ）音を鳴らすこともできます。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。

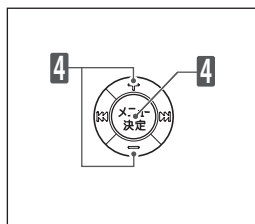
2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

3 [音量+/−]を押して【BEEP音設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

4 **[音量+/−]を押して【警告音】か【音声ガイド】を選び、[メニュー/決定]を押す。**

【OFF】：
音声ガイド、操作音、BEEP 音（ピッ）を解除します。
【音声ガイド】：
音声ガイドと BEEP 音（ピッ）を鳴らします。
【警告音】：
操作音と BEEP 音（ピッ）を鳴らします。

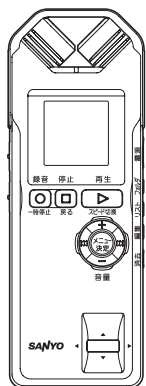
【BEEP音設定】
OFF
音声ガイド
警告音

5 **[停止/戻る]を 2 回押して基本画面に戻ります**

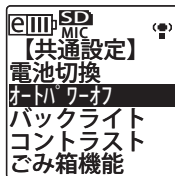
MP3 128 K
A 1/1
0M00S
録音残時間
46M48S

オートパワーオフを設定する

電源オン状態で約 15 分間、本機を使用しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、VAS 録音で録音待機中、再生中を除く）。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

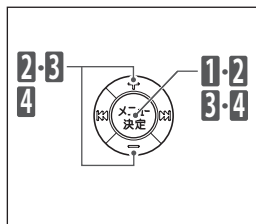
2·3
4

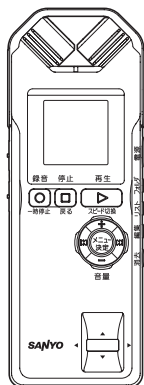
1·2
3·4

1 **基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。**

2 **[音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。**

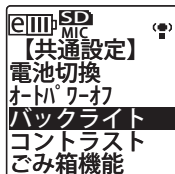
3 **[音量+/−]を押して【オートパワーオフ】を選び、[メニュー /決定]を押す。**

4 **[音量+/−]を押して【ON】を選び、[メニュー /決定]を押す。**

オートパワーオフ機能が設定されました。

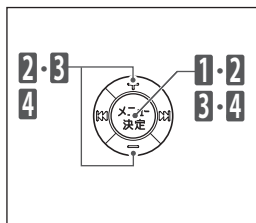
【OFF】にするとオートパワーオフ機能は働きません。

バックライトを設定する

ボタンを押すごとに画面のバックライトが約5秒間点灯するので、暗いところでも画面表示が確認しやすい便利な機能です。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。

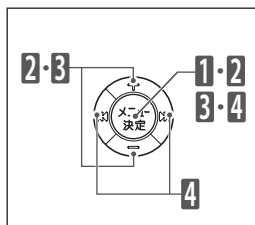
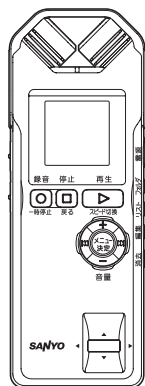
2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

3 [音量+/−]を押して【バックライト】を選び、[メニュー /決定]を押す。

4 [音量+/−]を押して【ON】を選び、[メニュー /決定]を押す。

バックライトの点灯を設定します。
【OFF】にすると、バックライトを解除します。（バックライトは点灯しません）

メモ

電池残量が少ない場合、バックライトが点灯しないことがあります。

コントラストを調整する

画面のコントラストを 10 段階で調節できます。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。

2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

3 [音量+/−]を押して【コントラスト】を選び、[メニュー /決定]を押す。

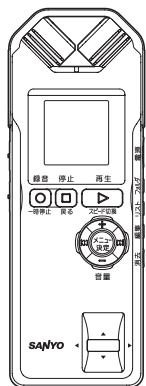
4 [◀◀][▶▶]を押してコントラストの濃淡を調節し、[メニュー /決定]を押す。

押すごとに、液晶パネルのコントラストの濃淡が調整できます。

淡（1）～濃（10）

メニュー設定を初期化する

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。**また、暗証番号と指紋認証は消去されます。**

2・3
4
1・2
3・4

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。

2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

3 [音量+/−]を押して【メニュー初期化】を選び、[メニュー /決定]を押す。

4 [音量+/−]を押して【実行】を選び、[メニュー /決定]を押す。

本機設定メニューの初期化が行われます。初期化を行わないときは「取消」を選んで [メニュー / 決定] を押してください。

メモ

メニューを初期化しても microSD カード内のデータは消去されません。

バージョンを確認する

本機ファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 基本画面で[メニュー /決定]を長押しする。

2 [音量+/−]を押して【共通設定】を選び、[メニュー /決定]を押す。

3 [音量+/−]を押して【バージョン】を選び、[メニュー /決定]を押す。

ファームウェアのバージョンが表示されます。

パソコンでお使いになる前に（準備）

動作環境の確認

動作環境

本機は以下のパソコン環境で動作します。

対応機種	Windows 標準搭載パソコン
対応 OS （日本語版）	Windows Vista Windows XP Windows Millennium Edition(Me) Windows 2000 Professional (SP3 以降)
USB 端子	本製品接続時に 1 つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

● Windows Media Player について

お使いの OS に対応した、以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player10	Windows XP
Windows Media Player9	Windows Millennium Edition (Me) Windows 2000 Professional (SP3 以降)

※上記以外の Windows Media Player での動作保証はいたしません。

※上記は 2008 年 3 月現在での動作環境です。

- Macintosh など Windows を搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。
- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  -Windows 各 OS からのアップグレード環境
  -Windows95、Windows NT、Windows98、Windows98SE
  -Windows 各 OS のデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※サスペンド：
  CPU、LCD、HDD などを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPU は停止しているが ROM への電力供給はされている状態。
- Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
- Windows 2000 以降で導入された「ダイナミック ディスク」には動作保証していません。

Windows Media Player のバージョンを確認する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］を選択して、Windows Media playerを起動する

2 メニューバーが表示されている場合は、[ヘルプ]-[バージョン情報]をクリックする

メニューバーが表示されていない場合は、手順1の Windows Media Player を起動した状態で、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［M］を押すとメニューバーが表示されます。

3 [バージョン]の右側に表示されている数字を確認する

一番左のケタ番号が、お使いの Windows Media Player のバージョンです。

9.XX.XX　⇒バージョン 9
10.XX.XX　⇒バージョン 10
11.XX.XX　⇒バージョン 11

7.XX…、8.XX…と表記されているバージョンは動作保証致しません。

お使いの OS に対応した最新の Windows Media Player を以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

本書の表記について

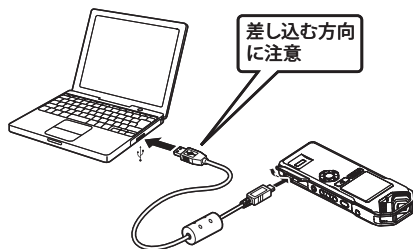
お使いのパソコンのメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/Windows Media Player 11、および Windows XP/Windows Media Player 10 となります。
その他のバージョンの OS/Windows Media Player をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

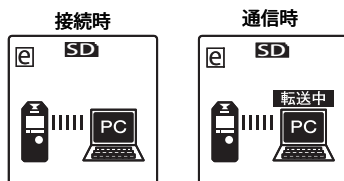
☞ Windows Media Player のバージョンを確認するには（191 ページ）

パソコンに接続する / 取り外す

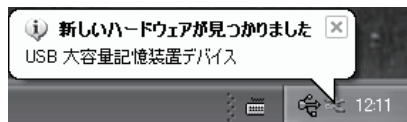
パソコンに接続する

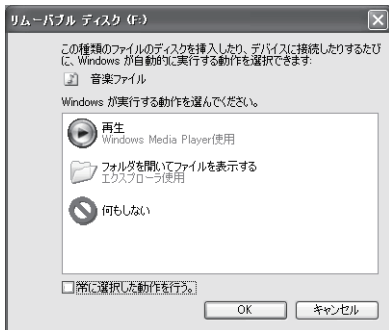
1 専用USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する

2 電源オフの状態で、専用USB接続ケーブルのもう一方を本機に接続する

■パソコンに接続中の画面の表示

通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
接続画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

■初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。

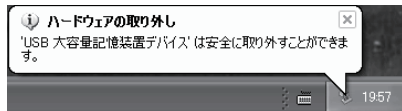
・ パソコンに何も表示されない場合は ☞（258 ページ）

■自動再生画面について

Windows XP または Windows Vista をお使いの場合は［自動再生］画面が表示される場合があります。
[自動再生] 画面で「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。
また、[自動再生] 画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。
- 本機をパソコンに接続する、または取り外す時は、USB 接続端子付近を持って抜き差ししてください。
- 本機をパソコンに接続したままパソコンを持ち運ばないでください。パソコンの USB 端子が破損する原因となります。

パソコンから取り外す

1 **[タスクトレイ]の をクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス-ドライブを安全に取り外します]をクリックする**

- お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 **下図のメッセージが表示されたら、本機を専用USB接続ケーブルから取り外す**

［タスクトレイ］にアイコンが表示されない場合、Windows のヘルプを参照ください。

エネループを充電する

本機にエネループ充電池（付属）を入れて充電します。

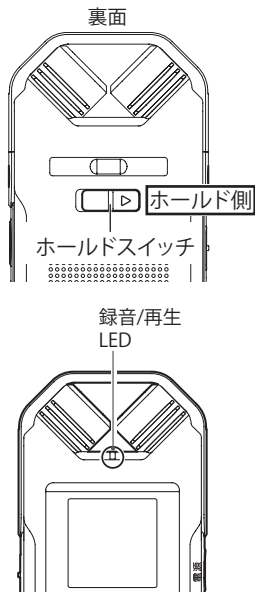
充電する前に

本機にエネループ充電池が入っていることを必ず確認してください。
アルカリ電池等を入れたまま充電すると、液漏れ等、本機の故障の原因となります。
電池切換を「エネループ」に設定してください。
☞使用する電池の種類を設定する（30 ページ）

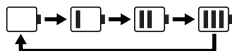
- 充電中は電池ぶたを必ず閉めてください。
- データ転送中でも充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の使用時間が短くなることがあります。
- 充電は周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境でおこなってください。

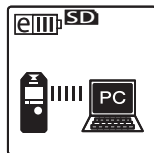
エネループを充電する

1 **本機をパソコンに接続する**

☞パソコンに接続する（194 ページ）

2 **本機の画面がPC接続中の表示であることを確認して、[ホールドスイッチ]をホールド側にする**

録音 / 再生 LED（緑色）が点灯し、充電が始まります。

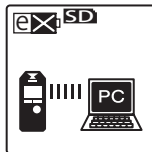
- 充電中は画面の電池残量の表示が以下のように切り換わります。

- 途中で充電を止めるときは、[ホールドスイッチ] を戻してください。
- 充電が完了すると、録音 / 再生 LED が緑色から赤色に変わります。
- 充電時間は約 220 分です。

※充電時間は、使い切った電池を満充電する場合の目安です。電池の残量や周囲温度などによって充電時間は変化します。

3 **本機をパソコンから取り外す**

☞パソコンから取り外す（196 ページ）

- 電池切換の設定が「アルカリ電池」に設定されている場合は充電されません。
- [ホールドスイッチ] をホールド側にした状態でパソコンに接続すると充電が開始されません。［ホールドスイッチ］をいったん戻してから、再度ホールド側に切り換えてください。
- 画面に PC 接続中の表示が出ないときは、再度、本機をパソコンに接続し直してください。
  （☞ 194 ページ）
- 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態のモードになったとき
  - パソコンを再起動したとき
- 図のように充電表示に☒が表示されると、以下のような理由により充電できません。
  - エネループ充電池以外の電池が入っている
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている
  （パソコンから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）

- 充電中に電池があたたかくなることがありますが異常ではありません。

- 満充電しても、電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい単 3 形エネループ充電池をお買い求めください。

本機のフォルダについて

パソコンから見た本機のフォルダ状態

1 **本機をパソコンに接続する**

☞パソコンに接続する（194 ページ）

2 **マイ コンピュータを開く**

［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックする。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。

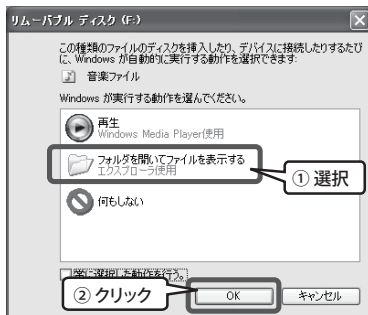
3 リムーバブル ディスクを開く

［マイ コンピュータ］内の［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする。

☞リムーバブル ディスクが表示されない場合は（246 ページ）

本機のフォルダが表示されます。

本機接続時に［自動再生］画面（☞195 ページ）が表示された場合、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックしても、本機のフォルダを表示させることができます。

パソコンでお使いになる前に（準備）

● **VOICE**

本機で録音した音声ファイル（MP3 および WAV 形式）が保存されているフォルダです。さらに A ～ D の 4 つのフォルダに分かれています。

- 録音されたファイルが A ～ D のそれぞれのフォルダに入っています。
- ファイルを違うフォルダ（たとえば A フォルダ内のファイルを B フォルダへ）に移動しないでください。再生できなくなります。
- パソコンでファイル名を変更すると VOICE に戻しても再生できなくなりますが、MUSIC フォルダに転送すると再生できるようになります。

● **MUSIC**

音楽ファイルなどパソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

- 転送して再生可能なファイルは MP3 形式、WMA 形式のファイルと本機で録音した WAV ファイルです。ファイル名は問いません。
- ファイルを追加すると再生順が変わる場合があります。
- このフォルダ内に 2 階層までお好みのフォルダを作成し、アルバムや歌手ごとにファイルを入れることができます。(☞ 243 ページ)
- 一度パソコンに保存した音声ファイルを再び本機に戻すときは、MUSIC フォルダ内へ転送してください。
  そのとき、同一のファイル名が MUSIC フォルダ内にある場合、フォルダ内にあったファイルが上書きされますのでご注意ください。

● **DATA**

ワードやエクセルなどのファイルを入れて本機を USB フラッシュメモリ（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。

- このフォルダに音声や曲ファイルを入れても本機では再生できません。
- パソコン接続時のみ確認できます。本機の操作では表示されません。

● **LINE**

外部機器からライン録音したファイルが保存されているフォルダです。

パソコンでファイル名を変更すると LINE に戻しても再生できなくなりますが、MUSIC フォルダに転送すると再生できるようになります。

● **RECYCLE**
ごみ箱フォルダです。ごみ箱機能（☞ 137 ページ）がオンの時、本機で消去したファイルが移動されます。ごみ箱フォルダ内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合なども安心です。

● **ALARM**
アラーム時に鳴らす MP3、WMA または本機で録音した WAV ファイルを保存するフォルダです。
再生できるのは 1 ファイルのみです。
このフォルダにファイルがない場合は、アラームの設定にかかわらずアラーム時には BEEP 音（ピピピピッ）が鳴ります。

- パソコン接続時のみ確認できます。本機の操作では表示されません。

ファイル名規則について

本機で録音したファイルには、以下の構成で自動的に名前がつきます。

IC_A_001.MP3
（A：①、001：②、MP3：③）

①：フォルダ名（録音したフォルダによって変わります）
②：ファイル番号（録音するごとに、001、002、003…と順次ファイルが作成されていきます）
③：拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

また、ごみ箱機能を使ってごみ箱に移動したファイルは、以下のようなファイル名に変更されます。

001_IC_A_001.MP3
①　　　②　③　④

①：ごみ箱内のファイル番号（001、002、003…というように、ごみ箱に移動された順番でつけられます）
②：フォルダ名（ごみ箱に移動する前のフォルダ名です）
③：ファイル番号（ごみ箱に移動する前のファイル番号です）
④：拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更した場合、VOICE（A ～ D）フォルダや LINE（L）に戻すと、本機で再生できなくなります。ファイル名規則に則ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。**
  （☞ 203 ページ）
- microSD カードのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまった場合は、再度本機でフォーマットしてください。（☞ 147 ページ）

ファイルの管理

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

1 本機をパソコンに接続する

☞パソコンに接続する（194 ページ）

2 マイ コンピュータを開く

［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックする。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。

3 リムーバブル ディスクを開く

［マイ コンピュータ］内の［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする。

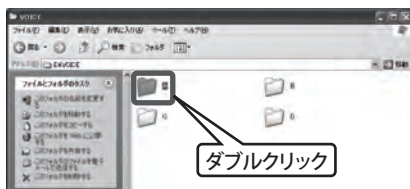
- リムーバブル ディスクが表示されない場合☞（246 ページ）

4 VOICEフォルダを開く

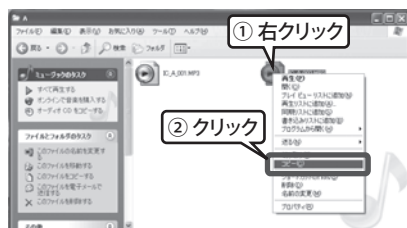
［リムーバブル ディスク］内の［VOICE］をダブルクリックする。

5 パソコンに保存したいファイルの入っているフォルダを開く（A ～ D フォルダ）

［VOICE］内のいずれかのフォルダをダブルクリックする。

- 図は A フォルダを選ぶ例です。

6 パソコンに保存したいファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[コピー]をクリックする

コピーする準備が完了しました。

- パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は [切り取り] を選んでください。

7 保存先のフォルダを開く

[スタート] メニューから [マイミュージック] をクリックする。

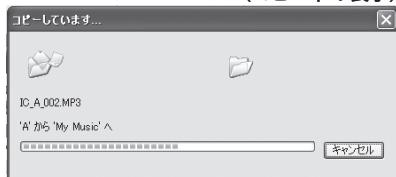
- ここでは [マイ ミュージック] に保存する例です。

ファイルの管理

8 [編集]をクリックし、メニューから[貼り付け]をクリックする

保存先のフォルダに同じ名前のファイル作成されたら保存完了です。

> • 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

（コピー中の表示）

9 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（196 ページ）

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

マイミュージックに保存した音声ファイルを本機に戻して再生する方法について説明します。
パソコンに保存されたファイルを本機で聞くときは、MUSIC フォルダに転送してください。

1 **本機をパソコンに接続する**
☞パソコンに接続する（194 ページ）

2 **マイ ミュージックを開く**
[スタート]メニューから「マイ ミュージック」をクリックする。または、デスクトップ上の [マイ ミュージック] をダブルクリックする。

メモ
マイ ミュージック以外の他の場所にファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

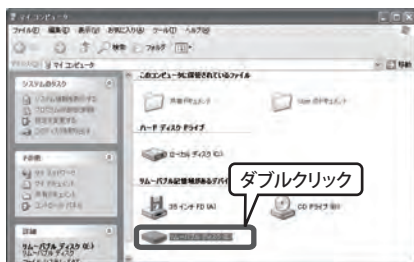
3 転送したい音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[コピー]をクリックする

コピーする準備が完了しました。

4 マイ コンピュータを開く

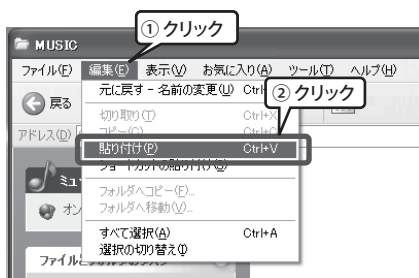
［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックする。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。

5 リムーバブル ディスクを開く

［マイ コンピュータ］内の［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする。

6 MUSICフォルダを開く

［リムーバブル ディスク］内の［MUSIC］をダブルクリックする。

7 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックして表示されるメニューから［貼り付け］をクリックする。

コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら転送完了です。

▼ （コピー中の表示）

転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

8 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（196 ページ）

ファイルを VOICE（A ～ D）フォルダや LINE（L）フォルダに戻す場合

ファイル名規則（☞ 203 ページ）に沿ったファイルのみ再生できます。ファイル名を確認し、VOICE フォルダ内の元のフォルダへ入れてください。例えば、“IC_A_001.mp3” のファイルは “A” フォルダに、“IC_B_003_mp3” のファイルは “B” フォルダに戻します。その他のフォルダへ戻しても、再生できません。

音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。
以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、[マイ ドキュメント] の [マイ ミュージック] に保存した状態で説明しています。

CD-R/RW にコピー中は、他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因になります。

※OS のバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
説明で使用する画面は Windows XP/Windows Media Player11、および Windows XP/Windows Media Player10 となります。
その他のバージョンの Windows Media Player をお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

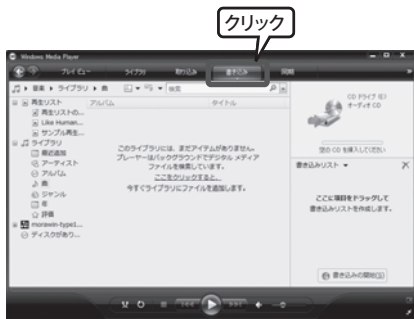
- **Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームーページをご覧ください。**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

● Windows Media Player11 の場合

1 **Windows Media Playerを起動する**

画面左下の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Player11 を起動する。

2 **[書き込み] をクリックする**

書き込み画面が表示されます。

3 書き込み形式（作成するCDの種類）を選択する

[書き込み] ボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから、[オーディオ CD] または [データ CD] をクリックする。

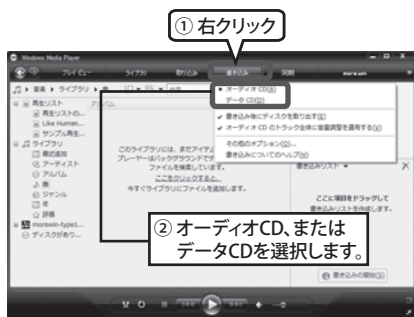
[オーディオ CD]：
CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
[データ CD]：
本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）

650MB…74 分

700MB…80 分

コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。

☞ファイルを分割する（97 ページ）

4 空のCD-RをCD-R/RWドライブに挿入する

書き込みリストの上に、挿入した CD の情報（残り記録時間など）が表示されます。

挿入したCD情報の表示

5 [スタート]メニューから[マイミュージック]を開く

マイミュージック以外の他の場所に書き込むファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

6 CD-RにコピーしたいファイルをWindows Media Playerの[書き込みリスト]にドラッグ＆ドロップして追加する

[書き込みリスト] に追加されたファイルが表示されます。

メモ

ドラッグ＆ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことです。

書き込みリスト上でファイルの再生時間が表示されていないファイルは、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。

7 書き込みを開始する

[書き込みの開始] をクリックして、CD-R への書き込みを開始する。

8 書き込みの完了

[完了] と表示されたら、CD-R/RW への書き込みは完了です。

- Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD トレイが開きます。

メモ

書き込みリストに追加した音声ファイルの合計時間が記録可能時間を超えた場合、Windows Media Player11 は自動的に複数の CD に分けて書き込みます。また、Windows Media Player11 は書き込み時に曲の間に 2 秒間の間隔を空けるため、合計時間が CD の長さと正確に一致していても最後の曲が収まらない可能性があります。

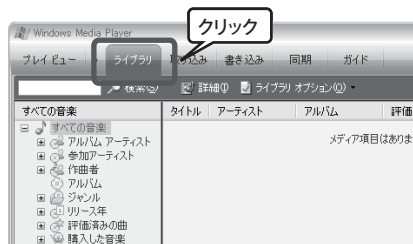
● Windows Media Player10 の場合

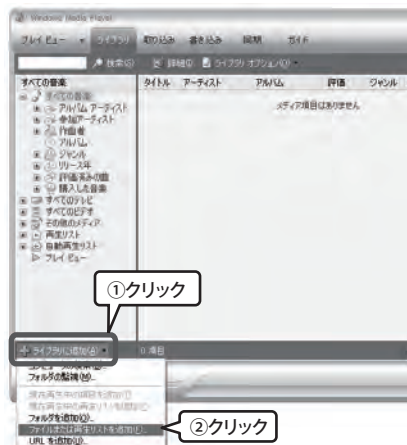
1 **Windows Media Playerを起動する**

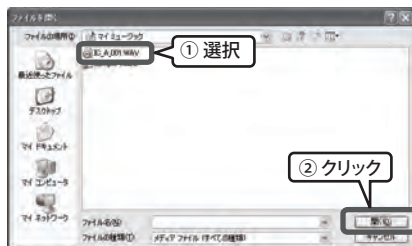
［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 **空のCD-R/RWをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する**

3 **[ライブラリ]をクリックする**

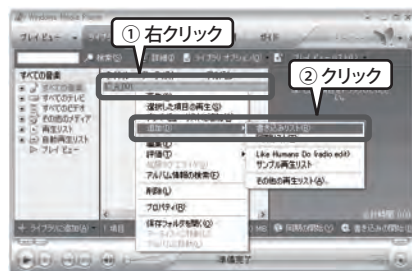
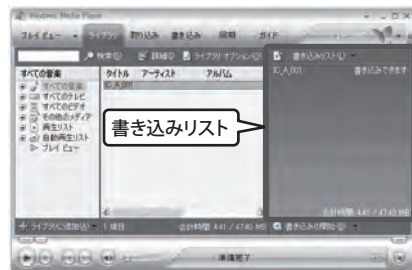
ファイルの管理

4 [ライブラリに追加]をクリックし、[ファイルまたは再生リストを追加]をクリックする

画面左下にある [ライブラリに追加] をクリックする。

5 追加したい音声ファイルを選ぶ

ライブラリに追加したい音声ファイルを選択して、[開く] をクリックする。

6 選択した音声ファイルを確認する

選択した音声ファイルがライブラリに表示されるので、内容を確認する。

7 書き込みリストを作成する

追加した音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [追加]-[書き込みリスト] をクリックする。

書き込みリストが作成されます。

8 CD形式を選択する

画面右下にある [書き込み開始] ボタン横の▼をクリックし、[オーディオ CD] または [データ CD] をクリックする。

［オーディオ CD］：
CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
［データ CD］：
本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）

650MB…74 分
700MB…80 分

コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。

☞ファイルを分割する（97 ページ）

9 書き込みを開始する

[書き込みの開始] をクリックして、CD-R への書き込みを開始する。

10 書き込みの完了

[完了] と表示されたら、CD-R/RW への書き込みは完了です。

- Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD トレイが開きます。

本機で音楽を聞く

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽ファイルを記録し、それを本機に転送する必要があります。

■音楽ファイルを記録するには

音楽ファイルを記録するには以下の 2 通りの方法があります。

- 音楽 CD や語学 CD から作成する
- インターネット上の音楽配信サービスを利用する

本機で再生できる形式は、次の 3 形式の音楽ファイルです。

- WMA 形式の音楽ファイル
- MP3 形式の音楽ファイル
- 本機で録音した WAV 形式の音楽ファイル

※AAC 形式など、本機に対応していない記録形式では再生できません。

- お客様が取得した MP3・WMA・WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布したり、インターネットへの掲載などに使用することは、固く禁じられています。
- 本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

音楽 CD を記録する場合

Windows Media Player を起動し、音楽 CD の曲をライブラリへ取り込みます。
ライブラリへの取り込みが終わった段階で、音楽 CD の内容が MP3（または WMA）形式の音楽ファイルへと変換されます。
「音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」（☞225 ページ）

音楽配信サービスを利用する場合

WMA 形式に対応している音楽配信ホームページから音楽ファイルを購入します。
本機は PD-DRM に対応しています（DRM10 には対応していません）。

▼

Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。
「Windows Media Player で音楽ファイルを転送する」（☞232 ページ）

音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD から本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

CD から音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

※OS のバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
説明で使用する画面は Windows XP/Windows Media Player11、および Windows XP/Windows Media Player10 となります。
その他のバージョンの Windows Media Player をお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

- **Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームーページをご覧ください。**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

● Windows Media Player11 の場合

1 Windows Media Playerを起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 Windows Media Playerの設定を変更する

[取り込み] の上で右クリックして表示されるメニューから、[形式] - [mp3] をクリックする。

3 [取り込み] をクリックする

4 音楽CDをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する

・ お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

5 取り込みを開始する

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて [取り込みの開始] をクリックする。

・ Windows Media Player の設定によっては、CD を挿入したとき自動的に取り込みが開始されます。

音楽を聞く

6 取り込みの完了

選択した曲がすべて［ライブラリに取り込み済み］と表示されたら、取り込みは完了です。
取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

● Windows Media Player10 の場合

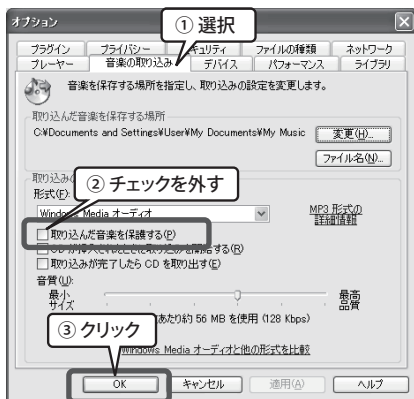
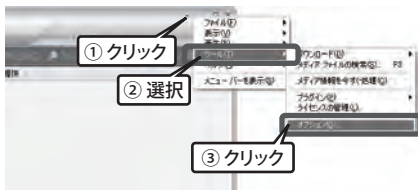
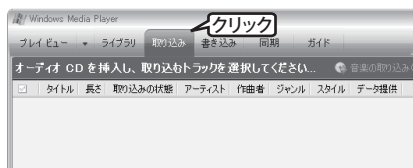
1 Windows Media Playerを起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 オプションを開く

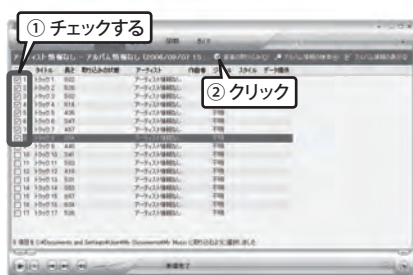
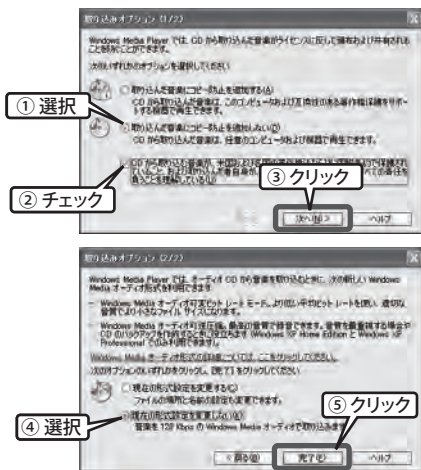
Windows Media Player の画面右上にある▼をクリックし、表示されたメニューから［ツール］－［オプション］をクリックし、オプション画面を表示させる。

3 ［音楽の取り込み］タブより、［取り込んだ音楽を保護する］のチェックを外す

チェックを外した後、［OK］をクリックする。

4 ［取り込み］をクリックする

5 音楽CDをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する

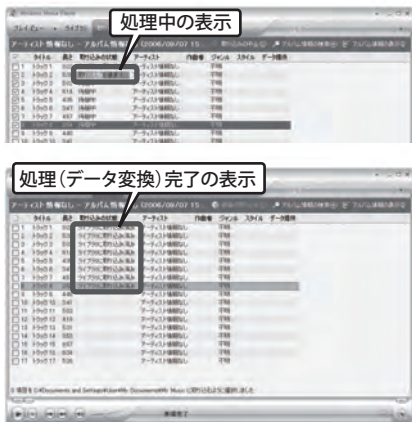
- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。表示されない場合は［アルバム情報の検索］をクリックしてください。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

6 取り込みを開始する

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて、［音楽の取り込み］をクリックする。

※図のような画面が表示された場合は、画面通りチェックをつけて［完了］をクリックしてください。

7 取込みの完了

選択した曲がすべて［ライブラリに取り込み済み］と表示されたら取り込みは完了です。

CD の内容が WMA（または MP3）形式に変換されてパソコンに取り込まれます。

取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
CD からパソコンに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」を参照してください。（☞ 225 ページ）

※OS のバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
説明で使用する画面は Windows XP/Windows Media Player11、および Windows XP/Windows Media Player10 となります。
その他のバージョンの Windows Media Player をお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

- **Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームーページをご覧ください。**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

● Windows Media Player11 の場合

1 Windows Media Playerを起動する

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「Windows Media Player」を選択して、Windows Media Player を起動する。

2 [同期] をクリックする

同期画面が表示されます。

3 本機をパソコンに接続する

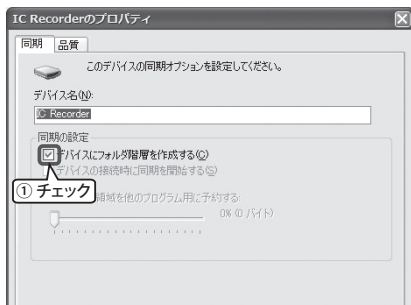
☞パソコンに接続する（194 ページ）

接続した機器の情報が表示されます。
デバイスの設定画面が表示された場合は [完了] をクリックしてください。

4 同期の設定を行う

[同期] の上で右クリックし、表示されるメニューから [リムーバブルディスク] ー [詳細オプション] をクリックする。

5 [同期]タブの[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックをつけ、[OK]をクリックする

初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

6 同期リストを作成する

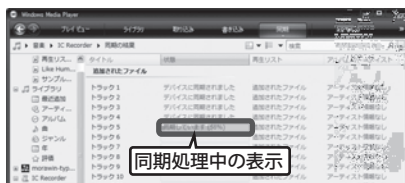
画面左側のライブラリから同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の「同期リスト」にドラッグ＆ドロップする。

> メモ
> - Ctrl キーを押しながら音楽ファイルを選択することで、複数のファイルをまとめて選択して追加することができます。
> - アーティストやアルバムのジャケット画像をドラッグ＆ドロップすれば、そのアーティストやアルバムに含まれるすべての曲が同期リストに追加されます。

7 同期を開始する

画面右下の [同期の開始] ボタンをクリックする。

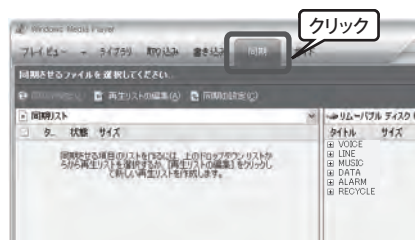
8 同期の完了

[デバイスに同期されました] と表示されたら、同期は完了です。

● Windows Media Player10 の場合

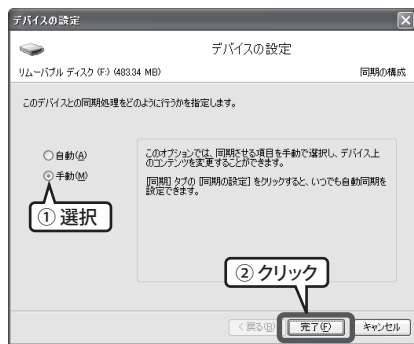
1 Windows Media Playerを起動する

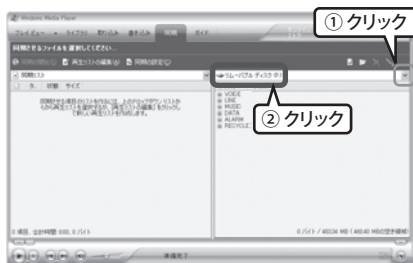
［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player を起動します。

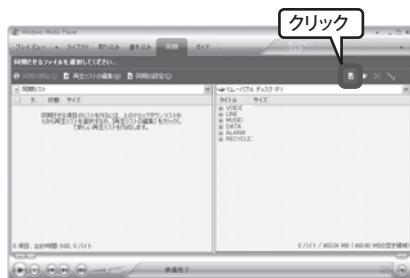
2 [同期]をクリックする

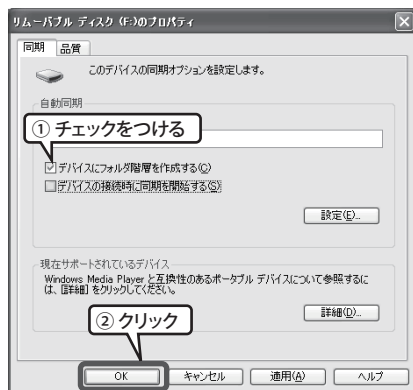
同期画面が表示されます。

3 本機をパソコンに接続する

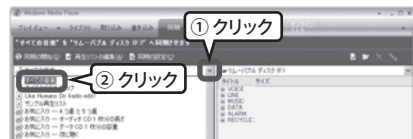
☞パソコンに接続する（194 ページ）

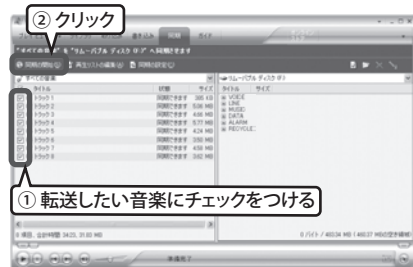
ここで、図のような画面が表示された場合は、[手動] を選択し、[完了] をクリックします。

4 同期するデバイスを選択する

右側ウィンドウの⌄をクリックし、表示されるメニュー内から同期するリムーバブルディスクを選択する。

5 同期の設定を変更する

画面右上の をクリックする。

6 [デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックをつけ、[OK]をクリックする。

初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

7 転送する音楽を選択する

図のように左側ウィンドウの [ ] をクリックし、表示されるメニューから [すべての音楽] をクリックする。

8 同期を開始する

左側ウィンドウに Windows Media Player に登録されているすべての音楽が表示されるので、転送したい曲にチェックをつけて、[同期の開始] ボタンをクリックする。

9 同期の完了

［状態］が [完了] と表示され、画面右側に転送したファイルが表示されれば音楽ファイルの転送は完了です。

- [MUSIC] の中に［アーティスト］⇒［アルバム］の順にフォルダ階層が作成され、その中に音楽ファイルが転送されていることを確認してください。
- [MUSIC] の外に音楽ファイルが転送されている場合は、本機で再生できませんので、1〜6の設定を確認してからもう一度 [同期] を行ってください。

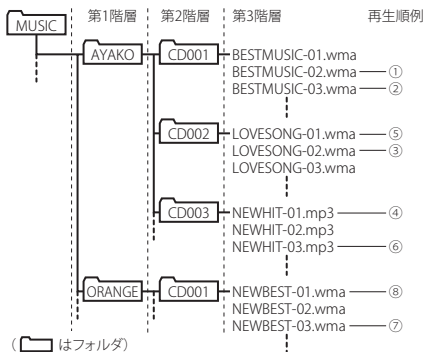
お好きな曲順で再生する

プレイリストの作成

パソコンでプレイリストを作成すると、ご希望の順番で曲再生ができます。

- 対応しているプレイリストファイルは M3U 形式（MP3 などのプレイリストを規定したファイル）で、拡張子は「.m3u」です。

> - プレイリストで再生順序が指定できるのは MUSIC フォルダ内のファイルのみです。

MUSIC フォルダに図のようなフォルダとファイルがある場合に、下図の①～⑧の順番で再生するプレイリストを作成し、本機で再生する手順について説明します。
プレイリストは [メモ帳] を使って作成することができます。

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[メモ帳]をクリックする

メモ帳が開きます。

2 MUSICフォルダ内のファイル名を再生したい順番に入力する

プレイリストに記載するファイル名は、図のように「ドライブ名（F：）¥フォルダ名¥ファイル名」と入力してください。

- ファイル名を正しく入力するには、プレイリストに記載したい音楽ファイルのプロパティを確認し、表示しているファイル名をコピーしたあと、プレイリスト作成中のメモ帳へ貼り付けることをおすすめします。
  フォントや大文字、小文字、ブランクの有無などを間違わずに、正しく簡単にプレイリストを作成することできます。
- 文字数が多すぎると再生できないことがあります。目安として一行あたり200文字以内で入力してください。

メモ

- ドライブ名は “F” 以外の任意の半角のアルファベット（1文字）にすることもできます。
  （例）“A”、“a” など
- 1つのプレイリストにつき、最大999曲分登録できます。

プレイリスト例

3 [ファイル]-[名前をつけて保存]を選んで、ファイル名を"○○○(ファイル名).m3u"として保存する

4 保存したプレイリストをエクスプローラなどで本機のMUSICフォルダに転送する

- プレイリストファイルは、MUSIC の直下へ転送してください。

例: プレイリスト再生リスト.m3u

5 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す(196 ページ)

- ☞プレイリストを再生する(115 ページ)

フォルダの作成

本機では、MUSIC フォルダ以下 2 階層までフォルダを作成できます。

☞本機のフォルダ構成について(45 ページ)

アーティスト別にフォルダを作成したり、アルバムの各曲を 1 つのフォルダ内に転送したりすることによって、アルバムやアーティストごとに再生することができます。

- 再生できるのは MUSIC フォルダの 2 つ下の階層のフォルダまでです。
- 再生のしかたは☞プレイリストを再生する(115 ページ)

その他の活用方法

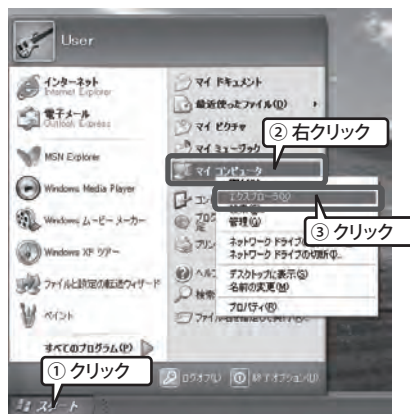
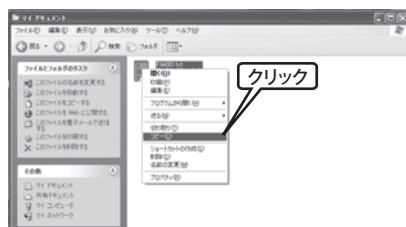
外部メモリとして使用する

本機は、ステレオボイスレコーダとしての使い方のほかに、パソコンの外付けメモリとしてご使用いただけます。本機をパソコンと接続すれば、本機のデータをパソコンへ保存したり、転送されたデータを本機に保存することができます。

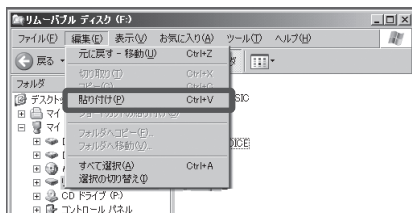
パソコンのデータを本機にコピーする

1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する
☞パソコンに接続する（194 ページ）

3 エクスプローラを起動する

4 コピーするファイルを選択して右クリックし、[コピー]をクリックする

5 [リムーバブル ディスク]をクリックする

6 [編集]をクリックし、メニューから[貼り付け]をクリックする

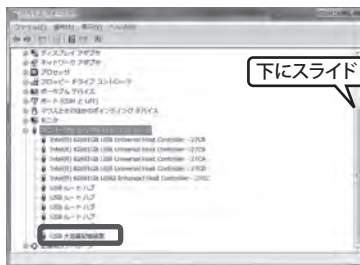
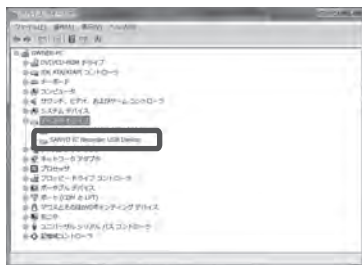
リムバームディスクに同名のファイルが作成されたら、コピー完了です。

7 本機をパソコンから取り外す

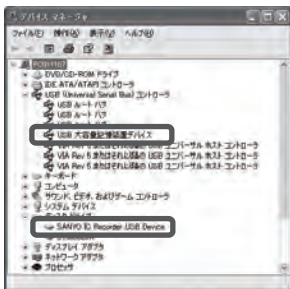
☞パソコンから取り外す（196 ページ）

その他の活用方法

本機が正常に認識されているか確認する

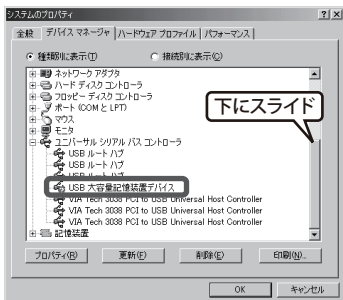
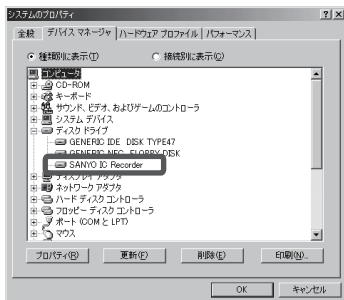
● Windows Vista

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システム] 画面を開きます。
[デバイスマネージャ] をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から [続行] を選択して [デバイスマネージャ] 画面を開きます。
[ディスクドライブ] 及び [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

● Windows XP、Windows 2000

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニュー(またはデスクトップ上)の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
[ハードウェア] タブ内の [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ] および [USB (Universal Seial Bus) コントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

〈WindowsXP〉

〈Windows2000〉

● Windows Me

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
デスクトップ上の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
[デバイスマネージャ] タブをクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ] および [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？

以下の手順で確認を行ってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンに USB 端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の USB 端子に本機を接続してください。
4. バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接付属の専用 USB 接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

接続する USB ケーブルは、必ず付属の専用 USB 接続ケーブルを使用してください。

エラーメッセージ

本機の各操作中にエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
バッテリー低下	電池切れです。新しい電池と交換して下さい	アルカリ電池設定で電池切れになった場合に表示されます。	28 ページ
	電池切れです。電池を充電して下さい	エネループ設定で電池切れになった場合に表示されます。	197 ページ
再生	再生するﾌｧｲﾙがありません。	フォルダ内に再生ファイルがない場合で、再生ボタンを押した場合に表示されます。	109 ページ
	このファイルは可変速再生できません	PCM 録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。	117 ページ
録音	容量が一杯です	microSD カードの空き容量がない時に録音した場合に表示されます。	79 ページ
	ﾌｧｲﾙが一杯です	各フォルダの録音可能なファイル数を超えて録音した場合に表示されます。	45 ページ
編集（インデックス）	インデックスが一杯です記録できません	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36）を超えた場合に表示されます。	106 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
編集（ファイル分割）	このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	フォルダ内に再生可能なファイル数が最大まである状態で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。	45 ページ
	ファイル分割に必要な空き容量が足りません	ファイル分割するために必要な microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。	79 ページ
	録音時間が短いので分割できません	各録音モードに対する分割可能な録音時間で分割していない場合に表示されます。	97 ページ
	現在の停止位置ではファイルを分割できません	各録音モードに対する分割可能な位置で分割していない場合に表示されます。	97 ページ
編集（フェードイン / フェードアウト）	ﾌｧｲﾙが短いのでフェードインできません	4 秒以下のファイルでフェードインした場合に表示されます。	100 ページ
	ﾌｧｲﾙが短いのでフェードアウトできません	4 秒以下のファイルでフェードアウトした場合に表示されます。	103 ページ
	このﾌｧｲﾙはフェードインできません	PCM（WAV）ファイル以外のファイルをフェードインした場合に表示されます。	100 ページ
	このﾌｧｲﾙはフェードアウトできません	PCM（WAV）ファイル以外のファイルをフェードアウトした場合に表示されます。	103 ページ
	空き容量が不足しています	フェードイン、フェードアウトで microSD カードの空き容量が不足している場合に表示されます。	100 ページ 103 ページ
編集（全般）	MUSIC ﾓｰﾄﾞ では編集できません	MUSIC フォルダを選択時に編集ボタンを押した場合に表示されます。	44 ページ 97 ページ 100 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
リスト表示	ファイルが ありません	フォルダ内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。	49 ページ
ごみ箱	ごみ箱ﾓｰﾄﾞでは 編集できません	ごみ箱フォルダを選択時に編集ボタンを押した場合に表示されます。	44 ページ 97 ページ 100 ページ
	ごみ箱が 一杯です 空にして下さい	ごみ箱フォルダ内のファイルが最大（５００）まである状態で、ごみ箱設定「ON」でファイルを削除し、これ以上ごみ箱へ移せない場合に表示されます。	142 ページ
	A が一杯です ファイルを 戻せません	ごみ箱からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。	140 ページ
microSD カード関連	SD カードを 挿入して下さい	microSD カードが挿入されていない状態で、録音や再生ボタンを押し microSD カードにアクセスした場合に表示されます。	39 ページ
	microSD ｶｰﾄﾞが 正しく 認識しません 再挿入下さい	microSD カードの挿入で認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。	37 ページ
	SD カード 書込み速度が 遅いです	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した際に表示されます。	37 ページ
セキュリティ	登録済みです 設定を削除して から登録下さい	既にセキュリティ登録設定がされている状態で、新たにセキュリティ登録を行なおうとした場合に表示されます。	157 ページ
	指紋を読み取れ ませんでした もう一度登録 して下さい	正しく指紋を読み取れなかった場合に表示されます。	171 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
セキュリティ	ｾｷｭﾘﾃｨ設定が 登録されて いません	セキュリティ削除の際に、セキュリティ登録設定がされていない場合に表示されます。	166 ページ
	既にﾛｯｸされた SD ｶｰﾄﾞ です	microSD カードをロックする場合に、対象となる microSD カードが既にロックされている場合に表示されます。	161 ページ
	この SD カードは ﾛｯｸできません	microSD カードがロック機能に対応していない場合に表示されます。	161 ページ
	ﾛｯｸされていない SD ｶｰﾄﾞ のため 初期化 できません	microSD カードの初期化の際に、ロックされていない microSD カードを初期化しようとした場合に表示されます。	168 ページ
	ﾛｯｸされた SD ｶｰﾄﾞ を 挿入して下さい	microSD カードの初期化の際に、microSD カードが挿入されていない場合に表示されます。	39 ページ
	指紋を読み取れ ませんでした もう一度指紋 認証して下さい	指紋認証の際に正しく指紋を読み取れなかった場合に表示されます。	171 ページ
	登録した指紋に 対する暗証番号 が異なります 暗証番号のみで 解除して下さい	指紋と暗証番号でロックした microSD カードを、別の指紋と暗証番号の組み合わせで解除しようとした場合に表示されます。	163 ページ
	登録されていな い指紋です	指紋認証の際に、登録されている指紋と異なる指紋で認証した場合に表示されます。	164 ページ
	暗証番号が 正しく ありません	暗証番号で認証し、その暗証番号が正しくない場合に表示されます。	163 ページ

故障かな？と思う前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解 決 方 法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または充電するか新しい電池に換えてください。 28ページ「電池を入れる」参照

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない

原　　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解 決 方 法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 41ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　　因	USB接続したままである
解 決 方 法	本機をパソコンから取り外してください。 196ページ「パソコンから取り外す」参照

パソコンに接続して、エネループが充電できない

原　　　因	電池切換が「アルカリ電池」に設定されている
解 決 方 法	電池切換を「エネループ」に設定してください。 30ページ「使用する電池の種類を設定する」参照

原　　　因	本機をパソコンに接続しただけである
解 決 方 法	接続しただけでは自動的に充電されません。充電操作をしてください。 197ページ「エネループを充電する」参照

microSDカードが認識されない

原　　　因	microSDカードが正しく挿入されていない
解 決 方 法	本機の電源をオフにし、再度microSDカードを挿入し直してください。

原　　　因	microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした
解 決 方 法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 147ページ「microSDカードを消去する（フォーマット）」参照

充電すると ☒ を表示する

原　　因	・エネループ充電池以外の電池を入れて充電しようとした ・本機に電池を入れずに充電しようとした ・電池が正しく入っていない
解 決 方 法	本機にエネループ充電池を入れて充電してください。

原　　因	本機の温度が上がっている
解 決 方 法	本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから再充電してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解 決 方 法	音量を調節してください。 109ページ「ファイルを再生する」参照

VOICEフォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解 決 方 法	パソコンでファイル名を変更するとVOICEに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC（M）フォルダに転送すると再生できるようになります。

原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解 決 方 法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	再生できるファイル形式ではない
解 決 方 法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解 決 方 法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

原　　因	転送先が異なる
解 決 方 法	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC（M）フォルダ内に転送してください。 232ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」参照

原　　因	本機で再生できないファイルとなっている
解 決 方 法	エンコーダー（MP3・WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC(M)フォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M)フォルダ内にそのファイルを転送してください。

原因	転送方法が異なる
解決方法	著作権保護されているファイルは、エクスプローラで転送しても再生できません。Windows Media Playerで転送してください。 232ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」

ファイル分割ができない

原因	microSDカードの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 143ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原因	ファイルの録音時間が短すぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 PCM48…約2秒以上、PCM44.1…約2秒以上、MP3:320…約2秒以上、MP3:192…約2以上、MP3:128…約4秒以上、MP3:64…約8秒以上、MP3:32…約16秒以上

ファイルが消去できない

原因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、microSDカードのフォーマット（初期化）をおこなってください。 147ページ「microSDカードを消去する（フォーマット）」参照

PC接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後まで正しく差し込まれているか確認してください。 194ページ「パソコンに接続する」参照

原因	Windows 98, 98SEのPCおよびMacintoshに接続している
解決方法	Windows 98, 98SE及びMacintoshはサポートしていません。

原因	パソコンからの電源供給が不十分

解決方法	バスパワー型USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型(電源アダプター付)のUSBハブを使用してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他のUSB端子に接続してください。 194ページ「パソコンに接続する」参照

原因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原因	パソコンと本機が正しく接続されない
解決方法	パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 本機に対応するパソコン以外に接続されても動作保証いたしません。 190ページ「動作環境」参照

原因	microSDカードがロックされている
解決方法	microSDカードのロックを解除してから、パソコンに接続してください。 163ページ「microSDカードのロックを解除する」参照

パソコン接続時、microSDカードにアクセスできない

原因	microSDカードがロックされている
解決方法	本機でmicroSDカードのロックを解除してください。 163ページ「microSDカードのロックを解除する」参照

音声ガイドが使用できない

原因	BEEP音設定が音声ガイドになっていない
解決方法	メニューモードでBEEP音設定を音声ガイドにしてください。 183ページ「音声ガイドを設定する」参照

パソコンから本機へのファイルの転送速度が遅い

原因	パソコンのUSB1.1に接続している
解決方法	USB2.0のHigh Speed対応USB端子に接続してください。

録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している

原　　因	マイク感度が適切でない
解決方法	・マイク感度を「低」に切り換えてください。それでも音割れする場合は「LowCutフィルタ」を「ON」にしてウインドスクリーンを装着してください。 ・ALCオフの場合は、「録音ピークリミッター」をONに設定してください。 84ページ「LowCutフィルタを設定する」参照 56ページ「ALC（オートレベルコントロール）について」参照 58ページ「マイク感度について」参照

録音したファイルに音とびが発生する

原　　因	推奨品以外のmicroSDカードを使っている
解決方法	推奨品のmicroSDカードをご使用ください。 37ページ「microSDカードについて」参照

原　　因	・microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした ・メモリの断片化が進んでいる
解決方法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 147ページ「microSDカードを消去する（フォーマット）」参照

PC接続時に、本体に接続アイコン表示がでない

解決方法	パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本体に接続アイコン表示がでない場合や、パソコン側で本体が認識されない場合があります。その時は本体をパソコンより抜いて再度接続してください。

カレンダーが正しく表示されない

解決方法	日時を再設定してください。 42ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照

ファイルを削除したのに空き領域が増えない

原　　因	ごみ箱の設定がONになっている
解決方法	ごみ箱の中身を消去してください。 142ページ「ごみ箱内のファイルを空にする」参照

よくあるご質問（Q&A）

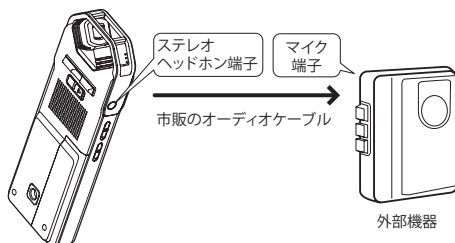
Q：アルカリ乾電池やエネループ充電池以外の電池は使えますか?

A：マンガン電池、ニカド電池は使用しないでください。オキシライド電池は使用できます。（電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。）

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ?

A：録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないようにしてください。

Q：録音内容をテープ・ＭＤなどに保存するには?

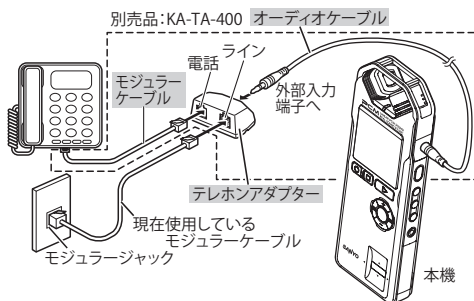
A：市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5ø）を使えば、本機で録音したファイルを、簡単にテープレコーダーやMDレコーダーなどの外部機器にダビングして保存することができます。

使用するオーディオケーブル

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗入り
音声ライン入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗なし

- ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
- ダビングする時は、事前にためし録音をし、本機で音量の調節を行ってください。
- テープレコーダーやMDプレーヤーから本機への録音も可能です。☞76ページ

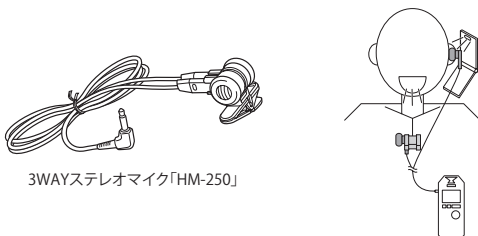
資料

Q：家庭用固定電話の音声を録音するには?

A：別売の電話録音キットKA-TA-400を以下のようにきちんと奥まで差し込んで接続してください。

- ビジネスホンやホームテレホンなど対応していない電話機があります。

Q：携帯電話の音声を録音するには?

A：別売品：3WAYステレオマイク「HM-250」を使って録音できます。家庭用電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。

3WAYステレオマイク「HM-250」

Q：取扱説明書に記載されている録音可能時間は、1つのファイルごとの録音可能時間ですか？

A：いいえ、ちがいます。各録音モードの録音可能時間とは、microSDカード内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1ファイルでメモリが一杯になるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更してもそれ以上は録音できません。

Q：うまく録音するコツは？

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。55ページを参考に、本機の設定を行ってください。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか？ファイル名を変更すると、VOICEフォルダやLINEフォルダに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSICフォルダに転送すると再生できるようになります。

Q：うまく指紋認証できません

A：指紋認証にはコツがあります。「指紋認証のコツ」（☞171ページ）を参照ください。

その他のよくあるご質問ならびにソフトウエアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ　http://www.sanyo-audio.com/support/icr/　にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

■温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

対応 OS　：Windows Vista/XP/2000/Me

対応メディア　：microSD カード、microSDHC カード
（※当社推奨 microSD カード以外での動作保証はいたしません）

録音モードと録音可能時間　：

録音モード	microSD カードのサイズ			
	512MB	1GB	2GB	4GB
PCM48kHz	約 40 分	約 1 時間 20 分	約 2 時間 50 分	約 5 時間 40 分
PCM44.1kHz	約 45 分	約 1 時間 30 分	約 3 時間 5 分	約 6 時間 15 分
MP3 320kbps	約 3 時間 30 分	約 7 時間 00 分	約 13 時間 50 分	約 27 時間 50 分
MP3 192kbps	約 5 時間 50 分	約 11 時間 50 分	約 23 時間 10 分	約 46 時間 30 分
MP3 128kbps	約 8 時間 50 分	約 17 時間 50 分	約 34 時間 50 分	約 69 時間 50 分
MP3 64kbps	約 17 時間 40 分	約 35 時間 40 分	約 69 時間 50 分	約 139 時間 40 分
MP3 32kbps	約 35 時間 30 分	約 71 時間 20 分	約 139 時間 40 分	約 279 時間 30 分

・ 表記の録音時間は目安です。microSD カードのメーカー、仕様により変わることがあります。
・ 録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。
※ 1 ファイルあたりの最長録音時間（連続録音時間）は 2GB までです。ただし、電池の持続時間を超えて連続録音することはできません。

録音周波数特性（外部マイク録音時）　：
40 ～ 23,000Hz（PCM 48kHz 16bit 時）
40 ～ 21,000Hz（PCM 44.1kHz 16bit 時）
40 ～ 20,000Hz（MP3 320kbps 時）
40 ～ 20,000Hz（MP3 192kbps 時）
40 ～ 15,000Hz（MP3 128kbps 時）
40 ～ 7,500Hz（MP3 64kbps 時）
40 ～ 6,500Hz（MP3 32kbps 時）

（内蔵マイク録音時）
60 ～ 20,000Hz（PCM 録音時）
※ MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。 また、下限値は各録音モード 60Hz となります。

録音フォーマット　：MP3、PCM（WAV）

再生フォーマット　：MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3）、WMA、
PCM（本機で録音したファイルのみ）

再生周波数特性　：20 ～ 23,000Hz (48kHz サンプリング周波数時）

サンプリング周波数　：16 ～ 48kHz

再生対応ビットレート	：	16 ～ 320kbps（MP3） 32 ～ 192kbps（WMA） ※ ファイルによっては正常に再生されない場合があります。	
入・出力端子	：	USB miniB、ステレオヘッドホン 3.5ø ミニ、 ステレオマイク（ライン入力兼用）3.5ø ミニ、microSD カードスロット、 I/O 端子	
動作温度	：	＋ 5℃～＋ 35℃	
定格出力（ヘッドホン）	：	10mW ＋ 10mW(16 Ω負荷時、JEITA/DC)	
電源	：	単 3 形エネループ充電池（単 3 アルカリ乾電池）× 1 本、AC 電源（USB、I/O）	
充電時間	：	約 220 分	
電池持続時間 （録音時間）	：	［MP3］64kbps	約 50 時間（アルカリ乾電池） 約 40 時間（エネループ充電池）
		［PCM］44.1kHz 16bit	約 22 時間 30 分（アルカリ乾電池） 約 22 時間（エネループ充電池）
		（録音環境：録音 / 再生 LED OFF、バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、録音モニターなし、ALC ON 時）	
（再生時間 / ヘッドホン）	：	［MP3］	約 54 時間（アルカリ乾電池） 約 45 時間（エネループ充電池）
		［PCM］	約 24 時間 30 分（アルカリ乾電池） 約 23 時間（エネループ充電池）
		（再生環境：録音 / 再生 LED OFF、バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、サウンド EQ FLAT 時）	
（再生時間 / スピーカー）	：	［MP3］	約 38 時間（アルカリ乾電池） 約 32 時間（エネループ充電池）
		［PCM］	約 19 時間 30 分（アルカリ乾電池） 約 19 時間 30 分（エネループ充電池）
		（再生環境：録音 / 再生 LED OFF、バックライト OFF、ポインティング機能 OFF、サウンド EQ FLAT 時）	
		※ 電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ乾電池、もしくは当社製充電池（エネループ充電池）以外での動作保証はいたしません。	

最大外形寸法	： 約 幅 46.5 ×高さ 129.5 ×奥行き 17.5(mm)	
質量	： 約 92g（エネループ充電池含む）	
付属品	： インナーイヤー型ステレオヘッドホン	（1）
	専用 USB 接続ケーブル	（1）
	単 3 形エネループ充電池	（1）
	ウインドスクリーン（風防）	（1）
	キャリングポーチ	（1）
	本書（保証書付）	（1）
	かんたん操作ガイド	（1）

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より本体のみ 1 年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の 254 ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) の保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間　9:00 〜 18:30（365 日）

☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は　**大阪 (06)6994-9570**　におかけください。
※郵便・FAX でご相談される場合

三洋電機 (株)　お客さまセンター
FAX　(06)6994-9510
〒 570-8677　大阪府守口市京阪本通 2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談　＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　　月曜日〜金曜日　[9:00 〜 18:30]
　　　　　　土曜・日曜・祝日・当社休日　[9:00 〜 17:30]

東コールセンター

関東・甲信越地区	050-3116-2222　〈東京(03)5302-3401〉
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444

西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555　〈大阪(06)4250-8400〉
中部地区	050-3116-2666
中国地区	050-3116-2777
九州地区	050-3116-2888

沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日〜土曜日 9:00〜12:00、13:00〜17:30　（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　　月曜日〜金曜日 9:00 〜 17:30（日曜、祝日を除く）

ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくはホームページでご確認ください。http://www.sanyo.co.jp

お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

●お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

●上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

北　海　道　地　区				
札	幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函	館	(0138) 48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
旭	川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北	見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧	路	(0154) 22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6

東　北　地　区				
仙	台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青	森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市上野字山辺29-5
盛	岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
山	形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
秋	田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡	山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関東・甲信越地区

さいたま	(048) 778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　　戸	(049) 284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
宇 都 宮	(028) 614-3883	〒321-0111	栃木県宇都宮市川田町字免ノ内765-5
つ く ば	(0298) 64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　　戸	(029) 251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
伊 勢 崎	(0270) 40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
新　　潟	(025) 285-2431	〒950-0942	新潟県新潟市中央区小張木2-16-43
城　　東	(03) 5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
城　　北	(03) 5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　　西	(03) 5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並
武 蔵 野	(042) 364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
横　　浜	(045) 827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相 模 原	(042) 788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
千　　葉	(043) 208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌 ケ 谷	(047) 441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
甲　　府	(055) 226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名 古 屋	(052) 485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岐　　阜	(058) 246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　　岡	(054) 236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼　　津	(055) 935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜　　松	(053) 461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市南区本郷町123
松　　本	(0263) 40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
金　　沢	(076) 292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富　　山	(076) 422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　　井	(0776) 53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
津	(059) 236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2

近　畿　地　区			
大　　阪	(06) 6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大　阪　南	(06) 6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14三洋ビル2F
阪　　和	(072) 221-8571	〒590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町2-1-24
京　　都	(075) 645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
奈　　良	(0744) 22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
滋　　賀	(077) 514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24南井産業第3ビルB棟
和　歌　山	(073) 473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
神　　戸	(078) 641-1251	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町2-1-9　ピアザビル3F
阪　　神	(06) 6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫　　路	(0792) 82-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡　　路	(0799) 42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1

中　国　地　区			
広　　島	(082) 293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町2-1-2
福　　山	(084) 954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　　山	(086) 245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
鳥　　取	(0857) 24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
松　　江	(0852) 23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山　　口	(083) 973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6

四　国　地　区			
松　　山	(089) 979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町274
高　　松	(087) 843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高　　知	(088) 831-2570	〒780-8007	高知県高知市仲田町6-12
徳　　島	(088) 699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1

九　州　地　区			
福　　岡	(092) 441-2541	〒812-0016	博多区博多駅南4-6-23
北　九　州	(093) 521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7
長　　崎	(095) 813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
熊　　本	(096) 388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11熊本トラックターミナル内
大　　分	(097) 543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6組
宮　　崎	(0985) 29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿　児　島	(099) 251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10
沖　縄　地　区			
沖　　縄	(098) 944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売（株）サービス部

(010407a)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- **保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。**

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー　国内販売担当

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

ユーザーサポートホームページアドレス　http://www.sanyo-audio.com/support/index.html

(JP0)　1AJ6P1P0034--